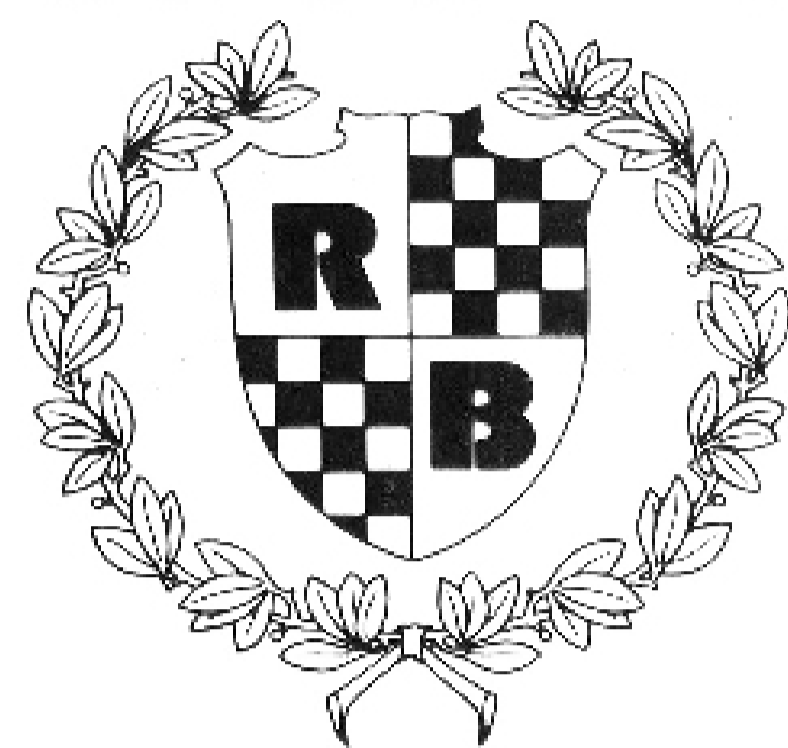




KYOSHO

NO. 2289

1/8 BUGGY RADIO CONTROL OFF ROAD RACE CAR



CIRCUIT 20 ROWDY BAJA

サーキット20シリーズ 1/8バギー ラジオコントロール オフロードレースカー ローディバハ 取扱い説明書



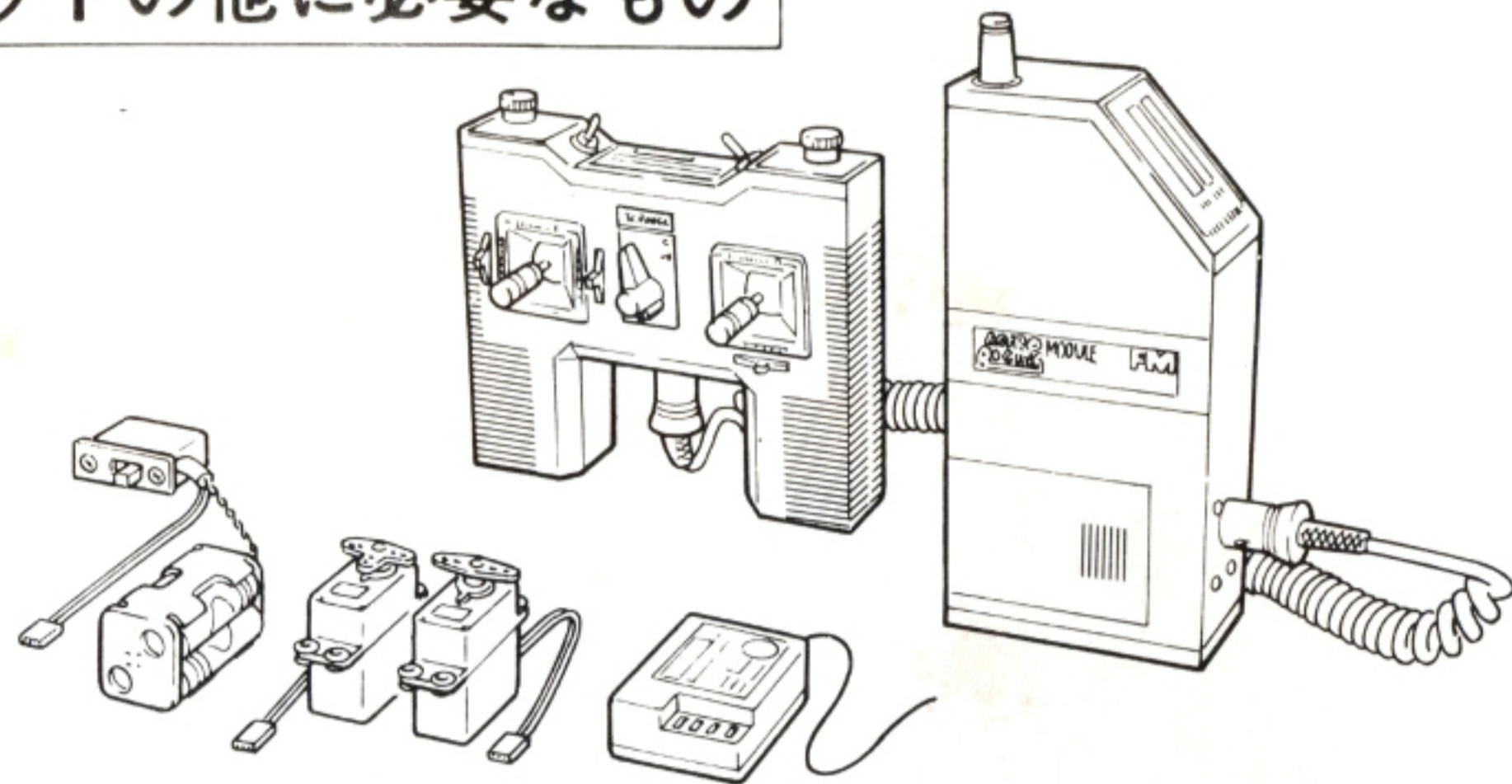
各地でさかんに行なわれているエンジンバギーレース大会で、数々の優勝の栄冠を勝誇っている。サーキット20をベースに、ラフなスタイリングに変新、更に軽量化し、クラッシュや転倒にも十分耐えうる構造となりました。更に数々のオプションパーツを装備し、鋭い動きを発揮、ハイグレードなスーパーメカニズム、それがローディバハです。

組立のまえに

このたびは、京商 R/C カー「ローディバハ」をお買い上げ下さいましてありがとうございます。あなたの愛車「ローディバハ」を正しく組立て取り扱い、その性能を十分発揮させていただくため、この取扱説明書に従って順序よく組立てていただきたいと思ひます。

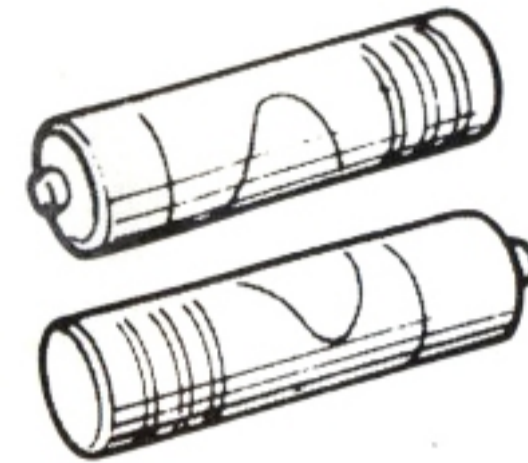
組立てる前に、本取扱書を終りまで良く読んで、あらかじめの構造を頭に入れてから組立に入ると、スムーズに作業に入れます。使用するエンジンが新しい時は、エンジンについている説明書を参考にならし運転をしておくと、エンジンの高性能と耐久力を長く維持させることができます。

キットの他に必要なもの



送信機 単 3×6～8本
受信機 単 3×4本

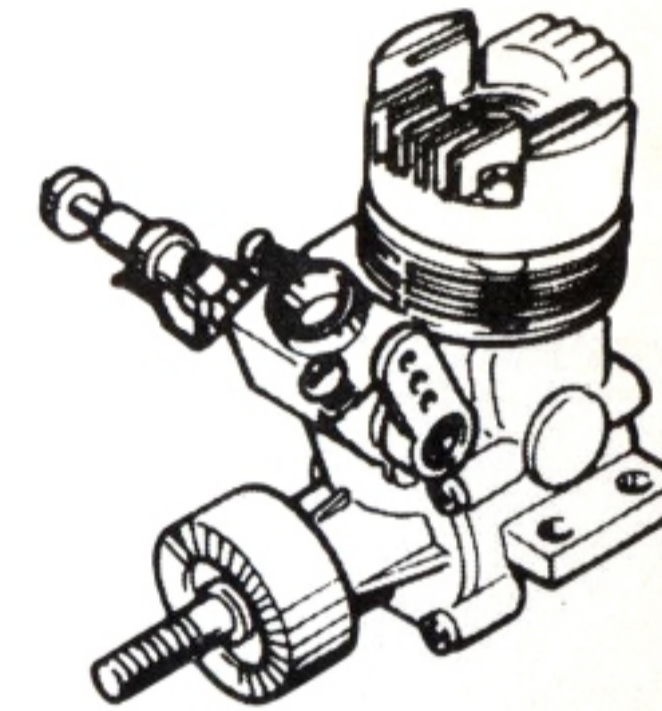
プロポ用電池



グロープラグ
(1.5Vの白金が良い。)



(注：本キットはエンヤ19、21X及びOS-21エンジン専用です。他のエンジンを使用するときは、オプションパーツ及び多少の改造が必要です。)



(OS-21又はエンヤ19、21X) エンジン

組立に必要な道具



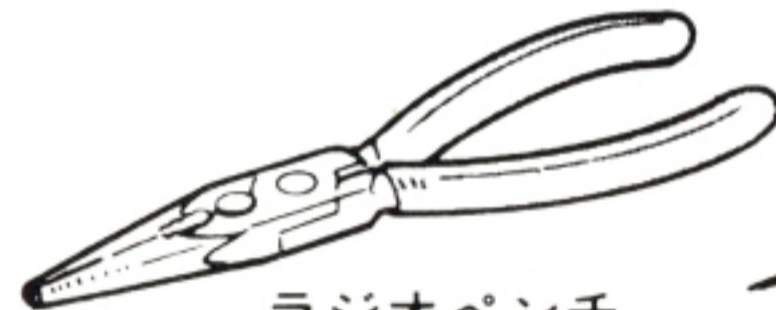
レンチ



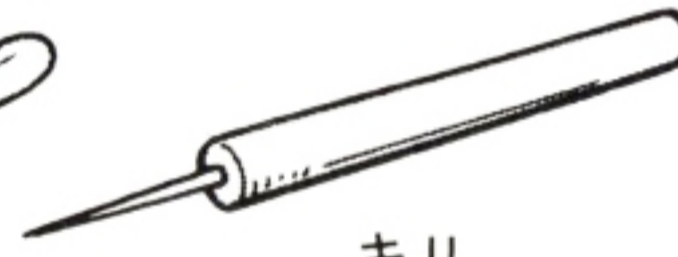
⊕ドライバー



⊖ドライバー



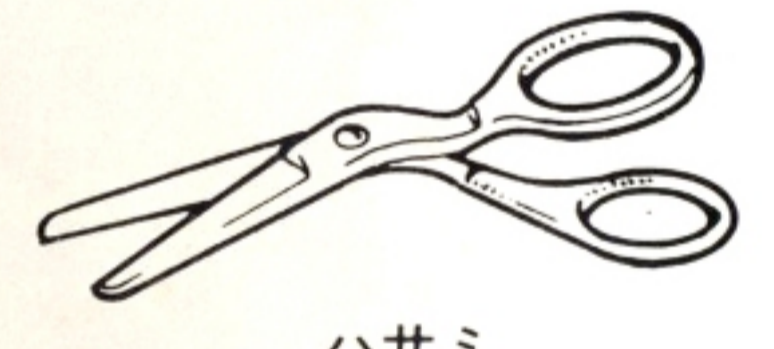
ラジオペンチ



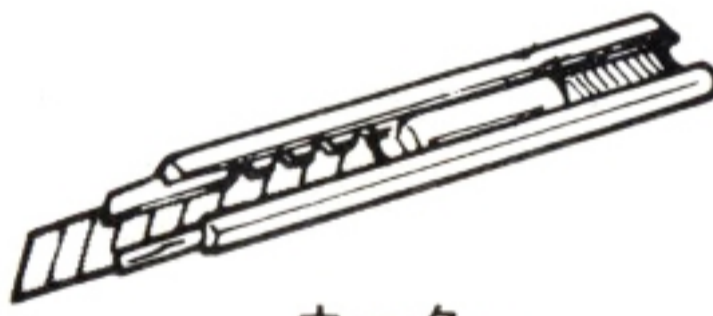
キリ



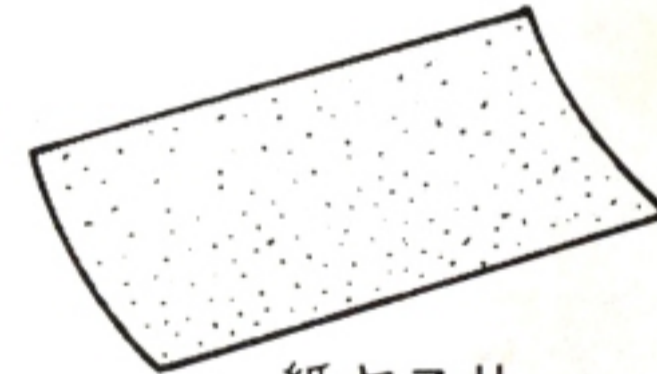
丸ヤスリ



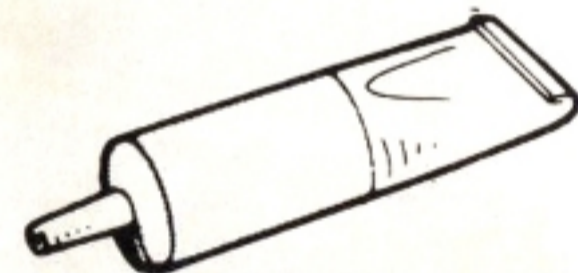
ハサミ



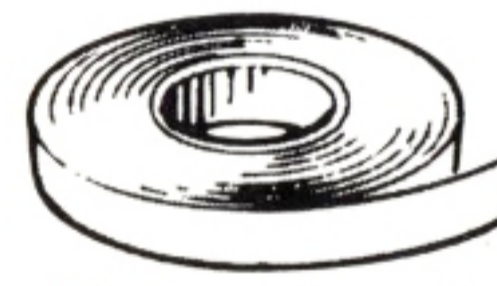
カッター



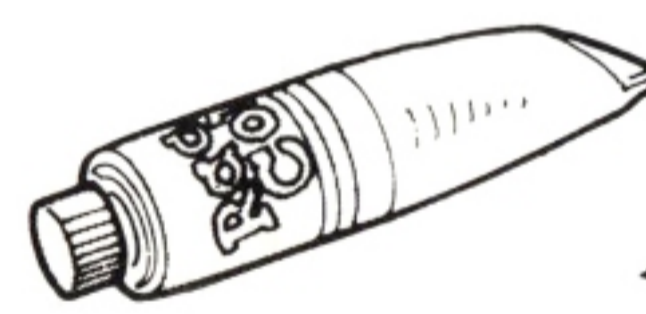
紙ヤスリ



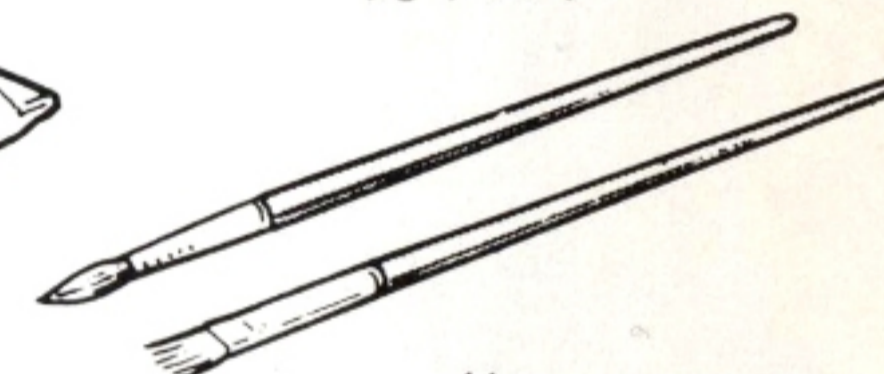
接着剤



ビニールテープ



塗料



筆

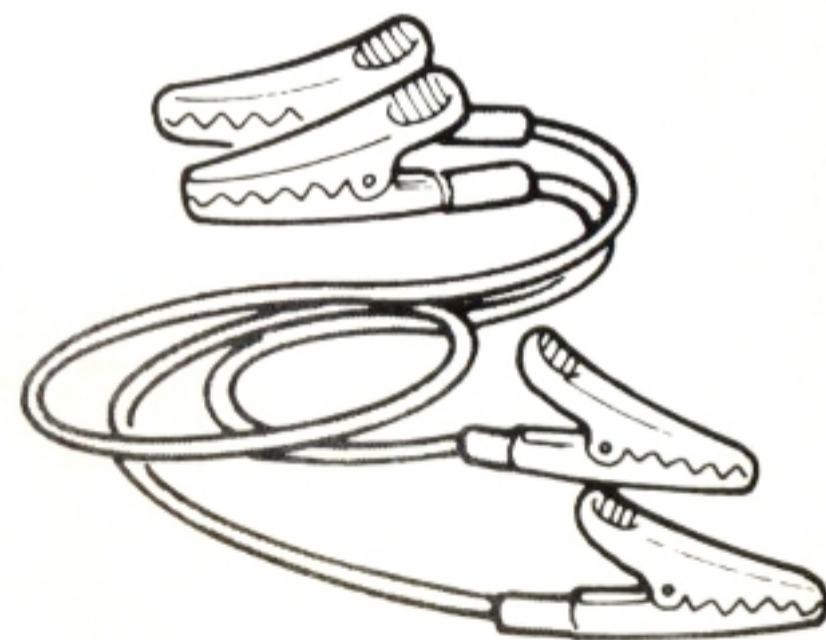


マスキングテープ

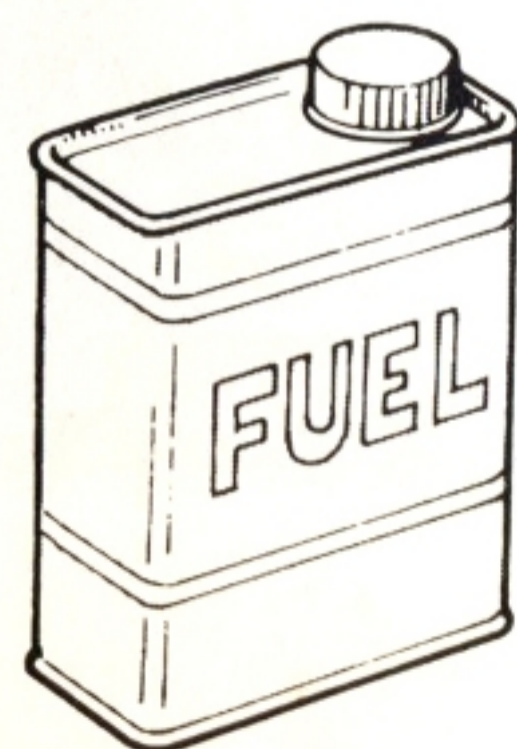
走行に必要なもの



プラグヒート用バッテリー



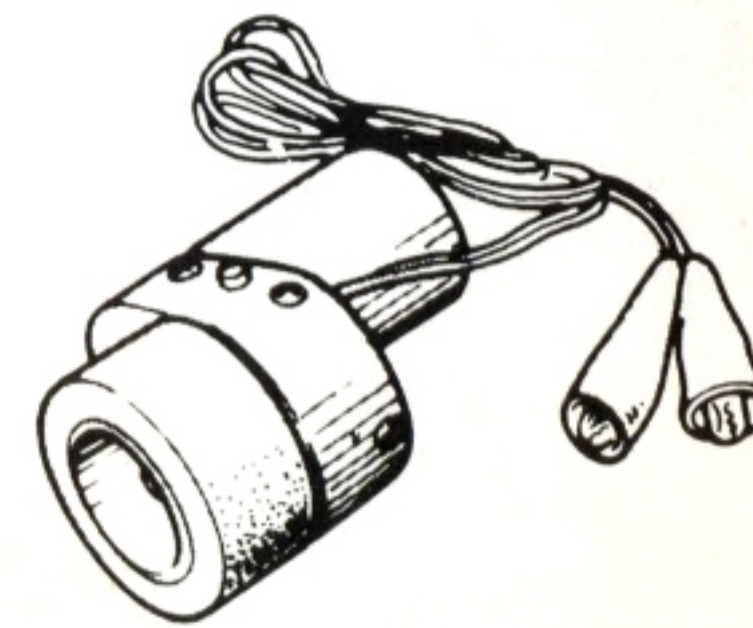
ブースターコード



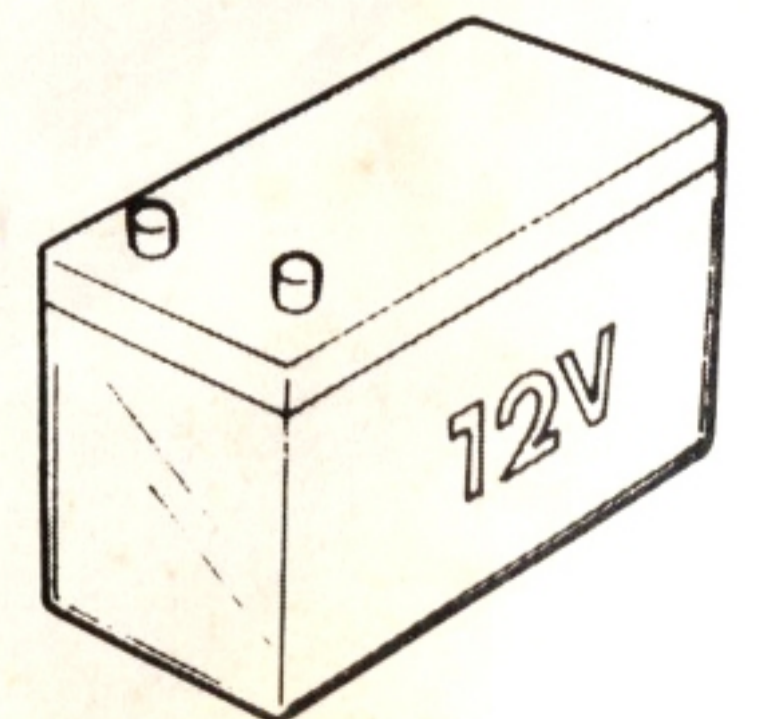
燃料



燃料ポンプ

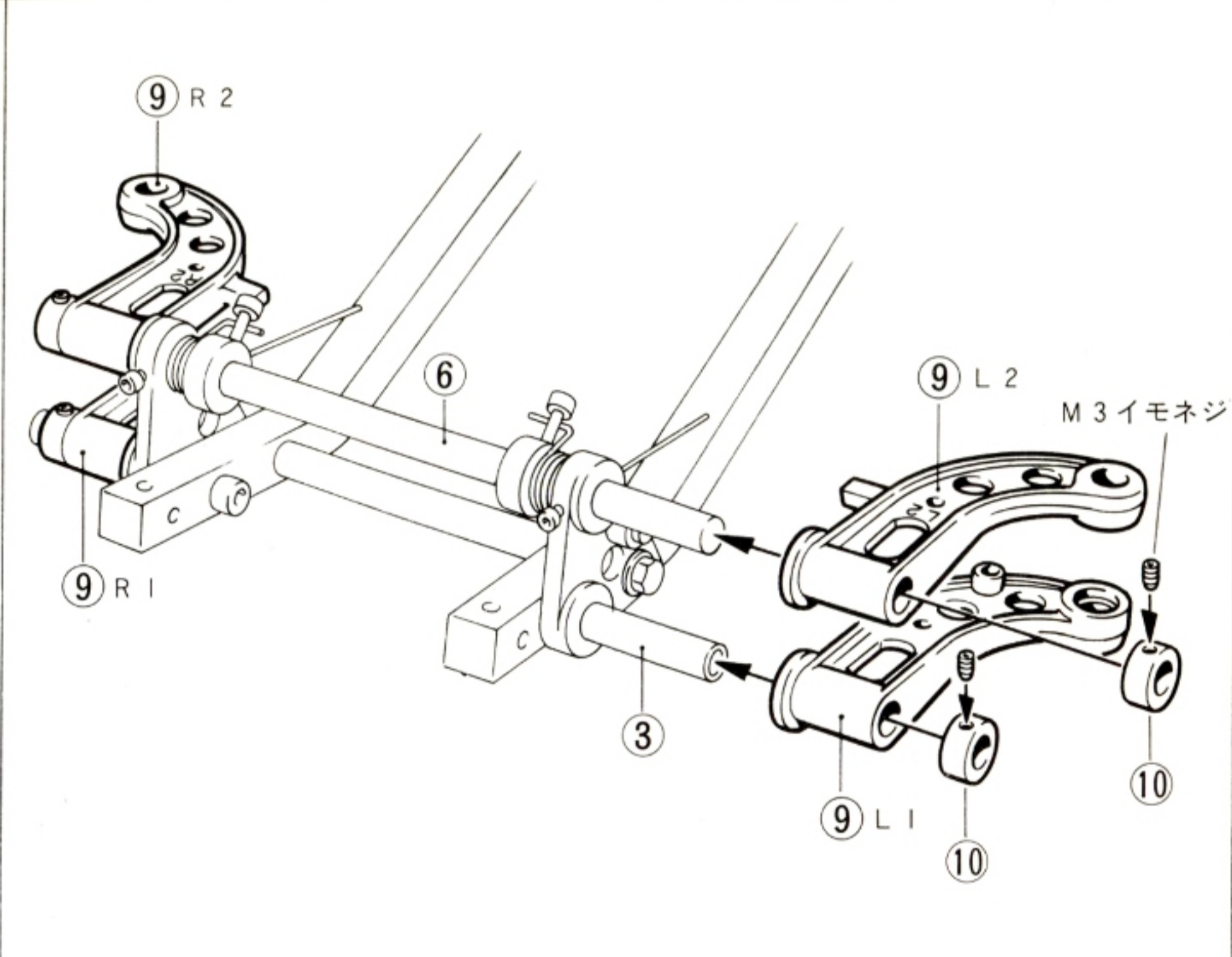
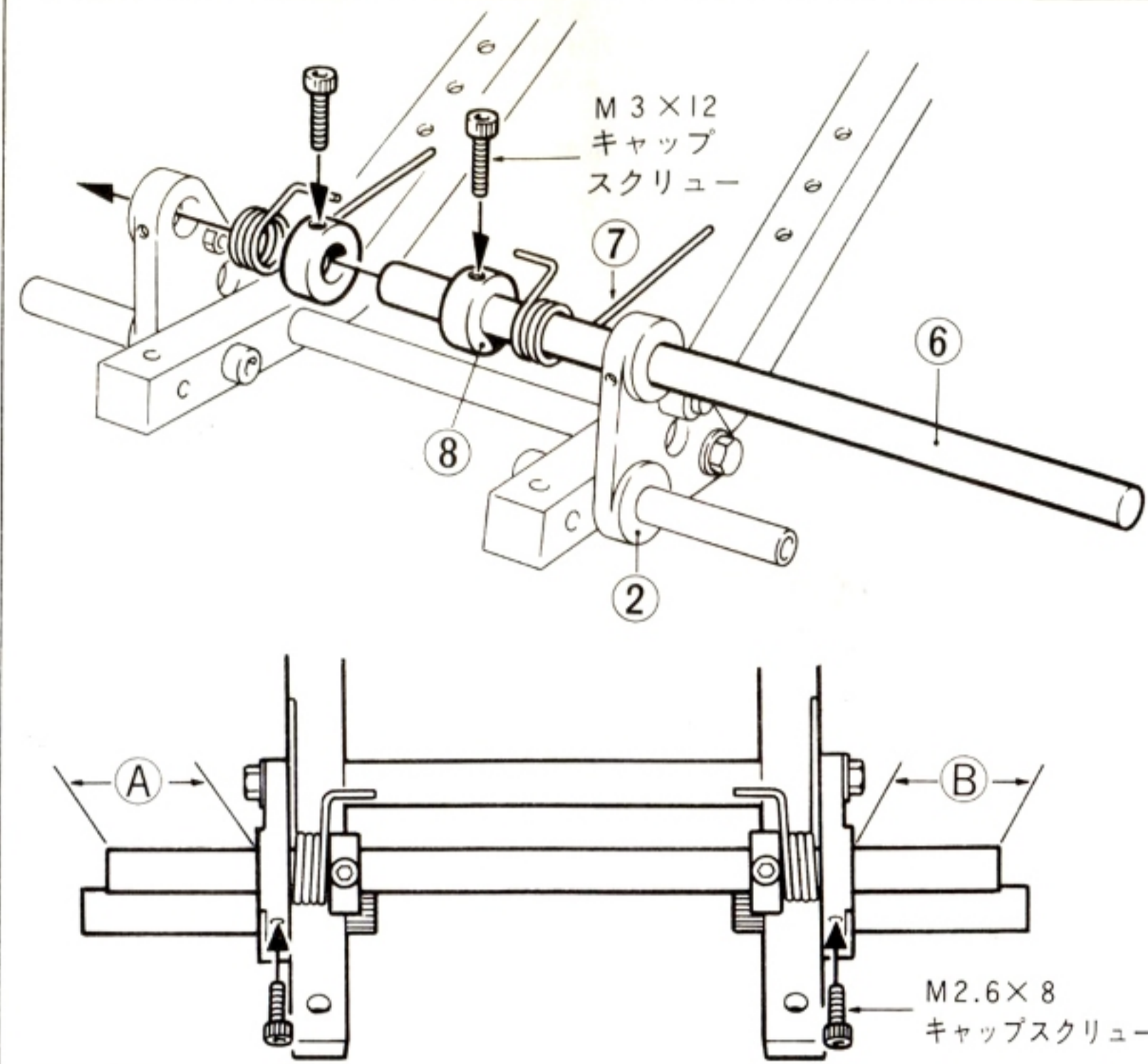
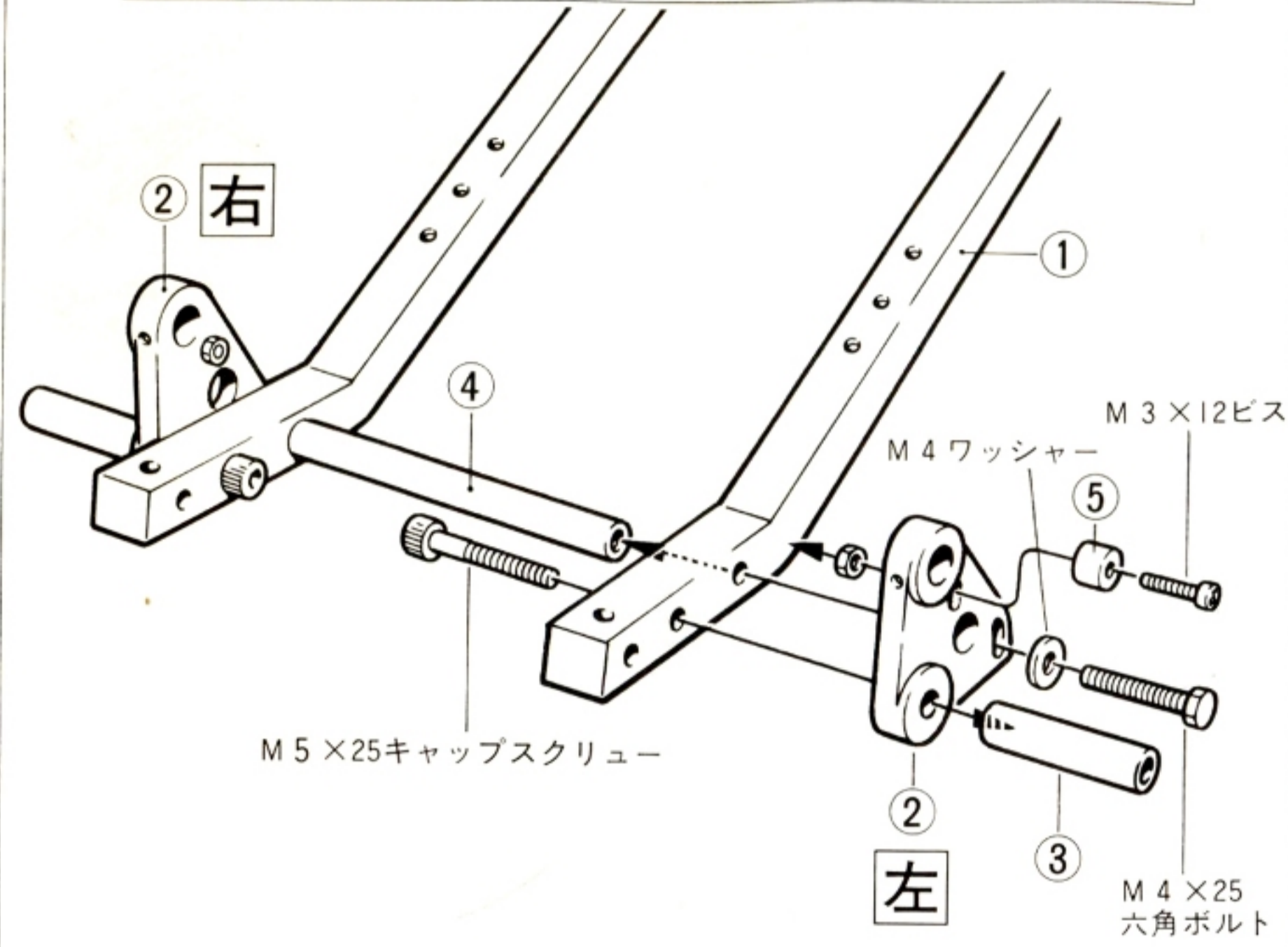


電動スターター



スターターバッテリー

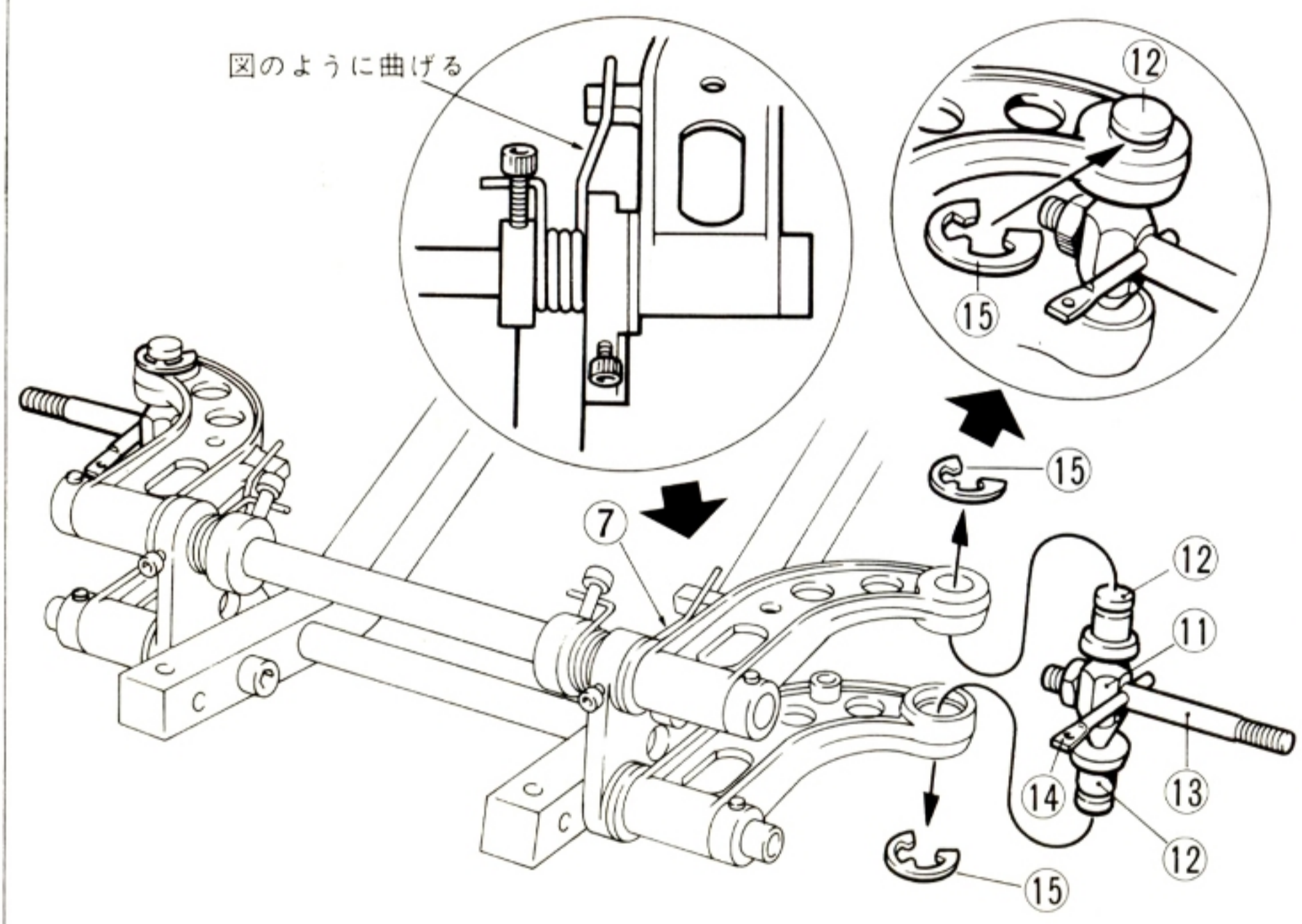
組立図1-4までの小物パーツはフロントエンド部井1のパーツ袋に入っています。



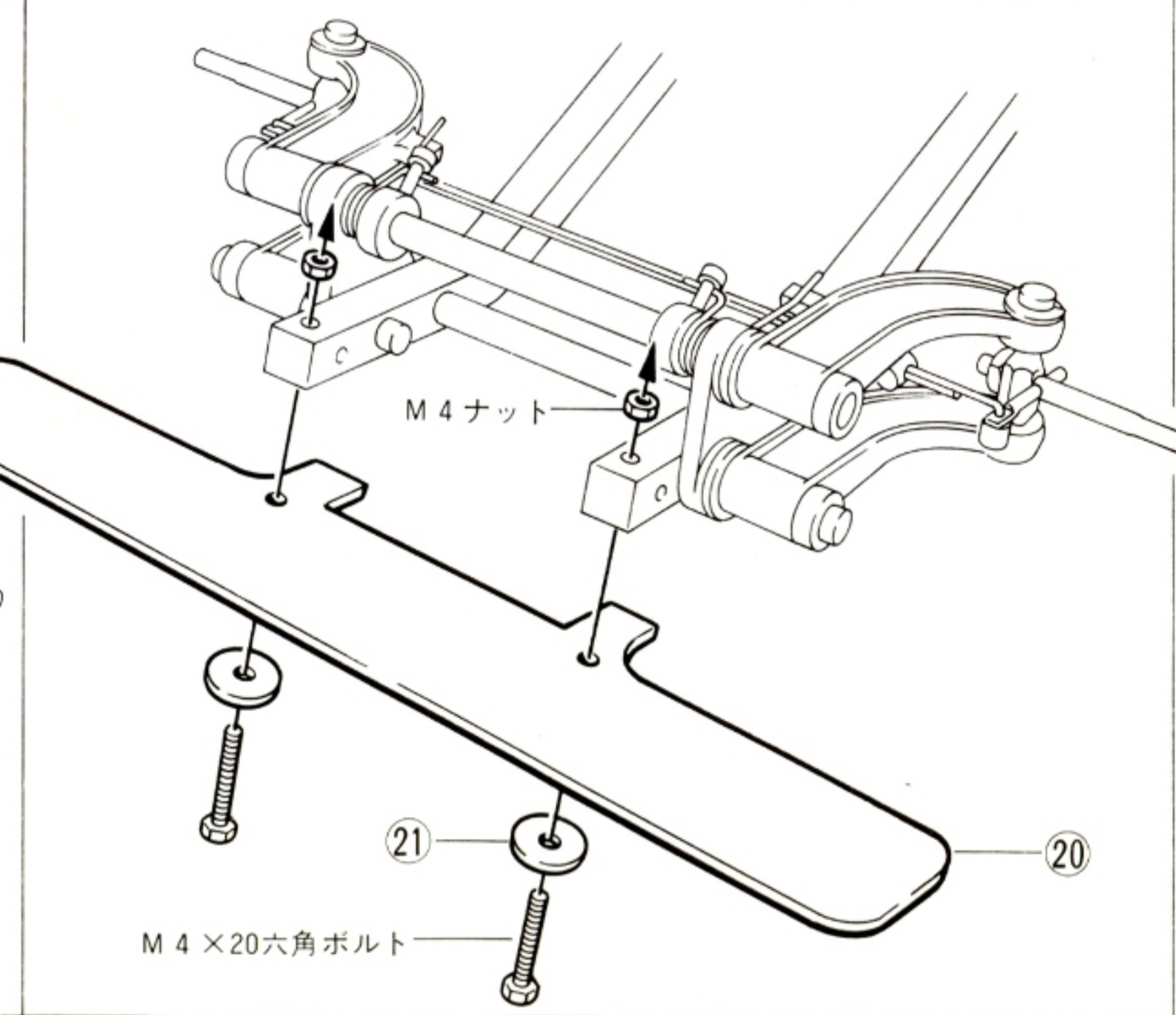
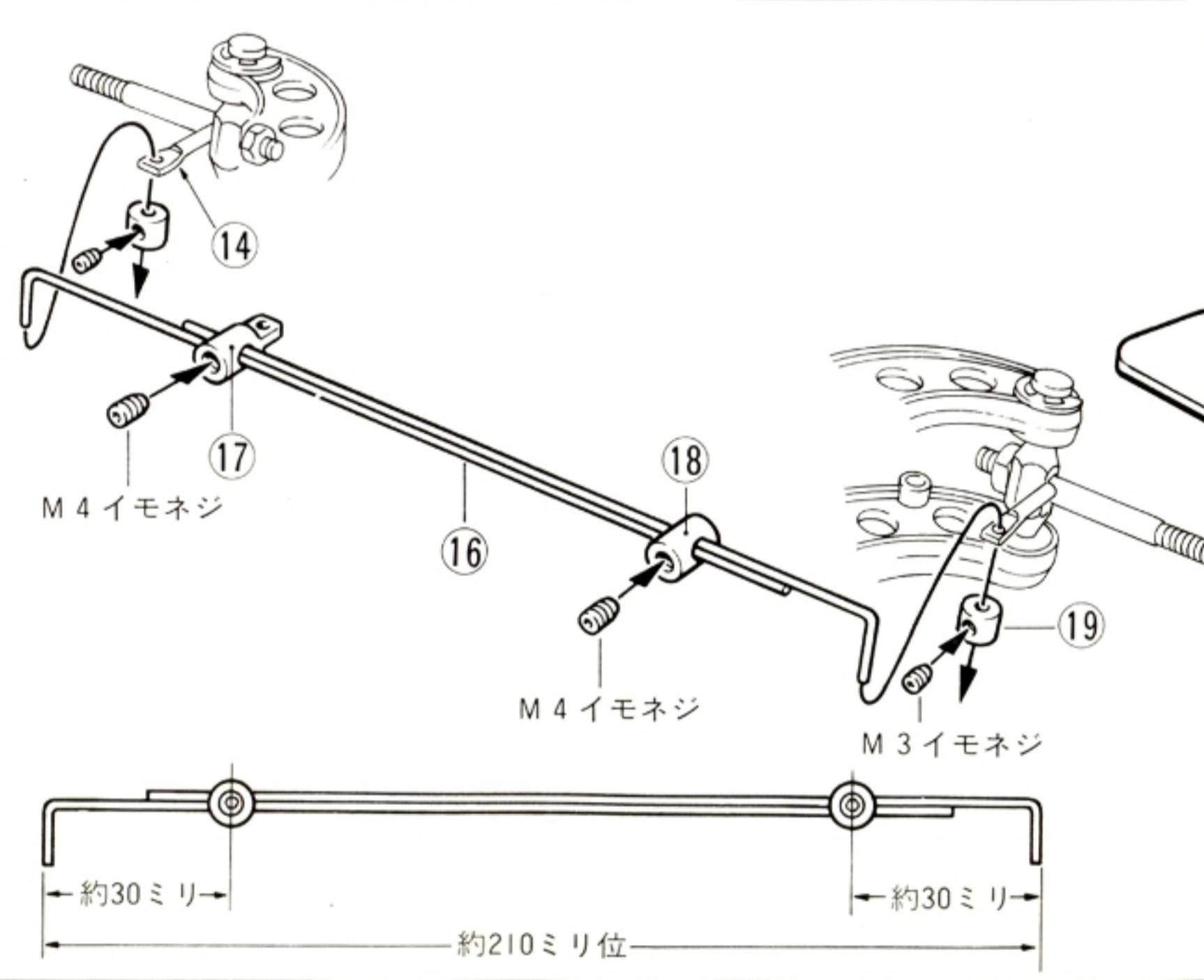
1 メインフレーム①に図のようにパーツを取付けますが、アームホルダー②の後の取付穴が長穴になっており、移動させることによりキャスター調整が出来ます。また、サスストッパー⑤の取付穴も長穴になっており、上側に取付けると車高が低く、下側にセットすると車高が高くなります。
(取扱書12ページ51図、13ページ52図を参照下さい)

2 フロントスプリングの右左をまちがいないようにアーム軸B⑥を図のようにアームホルダー②にM2.6キャップスクリューでセットしますが、下図のA・Bの寸法を同じ長さにして固定します。

3 フロントサスアーム⑨にL1、L2、R1、R2と刻印がしてありますので図を参考にアーム軸A③、アーム軸B⑥に入れ、サスサイドストッパー⑩で取付けますが、サスアーム⑨が右左にガタがなく、上下に軽く動くようセットして下さい。



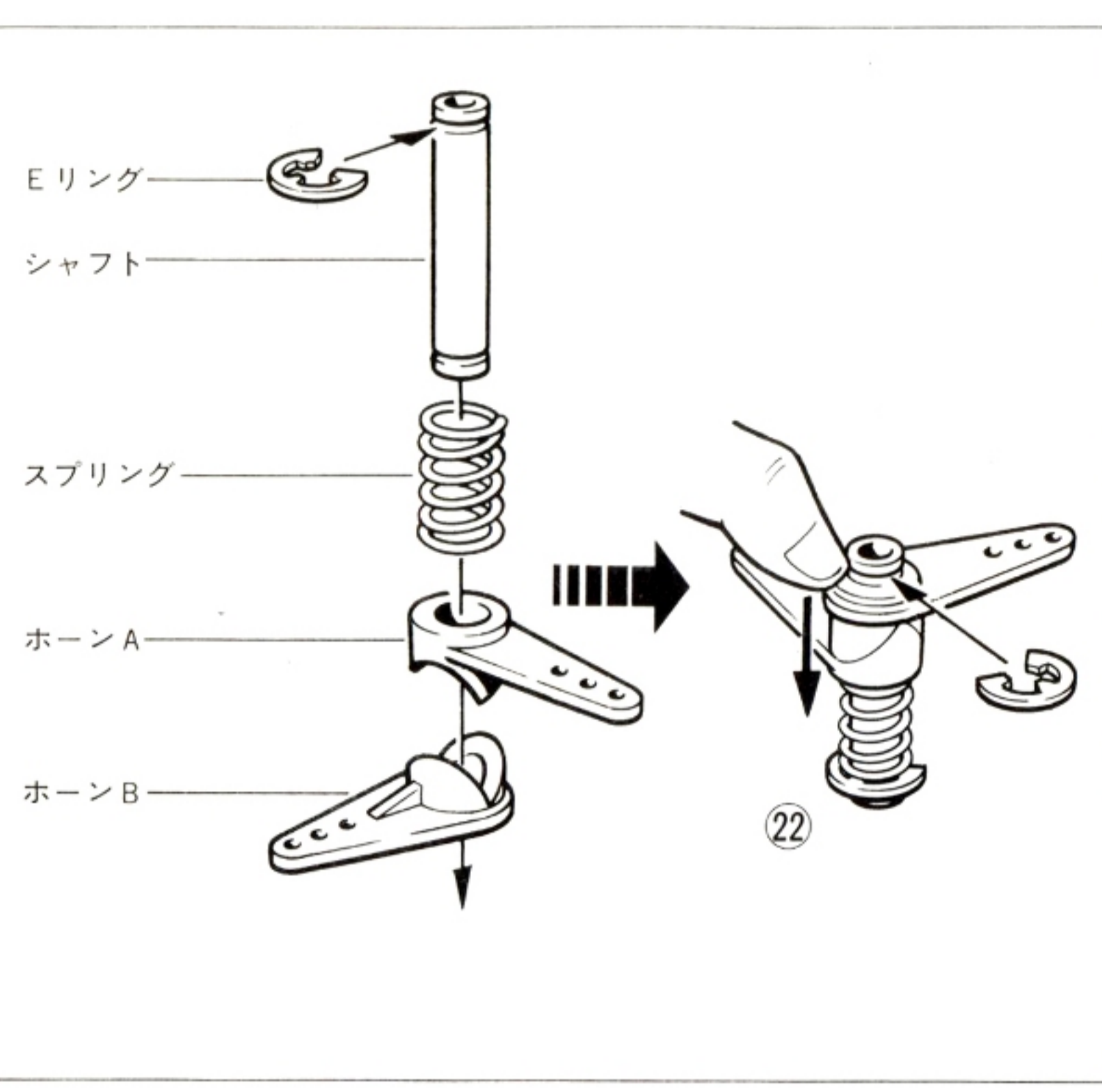
組立図5-9までの小物パーツはフロント部井2のパーツ袋に入っています。



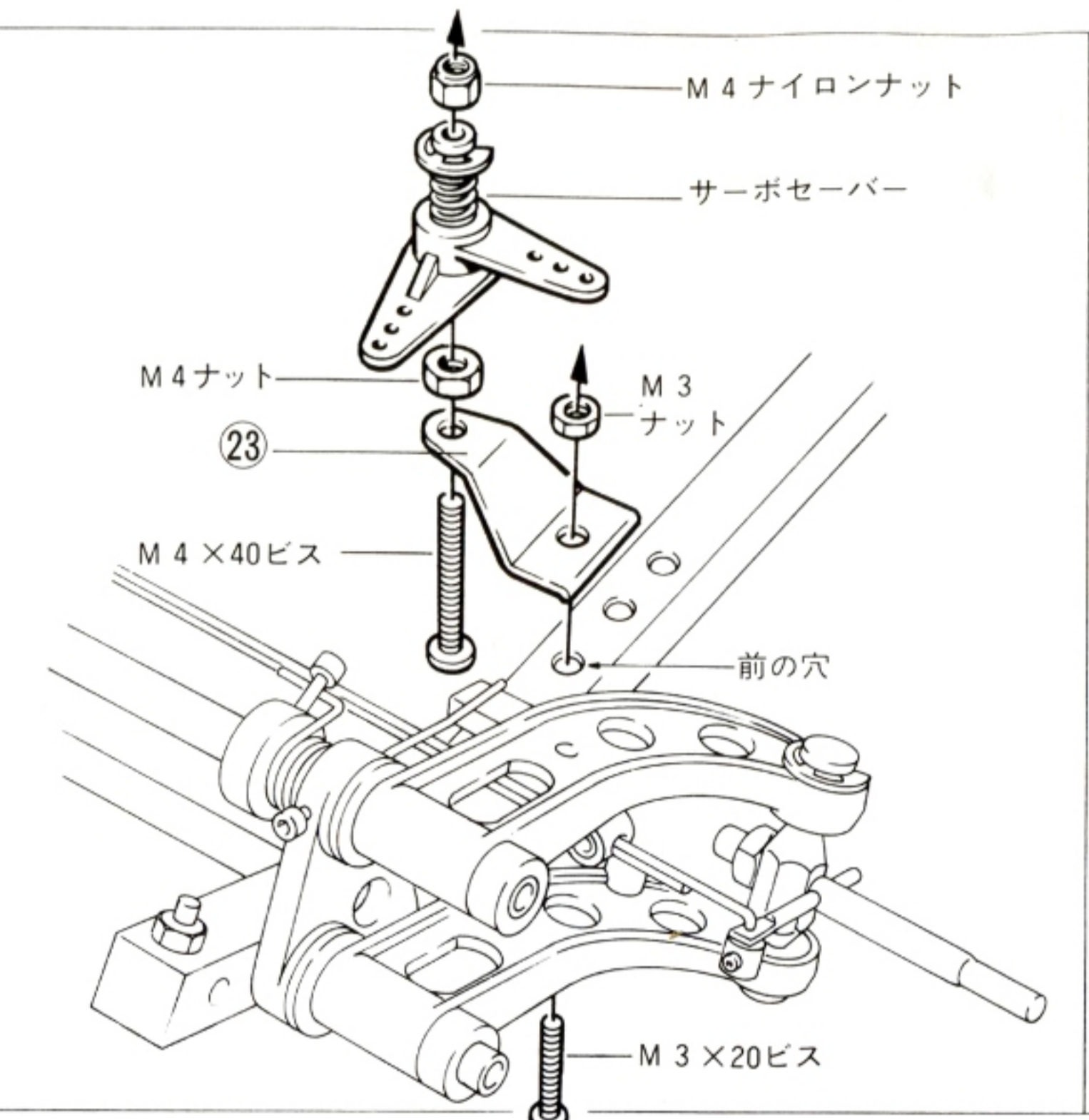
4 フロントサスアームに組立済みの部品 (キーNo.⑪⑫⑬⑭) をさしこみ、Eリング⑮を横から入れてとめて下さい。つぎにフロントスプリング⑦を図のようにセットして下さい。

5 図のようにタップA⑰タップB⑱にタイロッド⑯を通し、タイロッドの全長を約210ミリ位にし、タップ取付位置は端から約30ミリの位置、M4イモネジでタップを取付ける。タイロッドストッパー⑲を使い、ナックルアーム⑭にタイロッド⑯をセットして下さい。

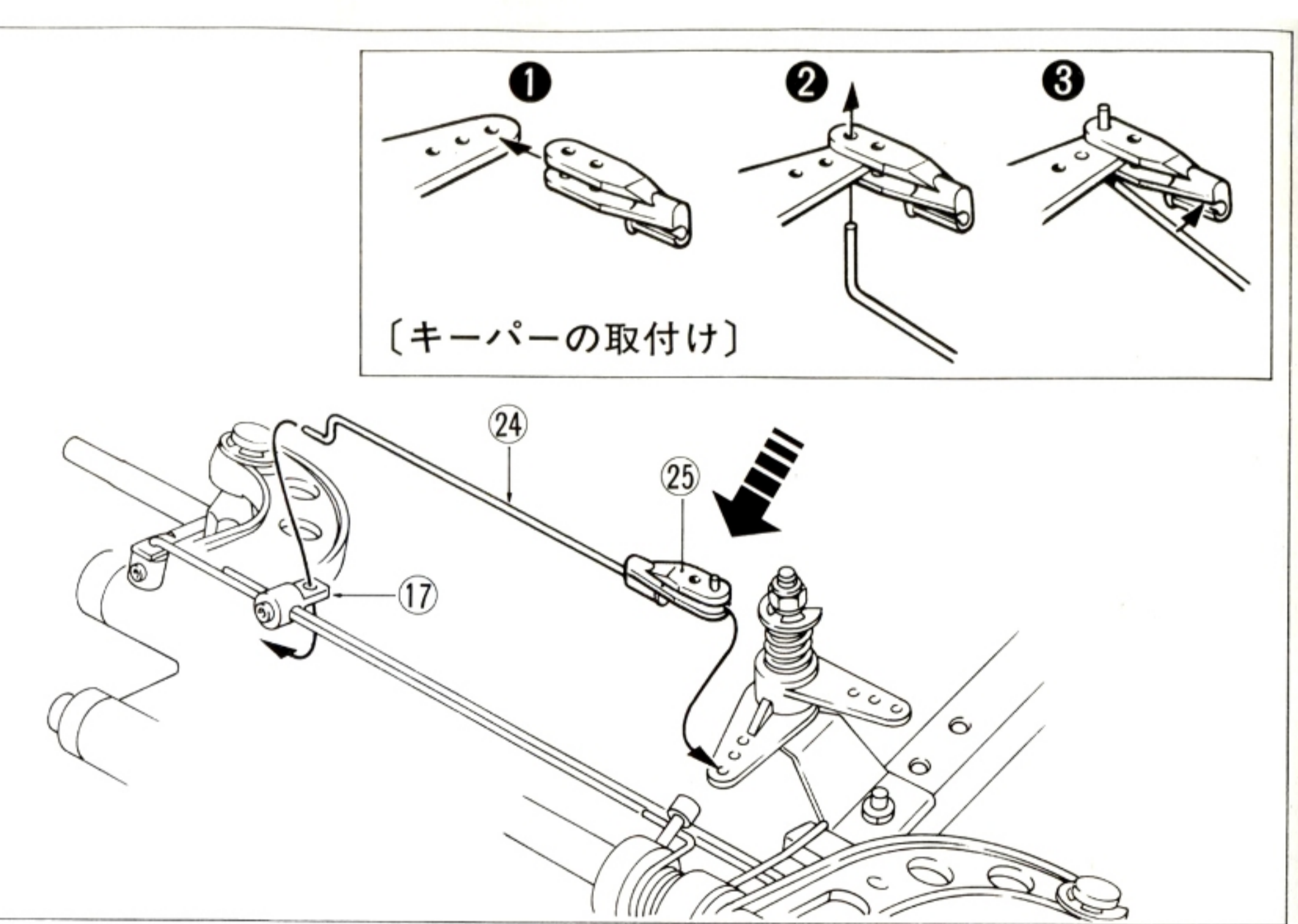
6 フロントバンパー⑳をフレームに取付ける。フロントダンパー(オプション)を取付ける方は**6**図終了後、12ページ**48**図の要領で組立てて下さい。



7 サーボセーバー②②は組立済になっております。分解して組立てる時の参考にして下さい。

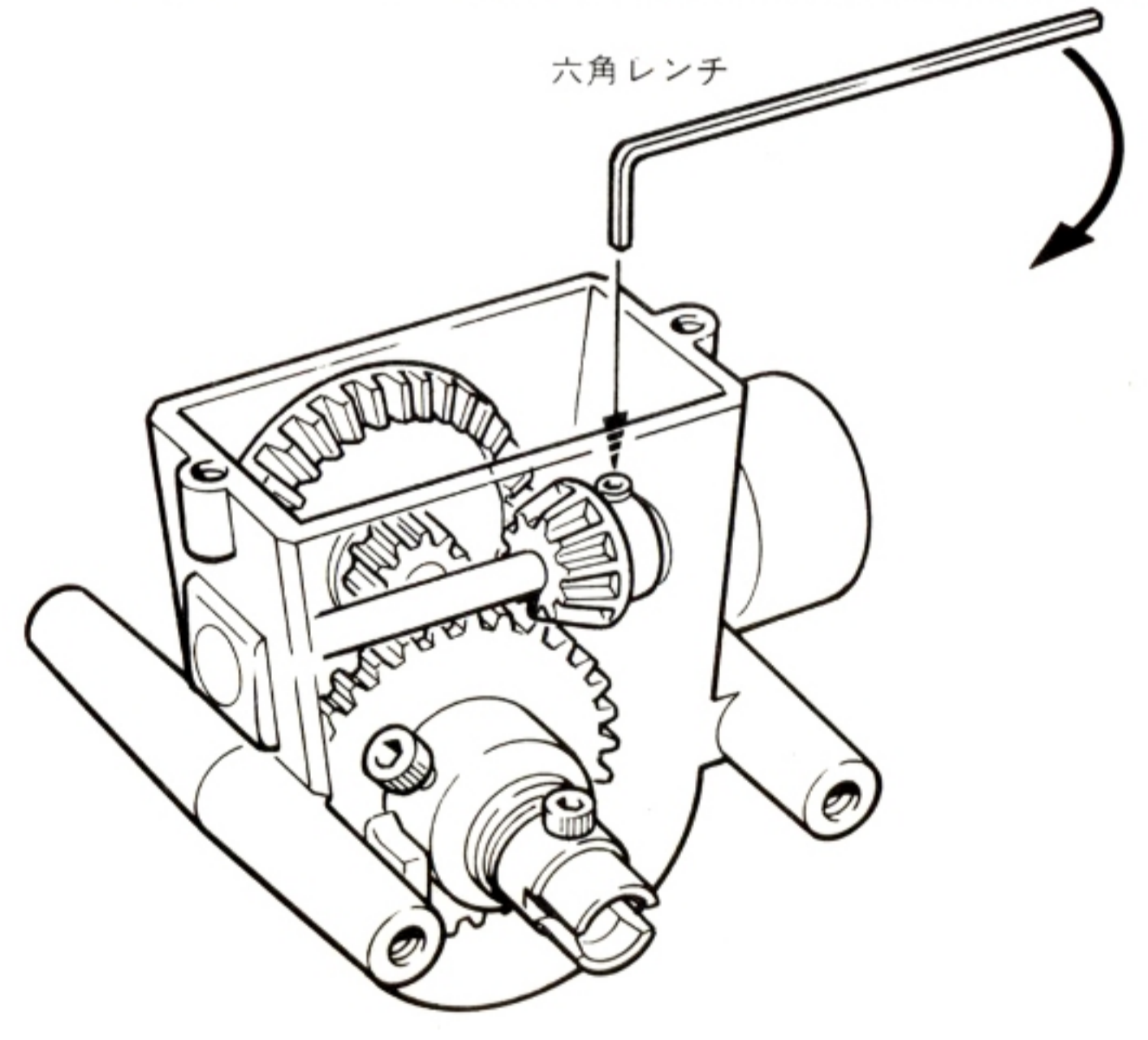


8 メインフレームにサーボ取付金具②③を取付け、②③の金具にM4 x 40ビスをM4ナットでしっかりと固定し、M4ビスにサーボセーバーを入れ、M4ナイロンナットでセットしますが、右左に軽く動くようにM4ナイロンナットを締め過ぎないようにして下さい。

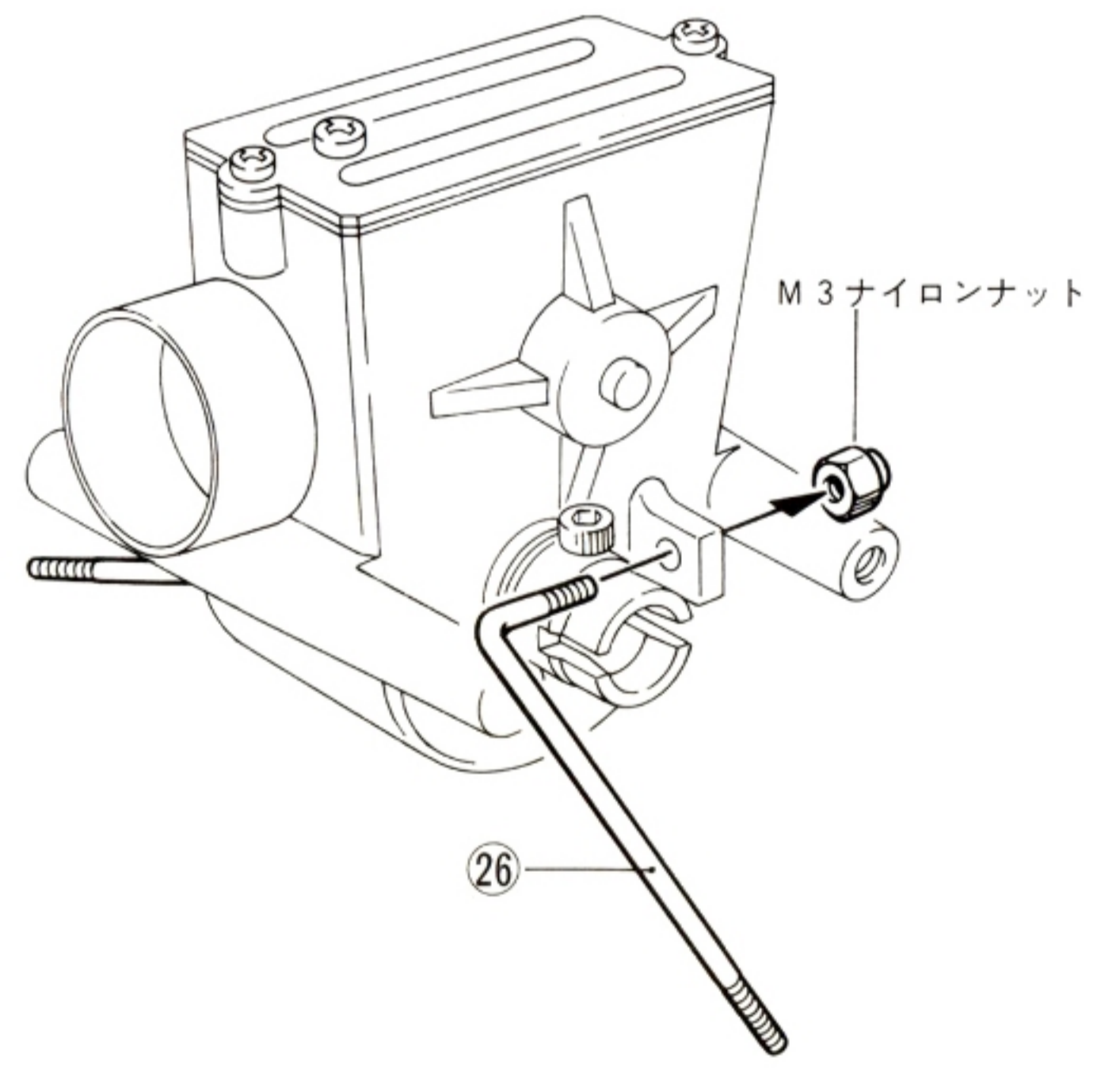


9 ステアリングロッド②④をタップ②⑦に入れ、もう一方をキーパー②⑤を使ってサーボセーバーに取付けて下さい。

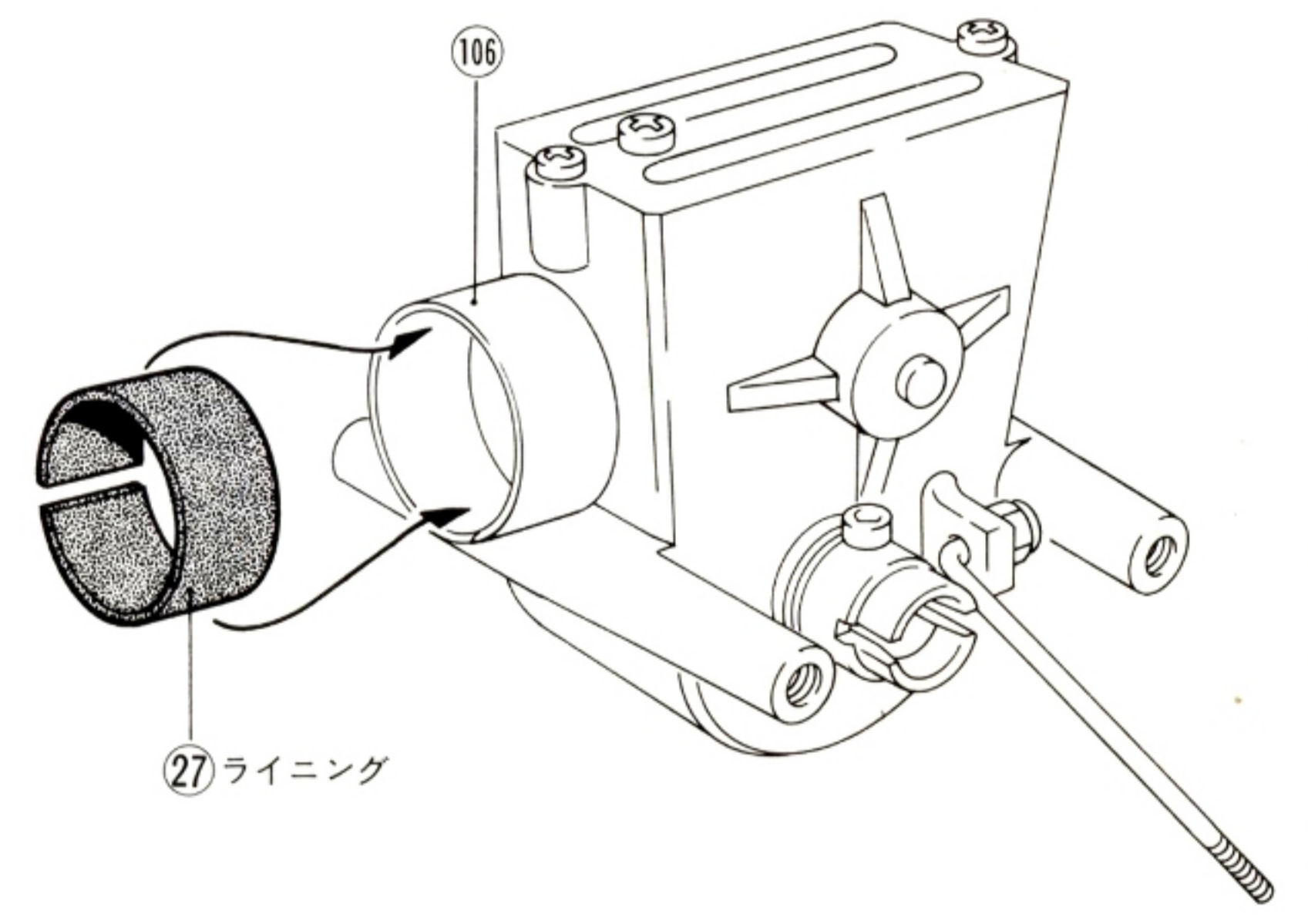
組立図⑩-⑰までの小物パーツはリア部#1のパーツ袋に入っています。



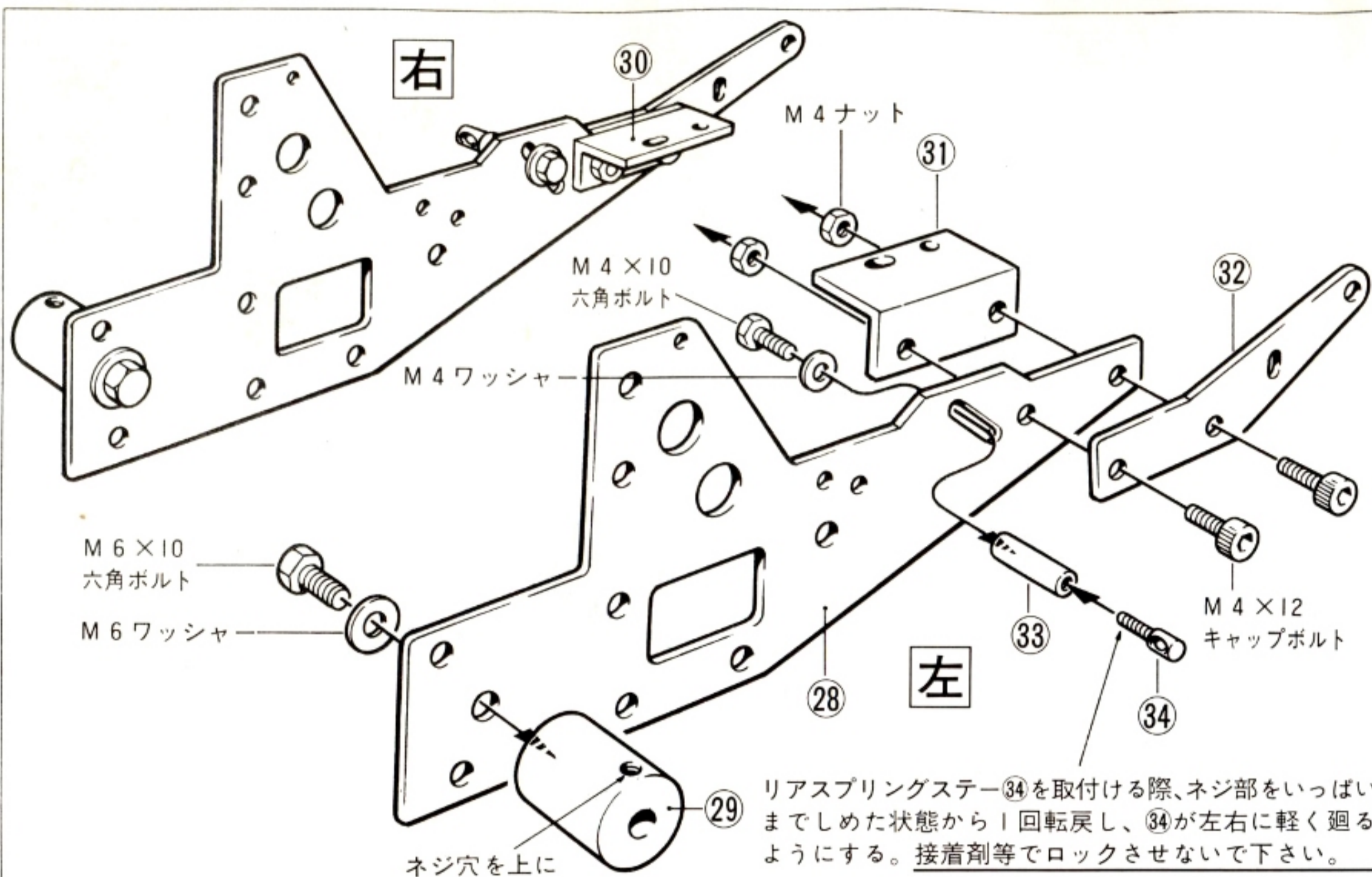
10 ギヤボックスは本車の最も重要な部分です。工場で組立済となっておりますが、各ネジを良く点検し、増締めしておいて下さい。



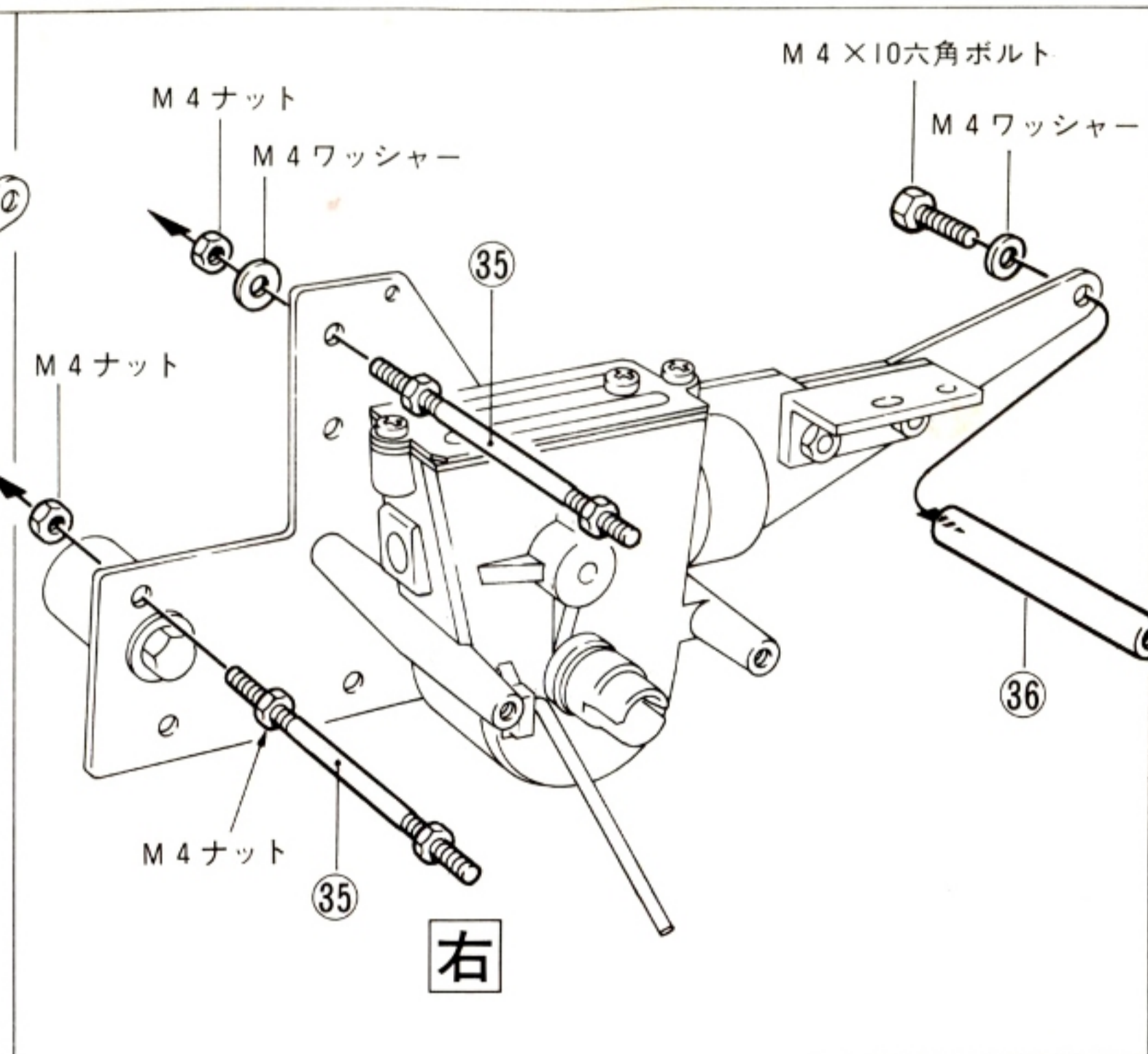
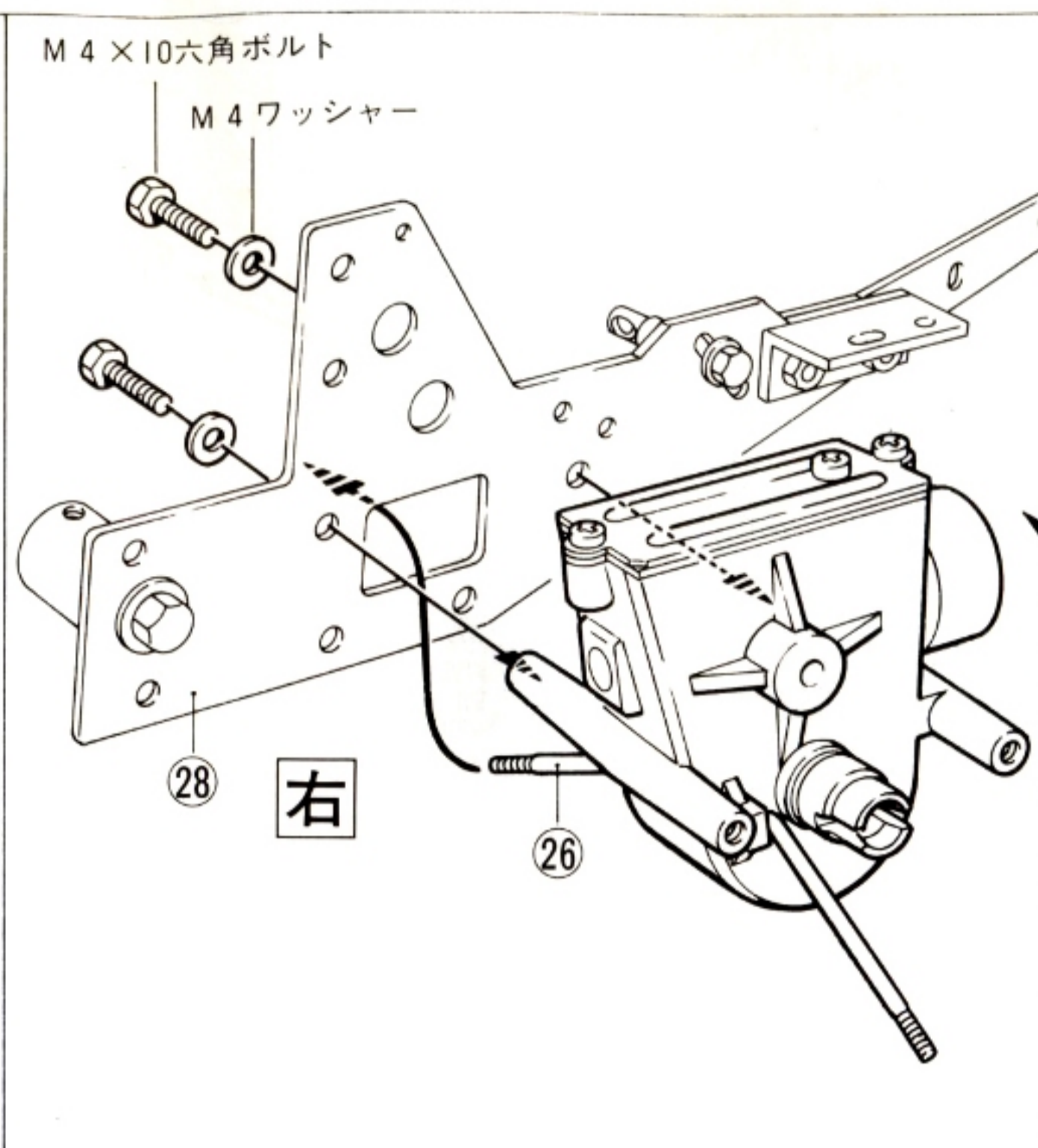
11 図のようにギヤボックスにテンションロッド②⑥を上下に軽く動くよう取付けて下さい。



12 ライニング②⑦をクラッチベル②⑩⑥に入れますが、ライニングの長さを短くしたりしないで、また接着剤も付けずに押し込んで下さい。押し込んだあと、つなぎ目に少量の接着剤を流して下さい。ライニング交換のとき、大変楽に出来ます。



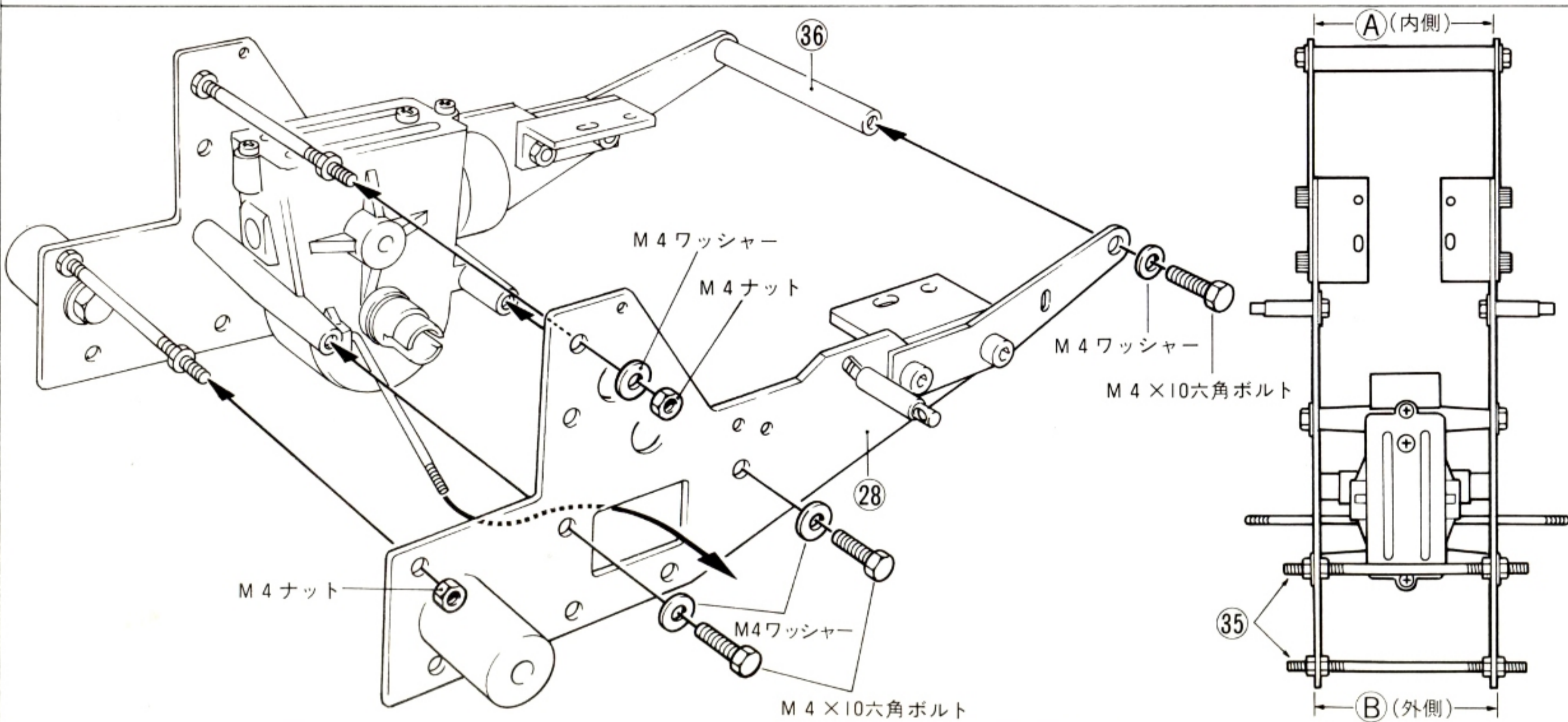
リアスプリングステー③④を取付ける際、ネジ部をいっばいまでしめた状態から1回転戻し、③④が左右に軽く廻るようにする。接着剤等でロックさせないで下さい。



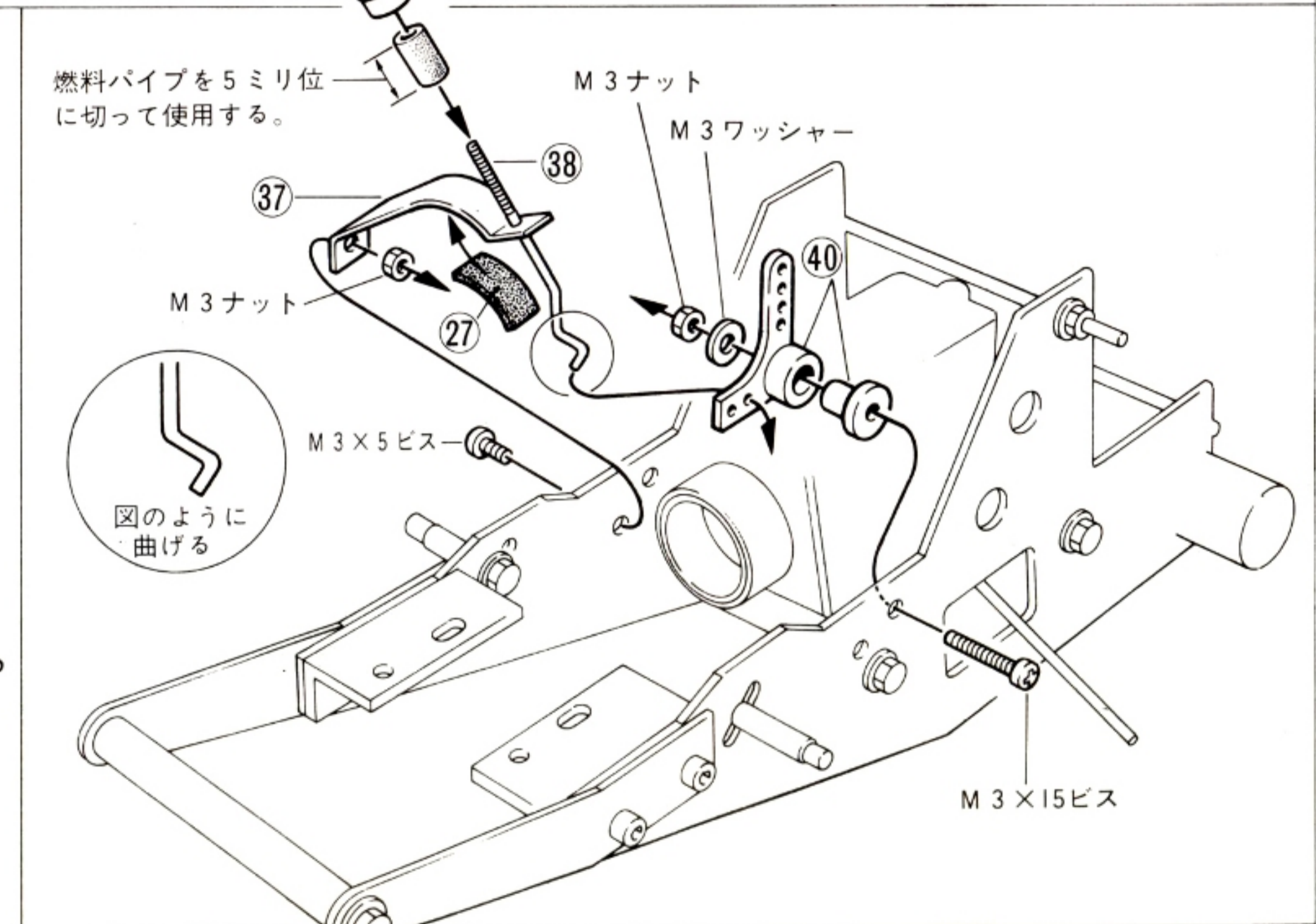
13 リアフレーム②⑧にリアサスピボット②⑨をM6ボルトで取付ける。エンジンマウント③⑩⑪をリアステー③⑫といっしょに取付けますが、エンジンマウントの右左をまちがえないように取付けて下さい。つぎに、リアスプリングステー取付金具③⑬を長穴に仮止め程度に取付けておきます。③⑭のリアスプリングステーを③⑬の取付金具に軽くネジ込んで下さい。

14 ギヤボックスのテンションロッド②⑥をリアフレーム②⑧の四角い穴へ通し、ギヤボックス本体をリアフレーム②⑧に取付けます。

15 スタッドボルト③⑤にM4ナットを図のように通し、リアフレームの一方にスタッドボルト③⑤をM4ナットで仮止めしておきます。リアステージョイント③⑥も取付けておきます。

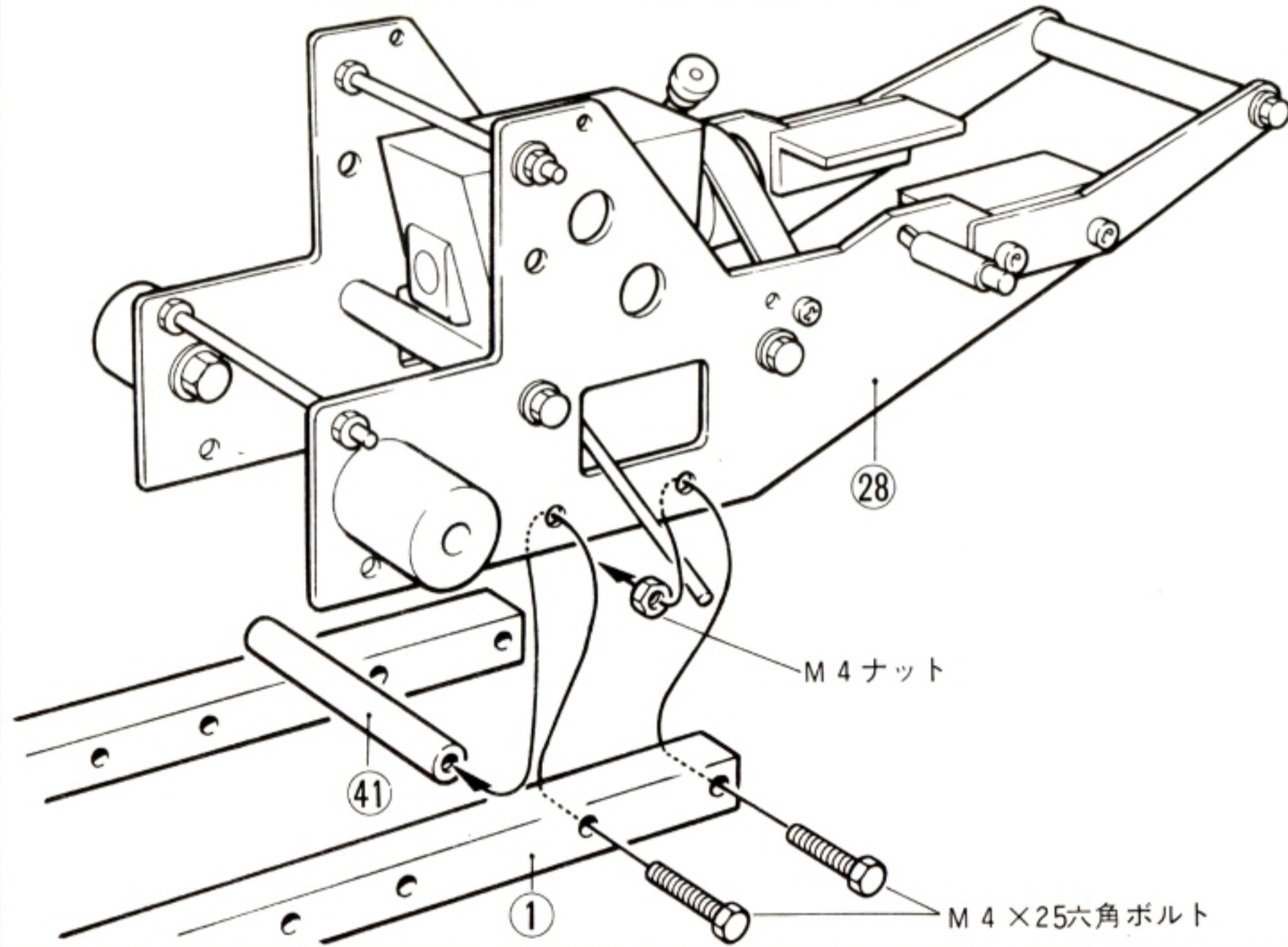


16 もう一方のリアフレーム②⑧を図のように取付けますが、右図のA・Bが平行になるようスタッドボルト③⑤のM4ナットを調整して締め付けて下さい。

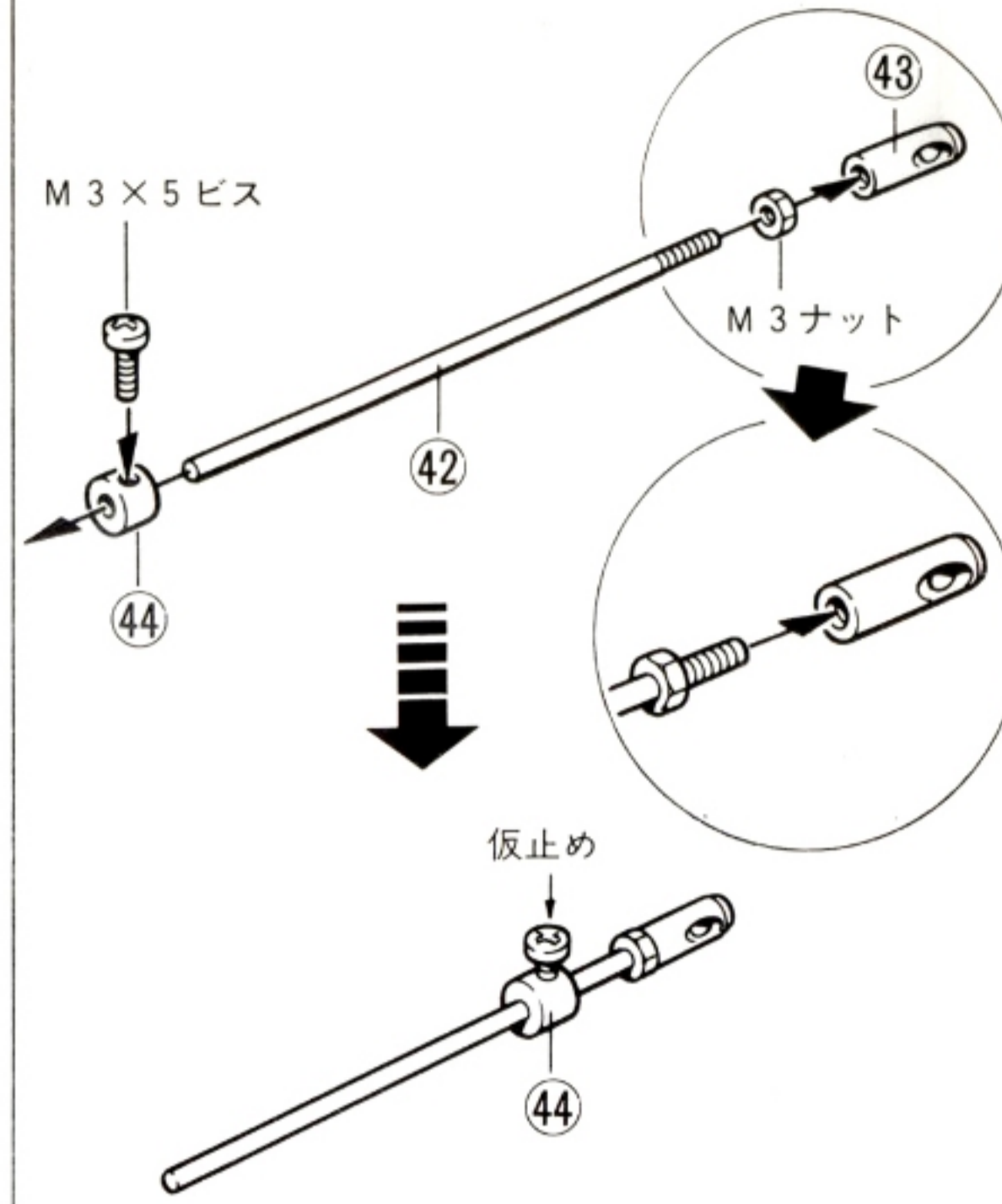


17 ブレーキシュー③⑦にライニング②⑦を接着し、図のようにブレーキ及びレクラク④⑩を取付けて下さい。ブレーキアジャスター③⑨は、ブレーキロッド③⑧にネジ込んで下さい。

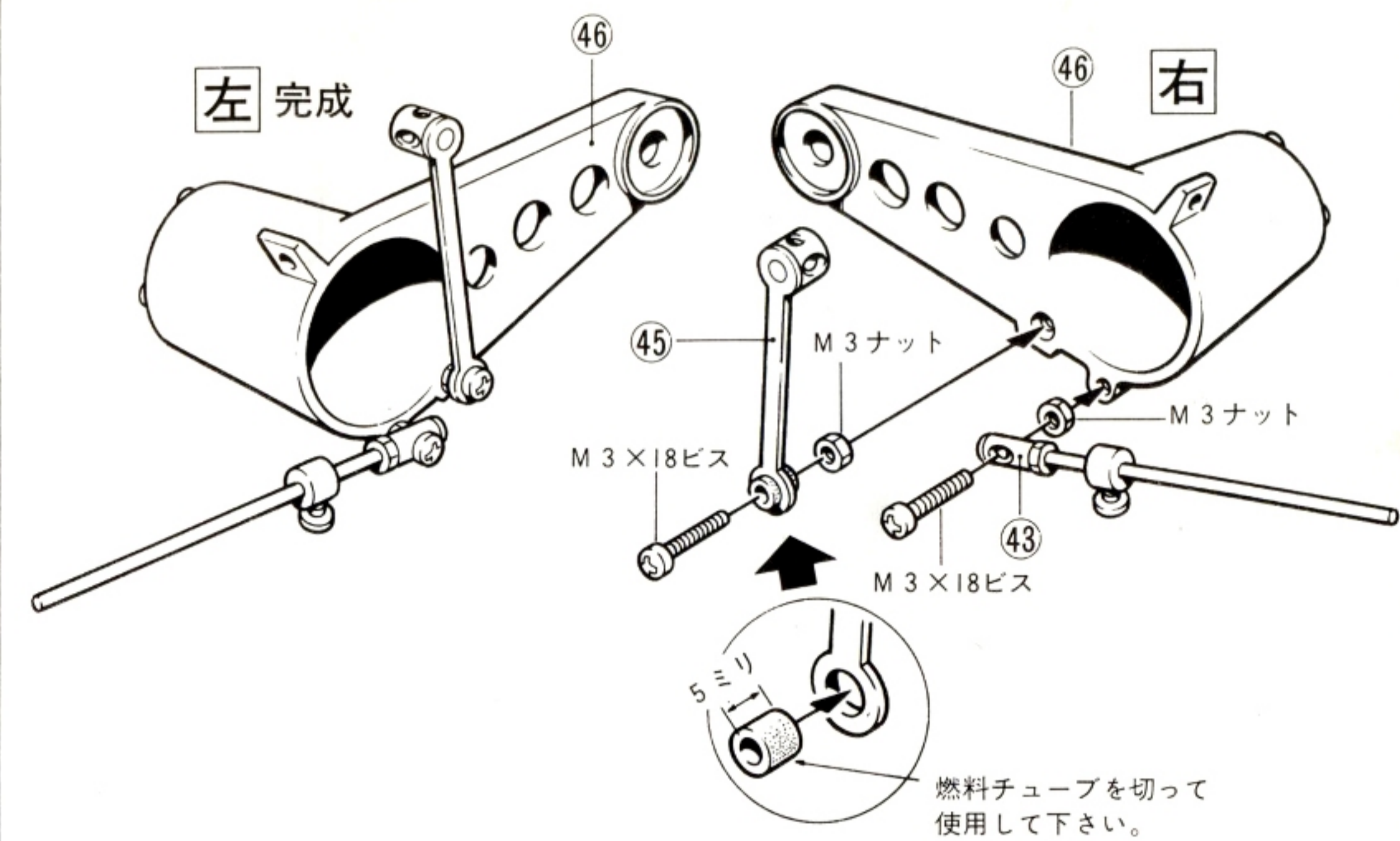
組立図18-22までの小物パーツはリア部井2のパーツ袋に入っています。



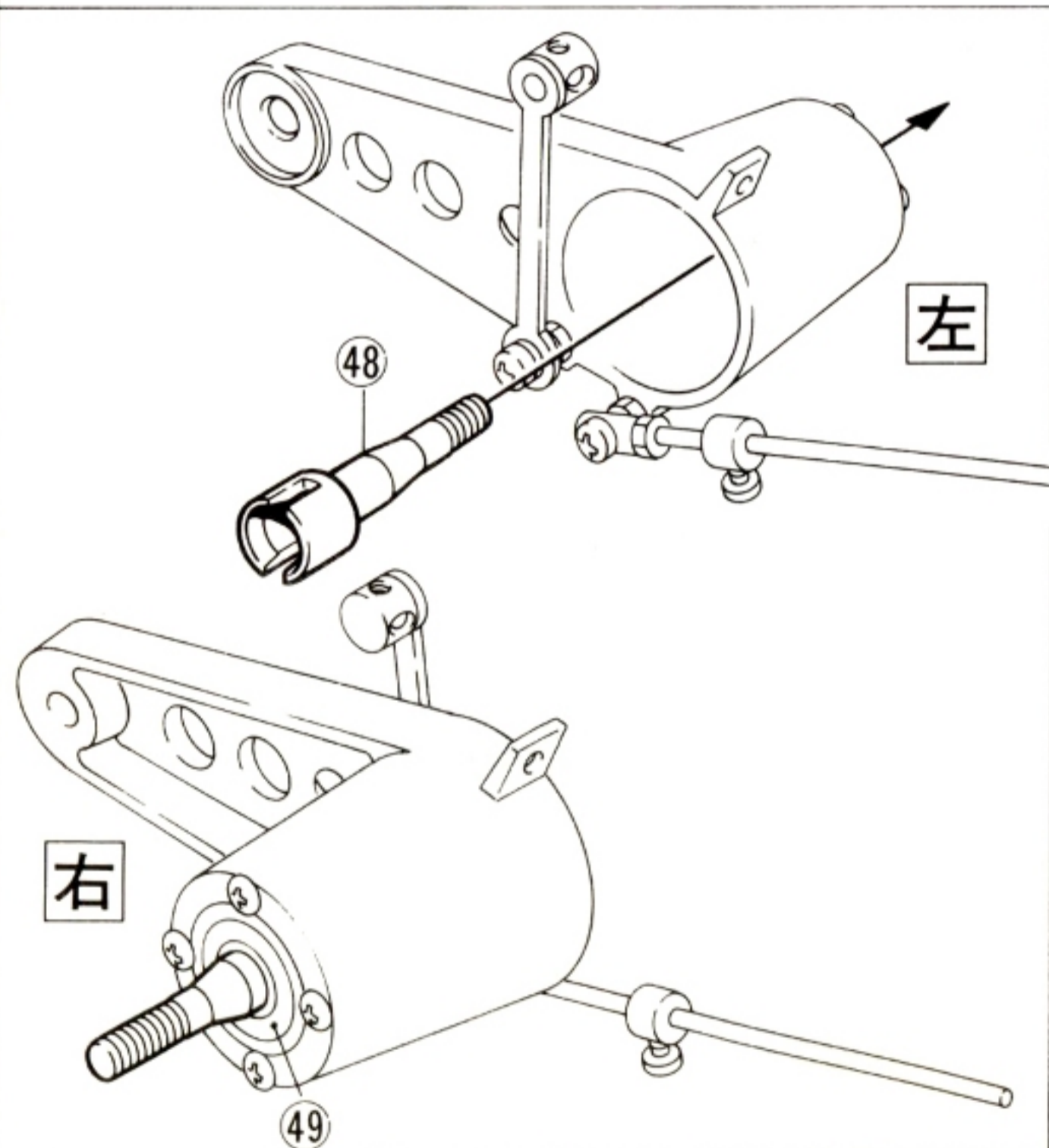
18 メインフレーム①にリアフレーム②⑧を図のように取付けます。



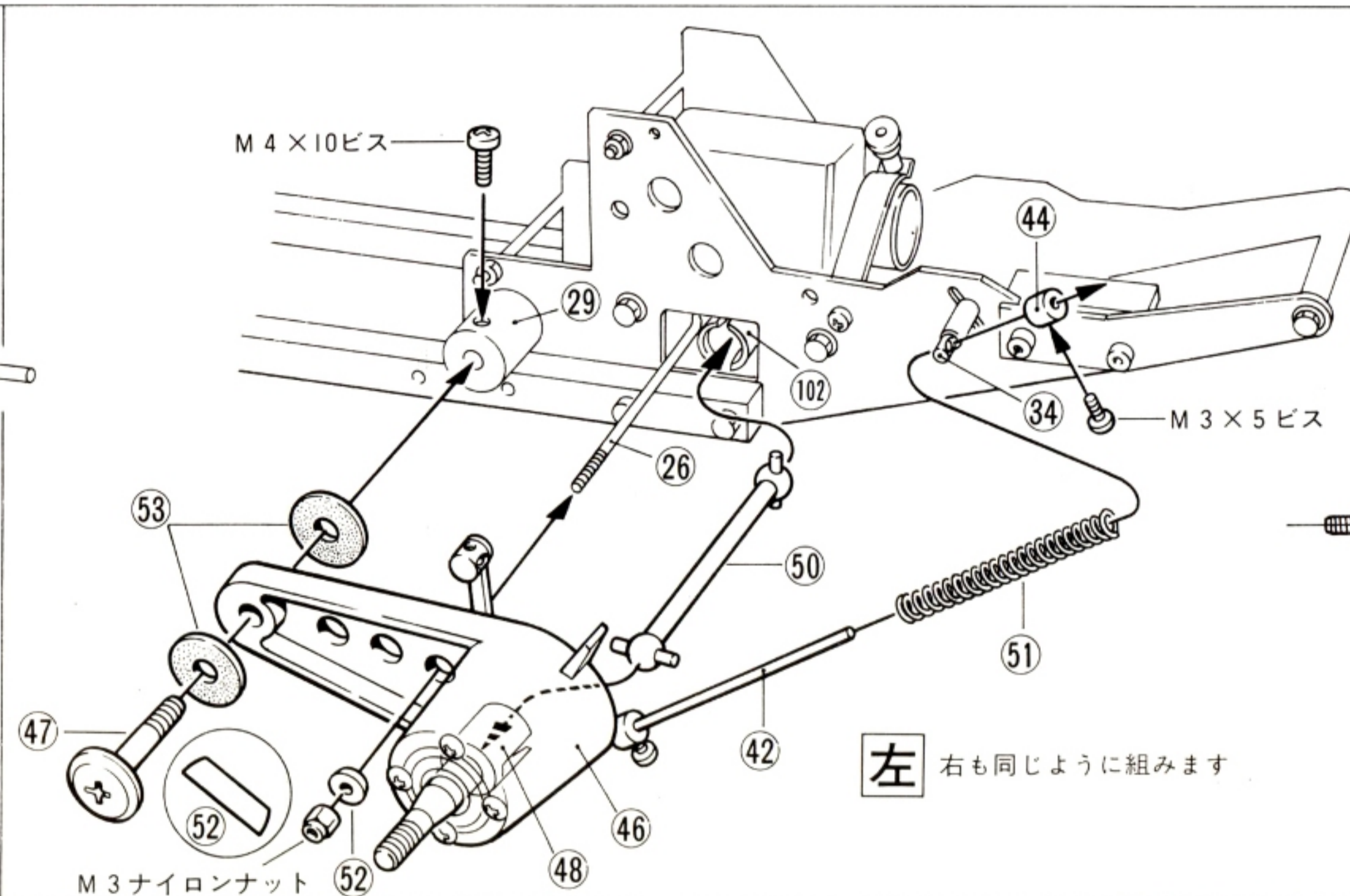
19 スプリングガイド④②スプリングガイドエンド④③を取付けます。取付け方法としてM3ナットを奥までネジ込んでおき、スプリングガイドエンド④③をいっばいにネジ込み、いっばいに締まったらM3ナットでゆるまないようにロックします。又、④④3φストッパーは仮止めしておきます。



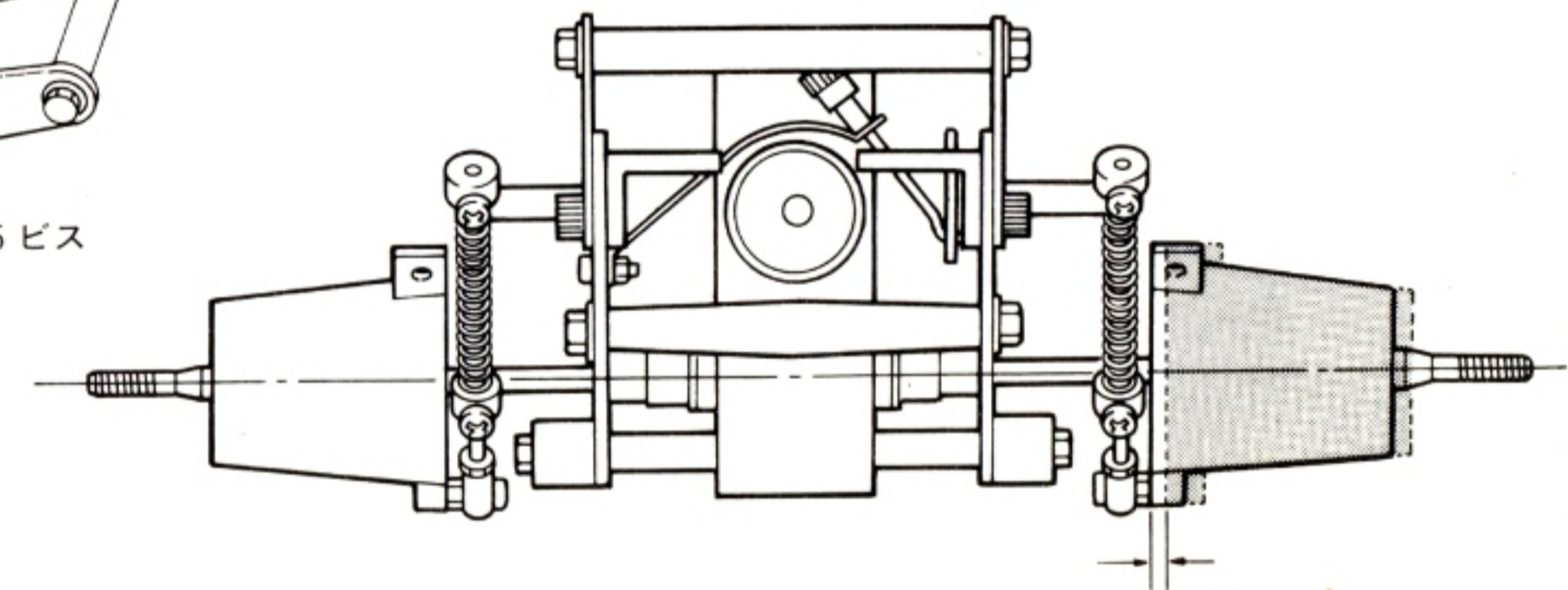
20 リアササアーム④⑥に、スタビリンク④⑤及びスプリングガイドエンド④③を図のように取付けます。取付ける際、右左にガタがなく、軽く動くようにセットし、M3ナットでロックします。
リアダンパー(オプション)を取付ける方は、12ページ④⑨図を参照、併せて組立てて下さい。



21 リアシャフトベアリング④⑨にリアホイールシャフト④⑧を入れます。



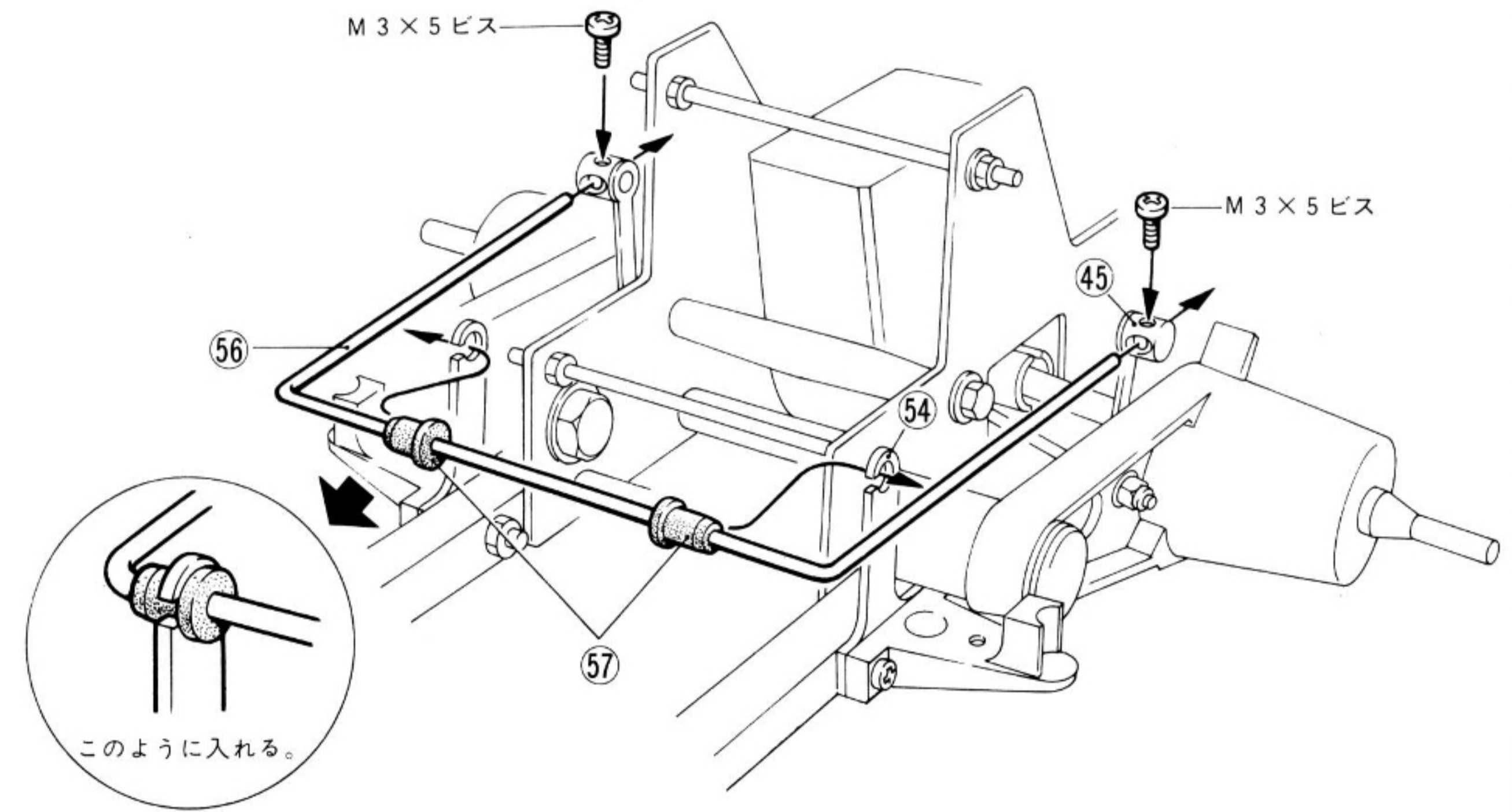
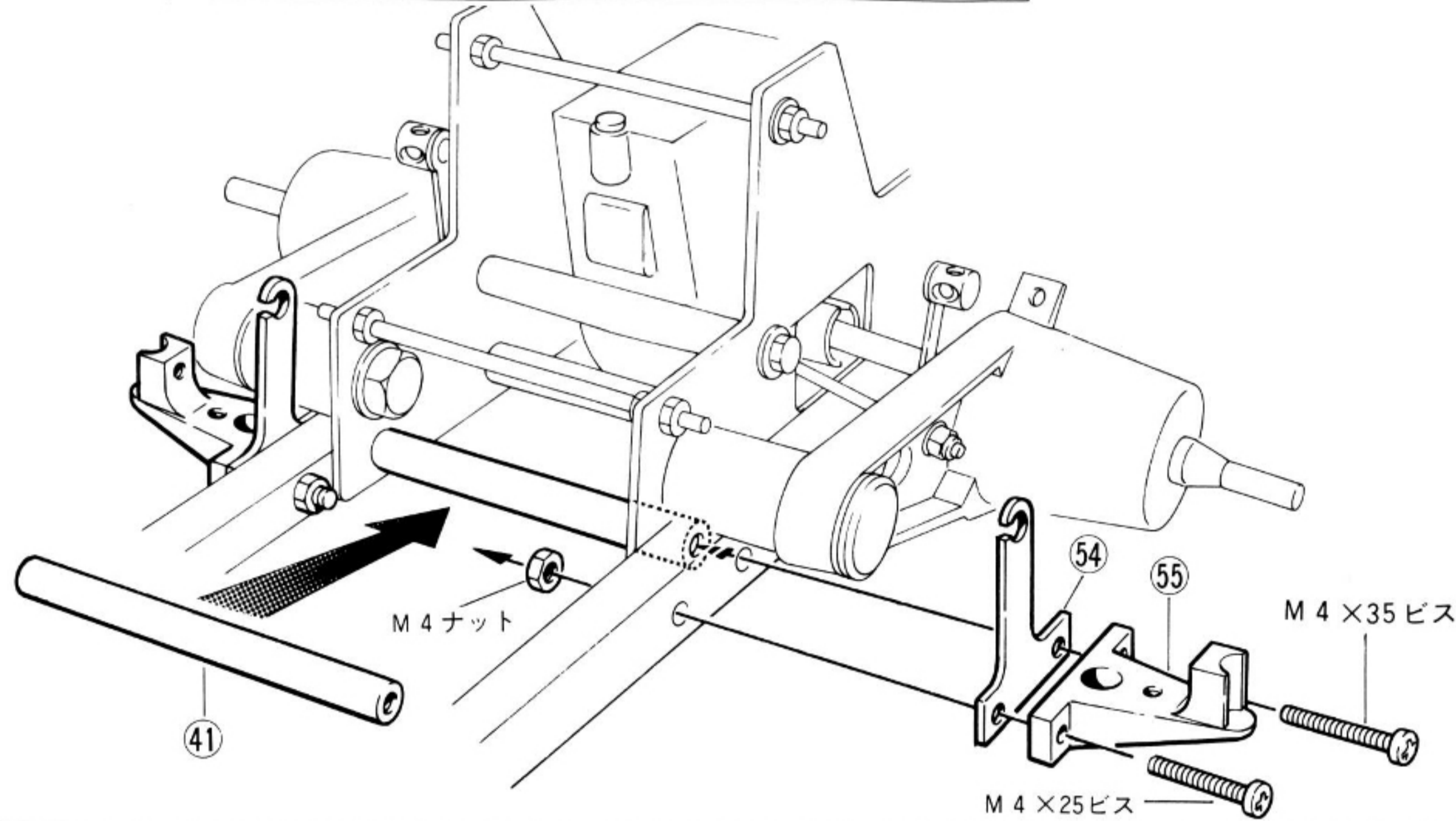
22 スイングシャフト⑤⑩をリアホイールシャフト④⑧に入れ、図のようにスイングシャフトのもう一方をギヤボックスのジョイント④⑩へ入れ、テンションロッド②⑥及びリアササシャフト④⑦を図のように取付けますが、④⑦のリアササシャフトの締め具合は、ササアームが右左にガタがなく、上下に軽く動くようにセットし、②⑨のリアササピボットのネジ穴にM4x10ビスをネジ込み、④⑦をロックします。そして、スイングシャフト⑤⑩がジョイント④⑩から脱れないよう、テンションロッド②⑥にテンションロッド受け⑤②を入れ、M3ナイロンナットでテンションロッド②⑥を引張り、引張りすぎるとリアササアームの動きが悪くなります。右図のような状態の位置で右左に1ミリ程のガタがベストです。



スイングシャフトが水平のとき左右に1ミリ程のガタを付ける。

以上の組立が進んだら、リアスプリングガイド④②にリアスプリング⑤①を通し、③④のリアスプリングステーに入れ、④④3φストッパーで固定します。以上の組立が進んだら、リアホイールシャフトを手で回してみ、スムーズにギヤが回転すればOK、回転が悪い場合は、テンションロッド受け⑤②を止めているM3ナットをゆるめ、調整して下さい。

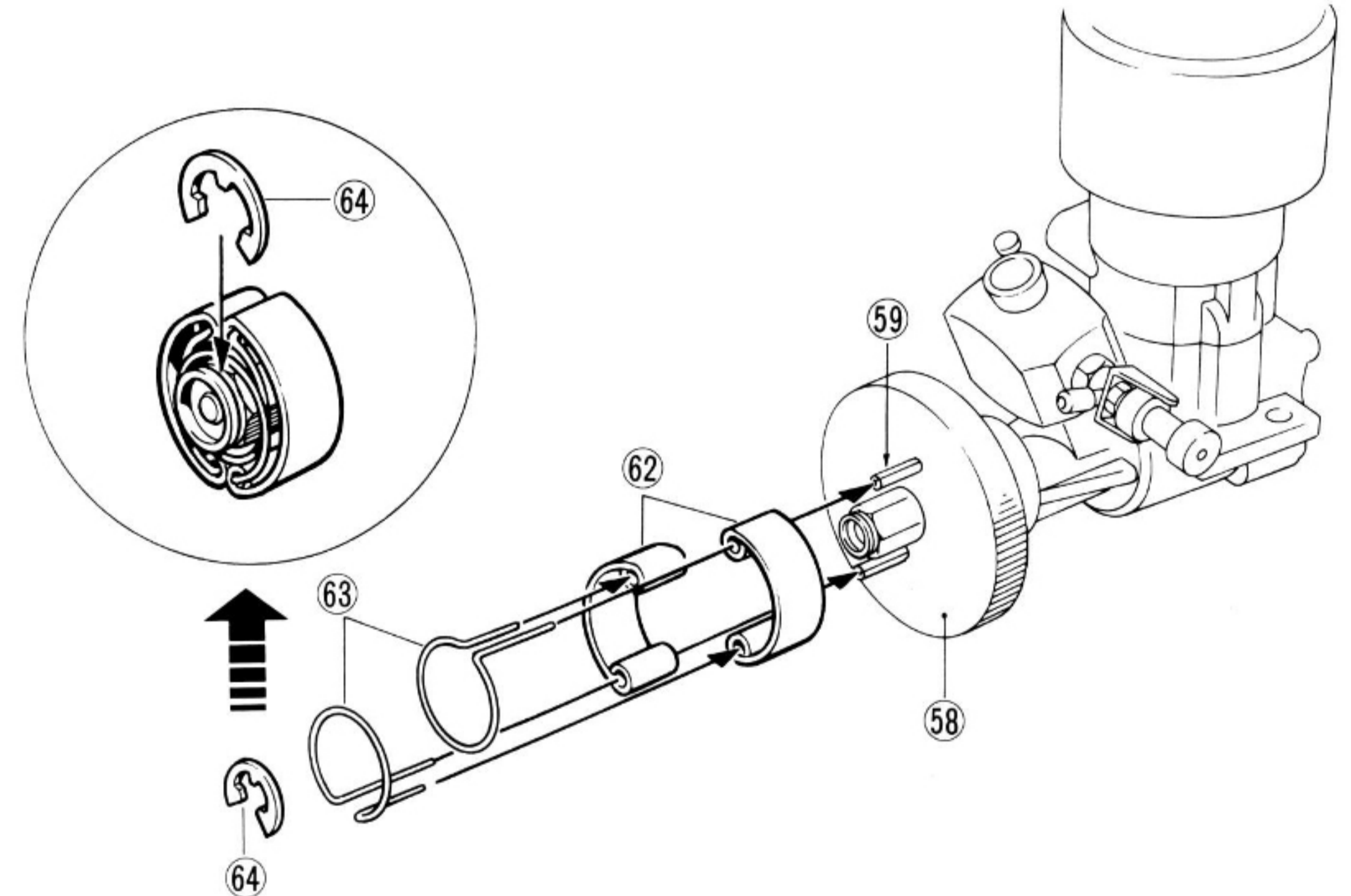
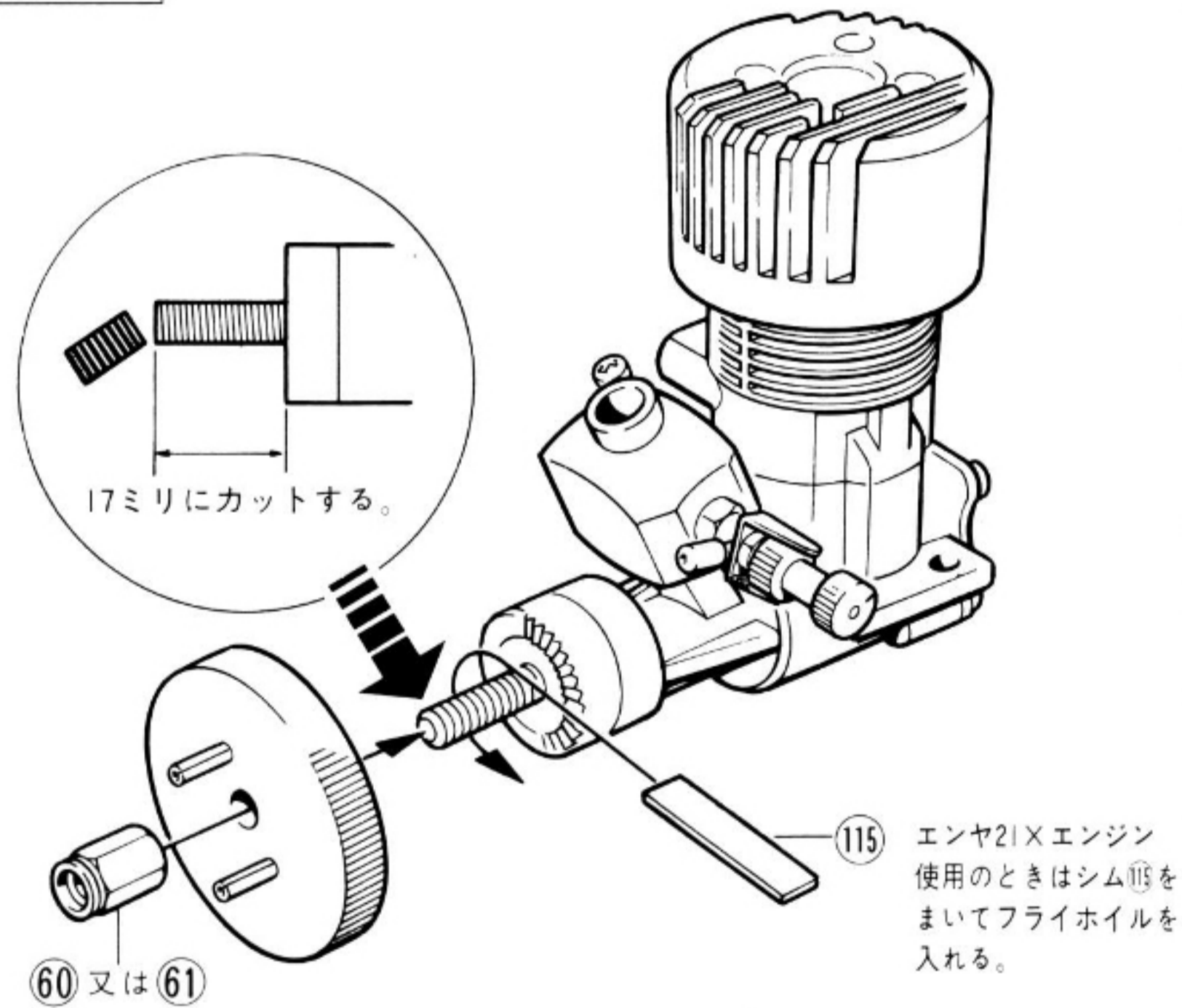
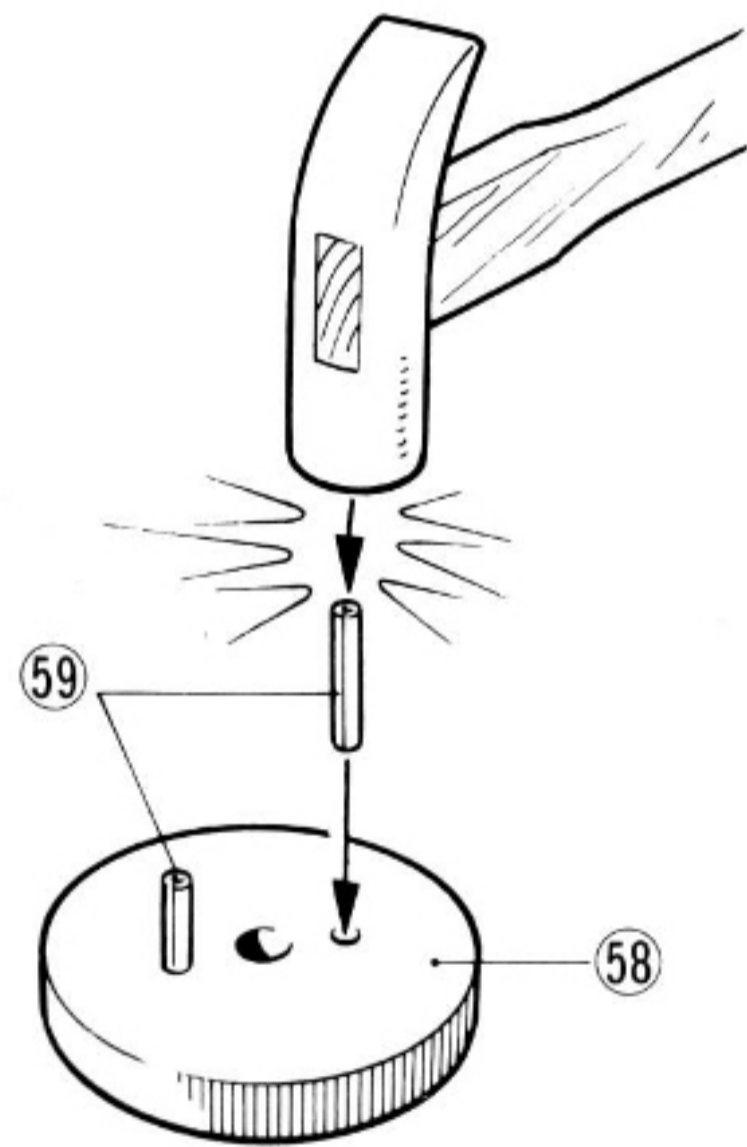
組立図23・24の小物パーツは、リア部#3パーツ袋に入っています。



23 ジョイントカラー④①をシャーシの内側へセットし、スタビ取付金具⑤④、サイドメンバー⑤⑤を取付けます。

24 スタビライザー⑤⑥にゴムブッシュ⑤⑦を図のように入れ、④⑤のスタビリンクにスタビライザー⑤⑥を入れながら、ゴムブッシュ⑤⑦を⑤④の取付金具に内側から入れ、スタビリンク④⑤にM3×5ビスで固定します。

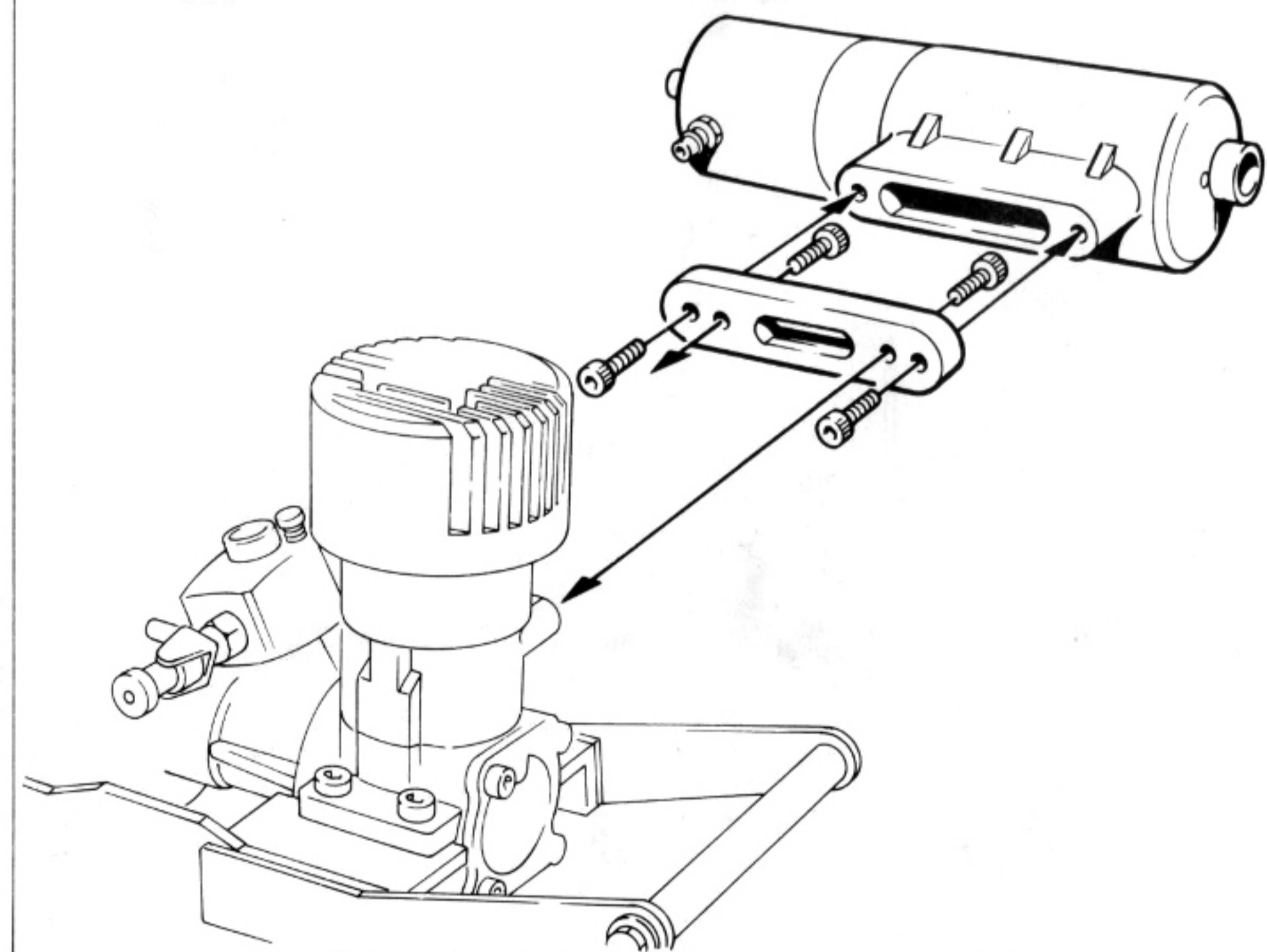
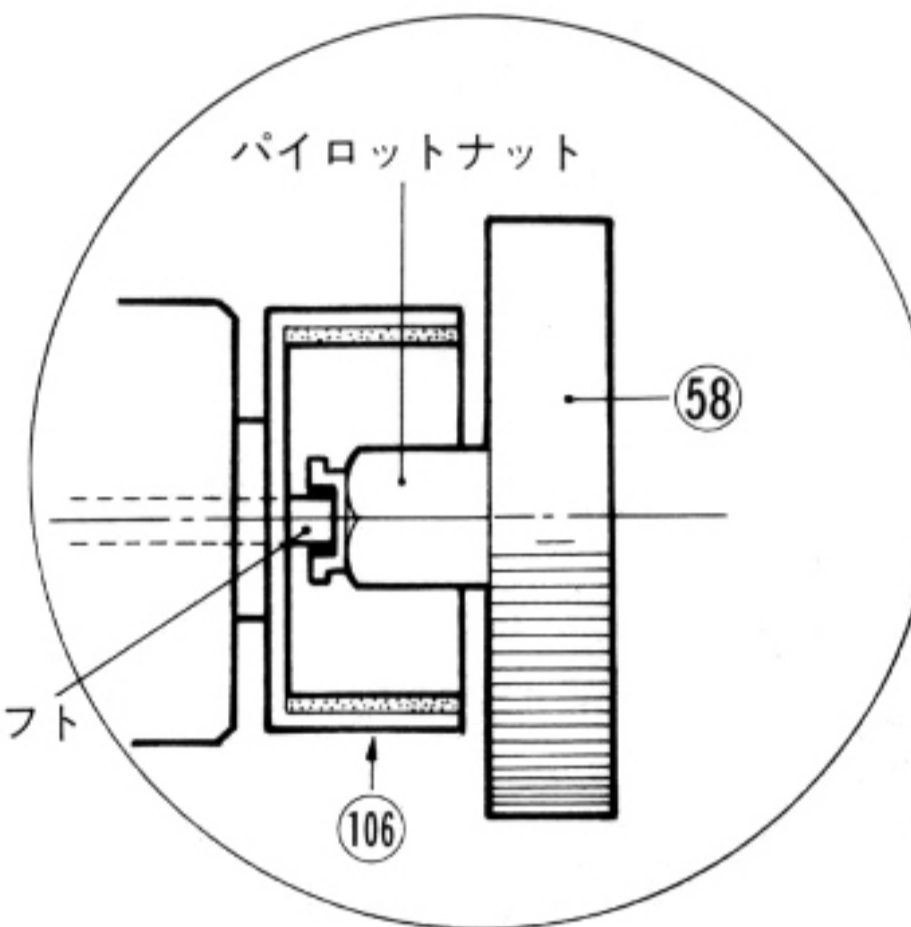
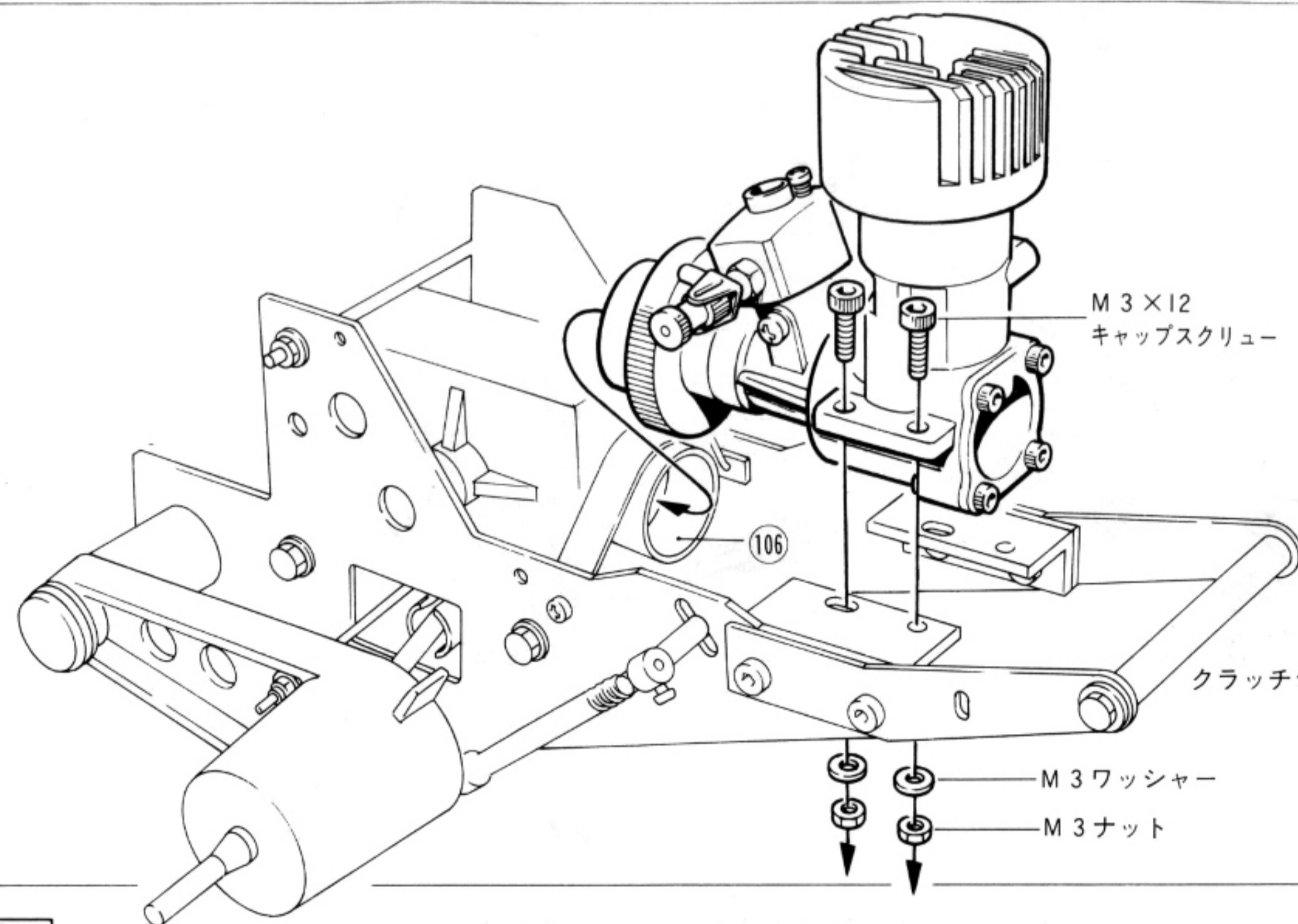
組立図25～28までの小物パーツはエンジン部のパーツ袋に入っています。



25 フライホイール⑤⑧へクラッチピン⑤⑨を打ち込みます。

26 まずエンジンのドライブワッシャーからシャフトの先端まで17ミリ残り、鉄ノコ、グラインダー等でカットして下さい。カットが済んだら図のようにフライホイール⑤⑧をしっかりと取付けて下さい。

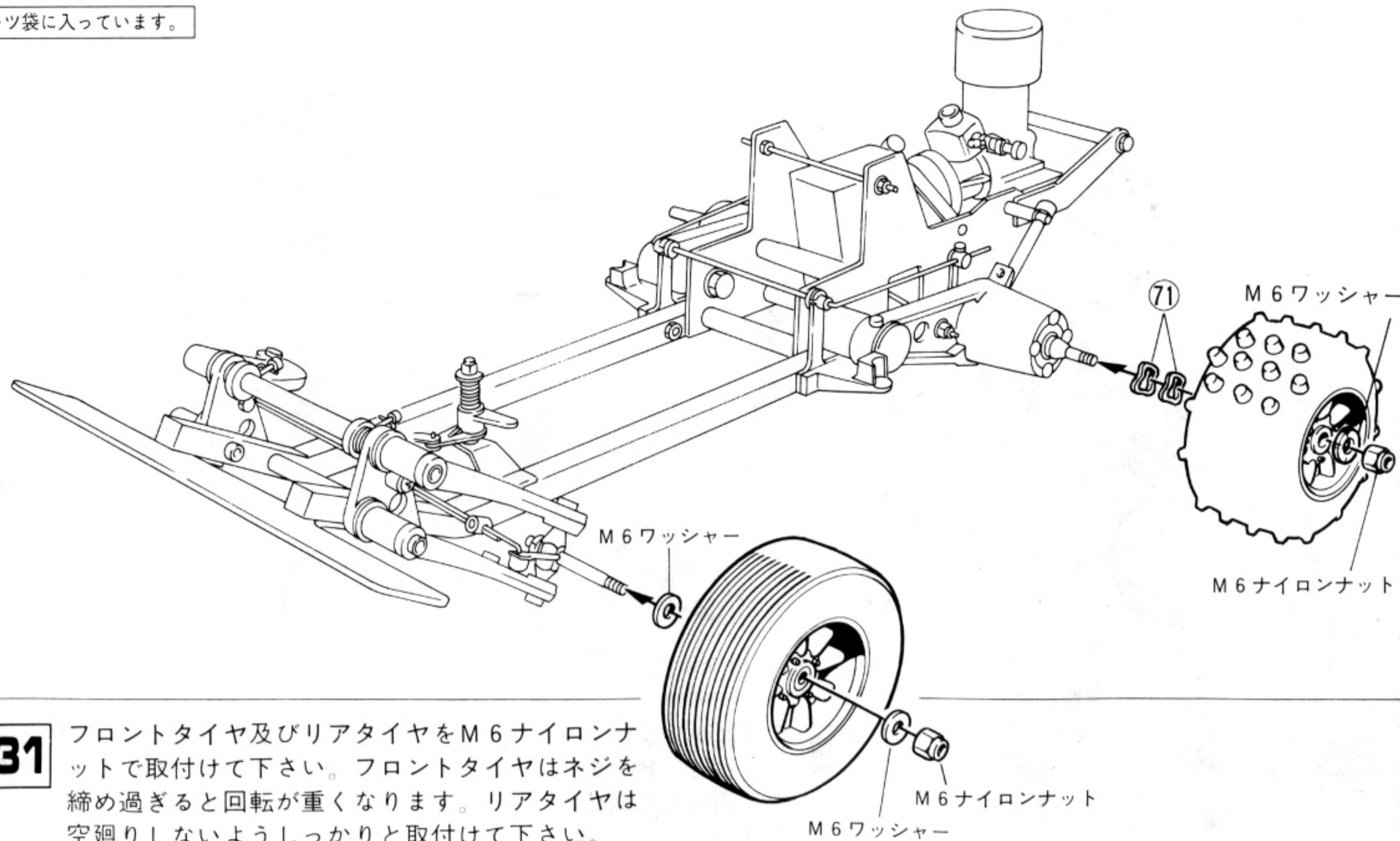
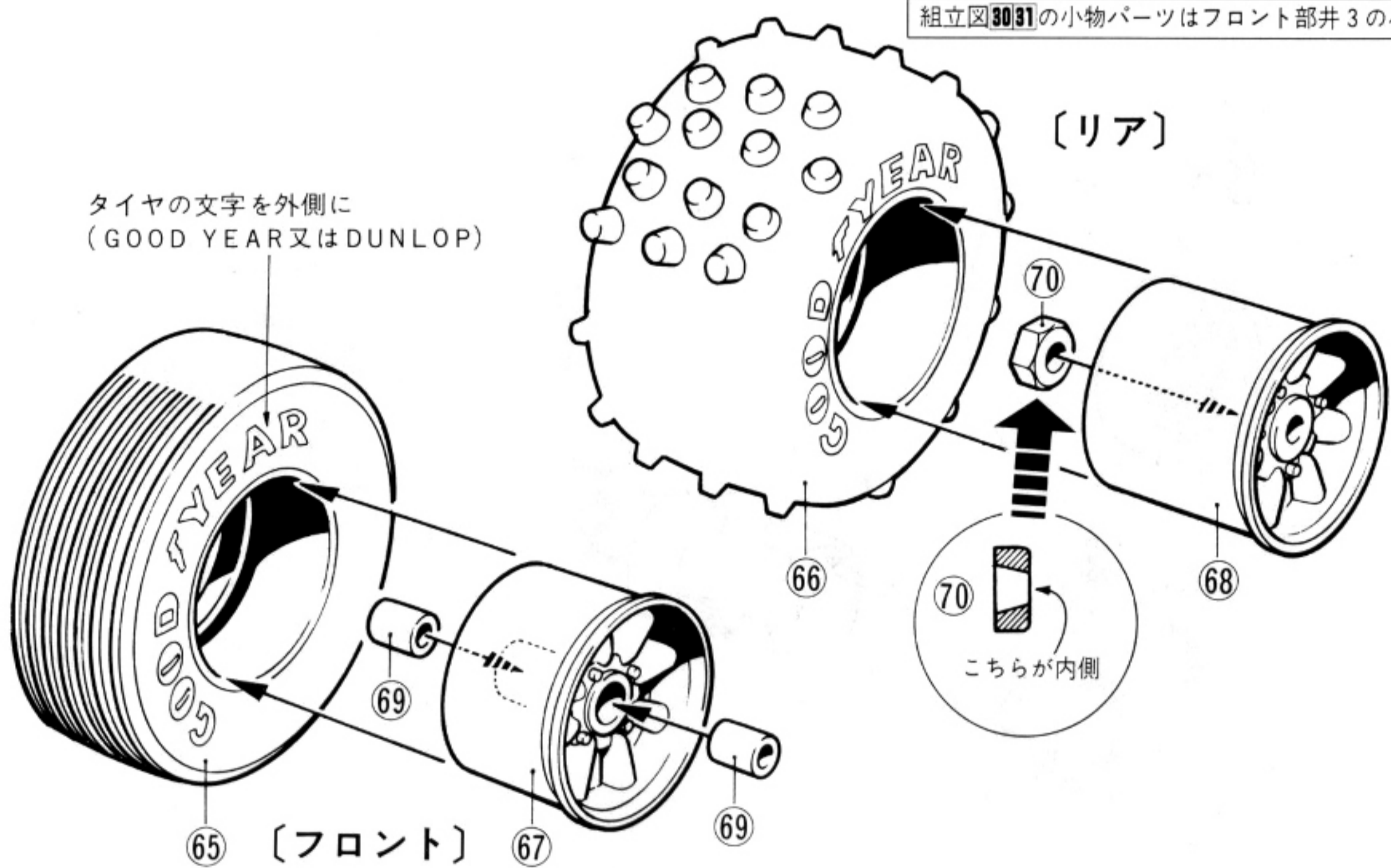
27 クラッチピン⑤⑨にクラッチシュー⑥②を入れ、図のようにクラッチスプリング⑥③の長い方をクラッチピン⑤⑨の穴へ、短い方をクラッチシュー⑥②の穴へ入れ、最後にパイロットEリング⑥④をパイロットナットの溝に入れ、スプリングがぬけないようにセットします。



28 まず、エンジンマウントを止めているボルトをいったんゆるめておき、クラッチベル⑩⑥のクラッチシャフトとパイロットナットのセンターの穴を合わせ、エンジンをエンジンマウントに取付けます。この際真上、真横からみて、エンジンがフレームと平行になるよう調整しながら各ネジをしっかりと締め付けて下さい。

29 マフラーを取付ますが、オプションでサーキット専用マフラーが発売されています。OS-2I、ENYA2IX共用 (CB-110)

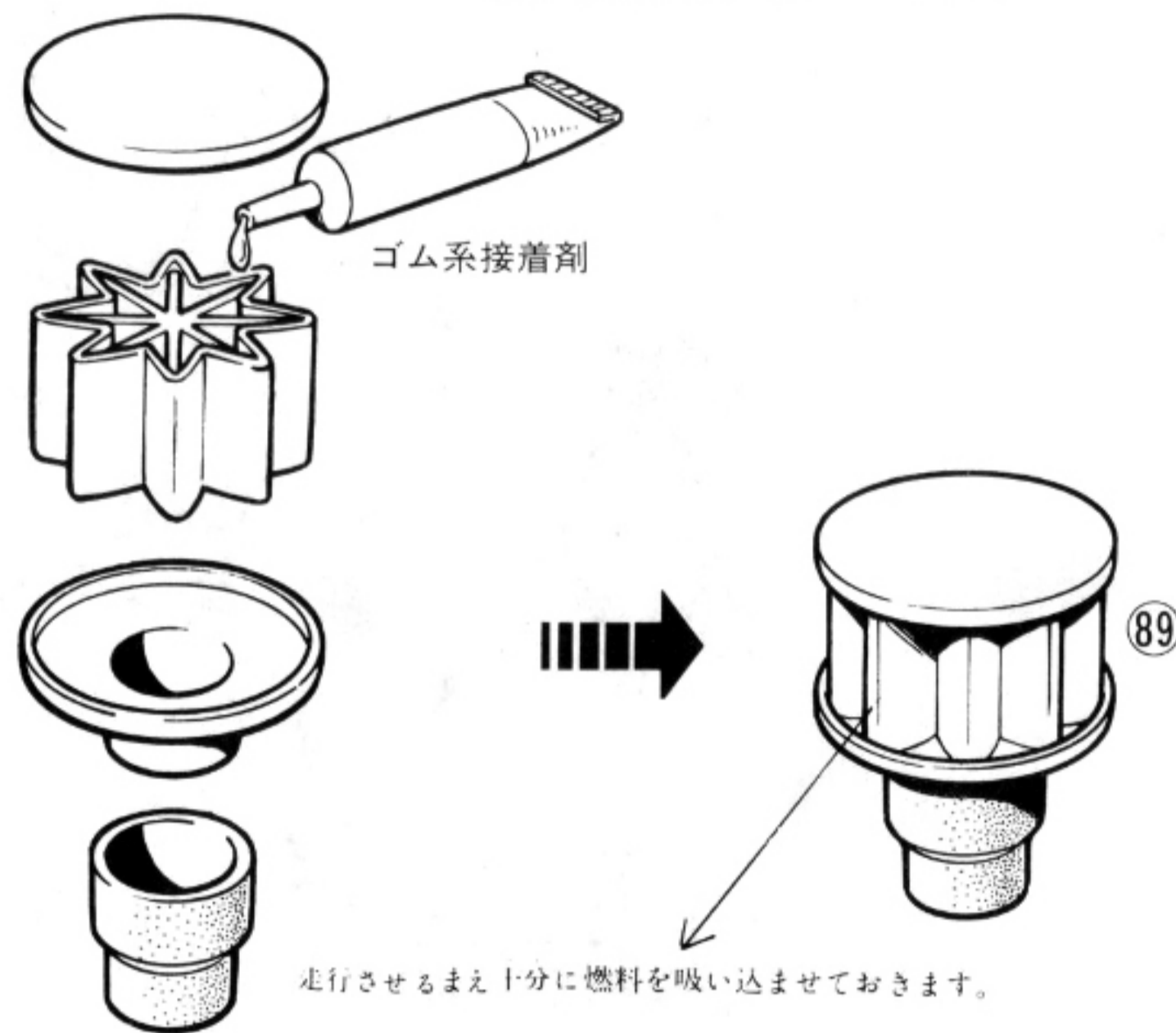
組立図30,31の小物パーツはフロント部井3のパーツ袋に入っています。



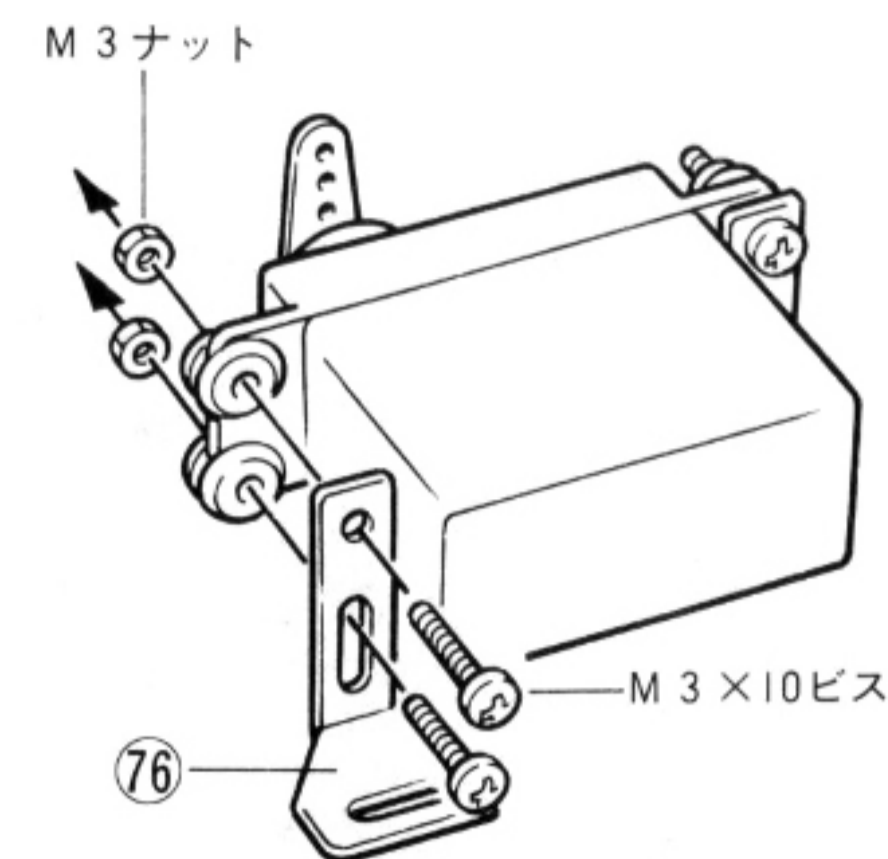
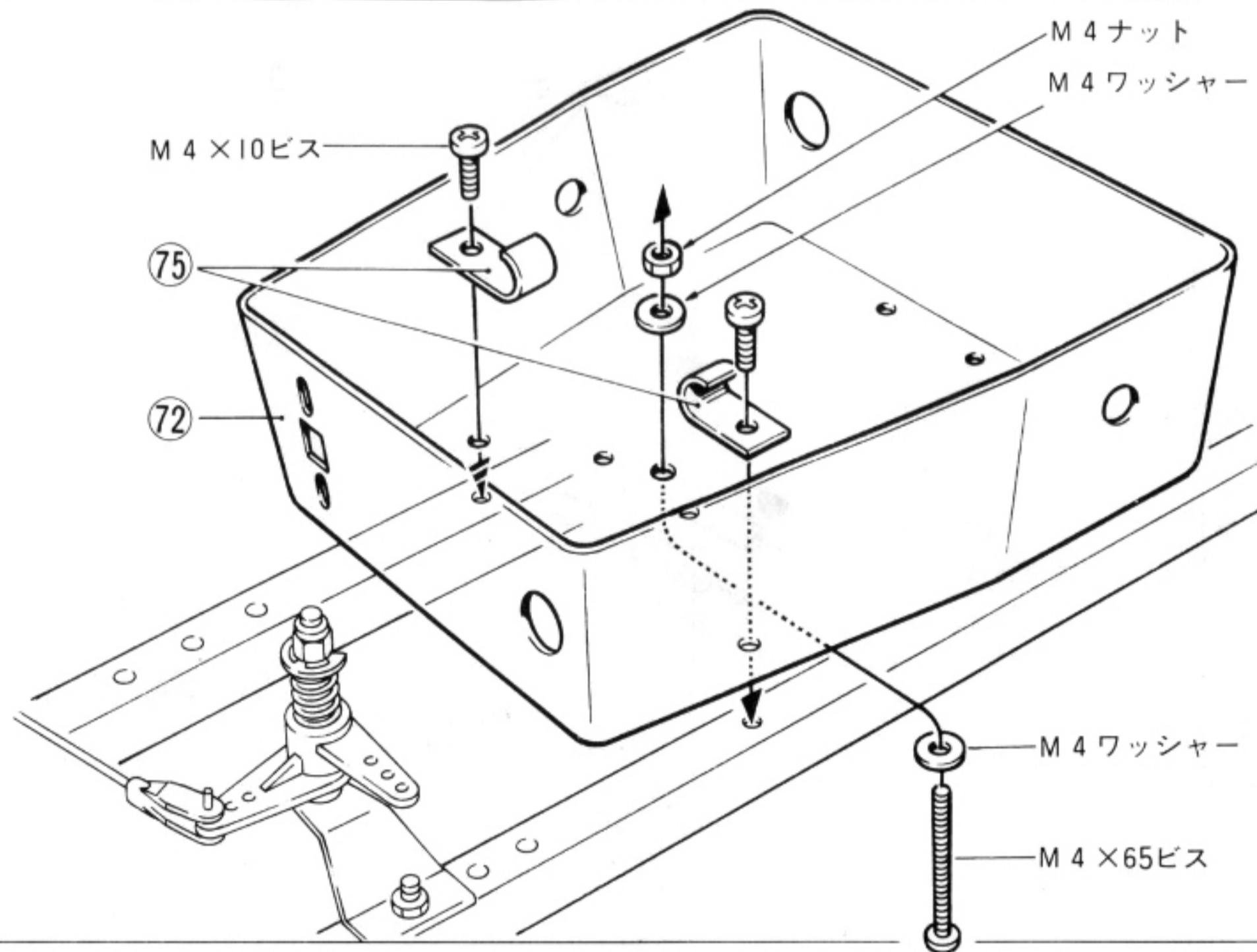
30 フロントタイヤ及びリアタイヤにそれぞれホイールを接着しますが、一番よい方法として、タイヤ及びホイールの接着面にゴム系接着剤をうすくぬり、約1日程かわかします。つぎにかわいた個所にシンナーか、ガソリンをぬり、ホイールをタイヤに入れ、かんそうさせればきれいにまた確実に接着できます。またホイールの接着面にサンドペーパーをかけて接着性を高めるとよい。リアホイールにドライブワッシャー⑦①を入れて下さい。フロントホイールにはフロントホイールメタル⑥⑨を図のように両側に入れて下さい。

31 フロントタイヤ及びリアタイヤをM 6 ナイロンナットで取付けて下さい。フロントタイヤはネジを締め過ぎると回転が重くなります。リアタイヤは空廻りしないようしっかりと取付けて下さい。

組立図32のパーツは燃料タンクの袋に入っています。



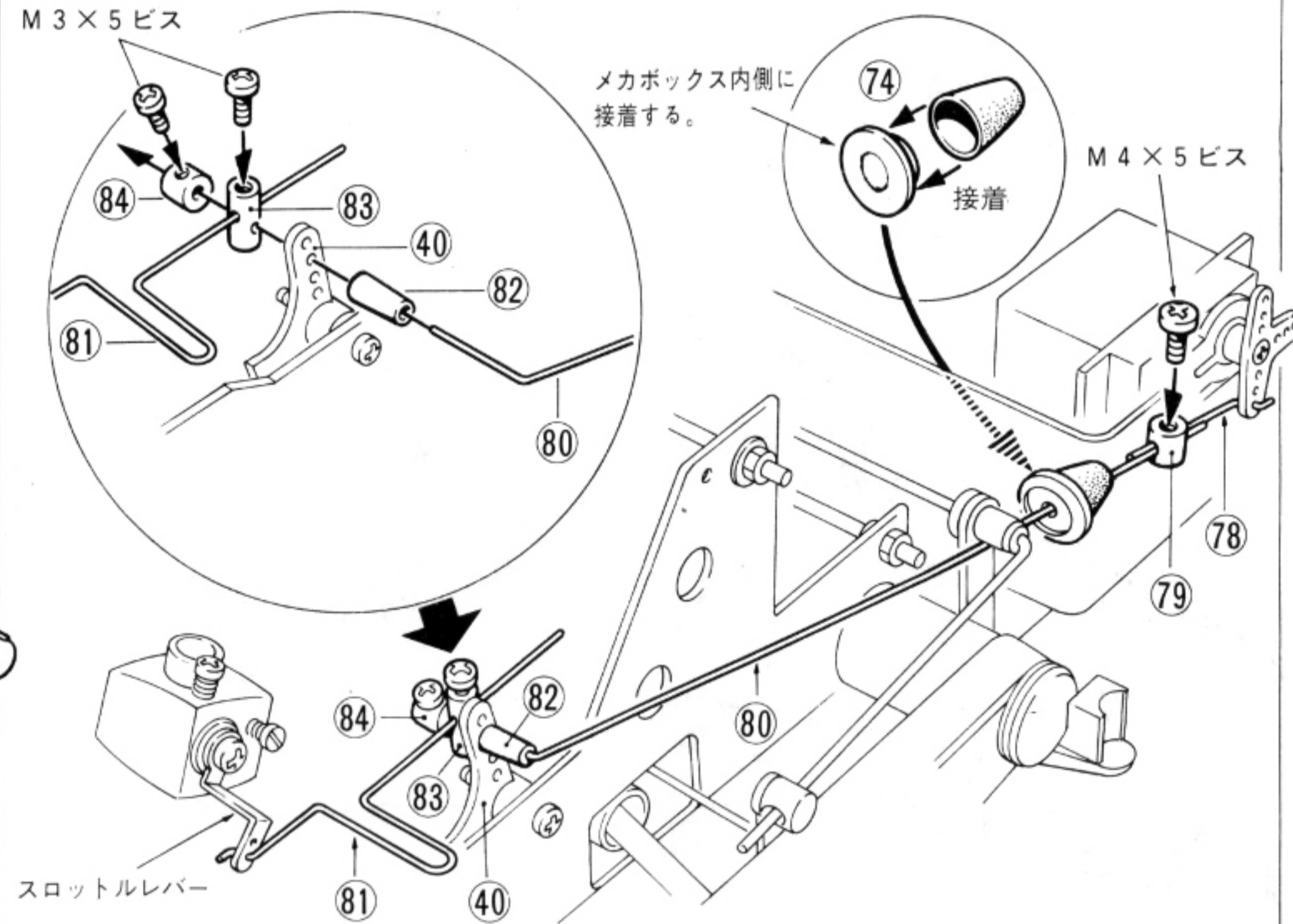
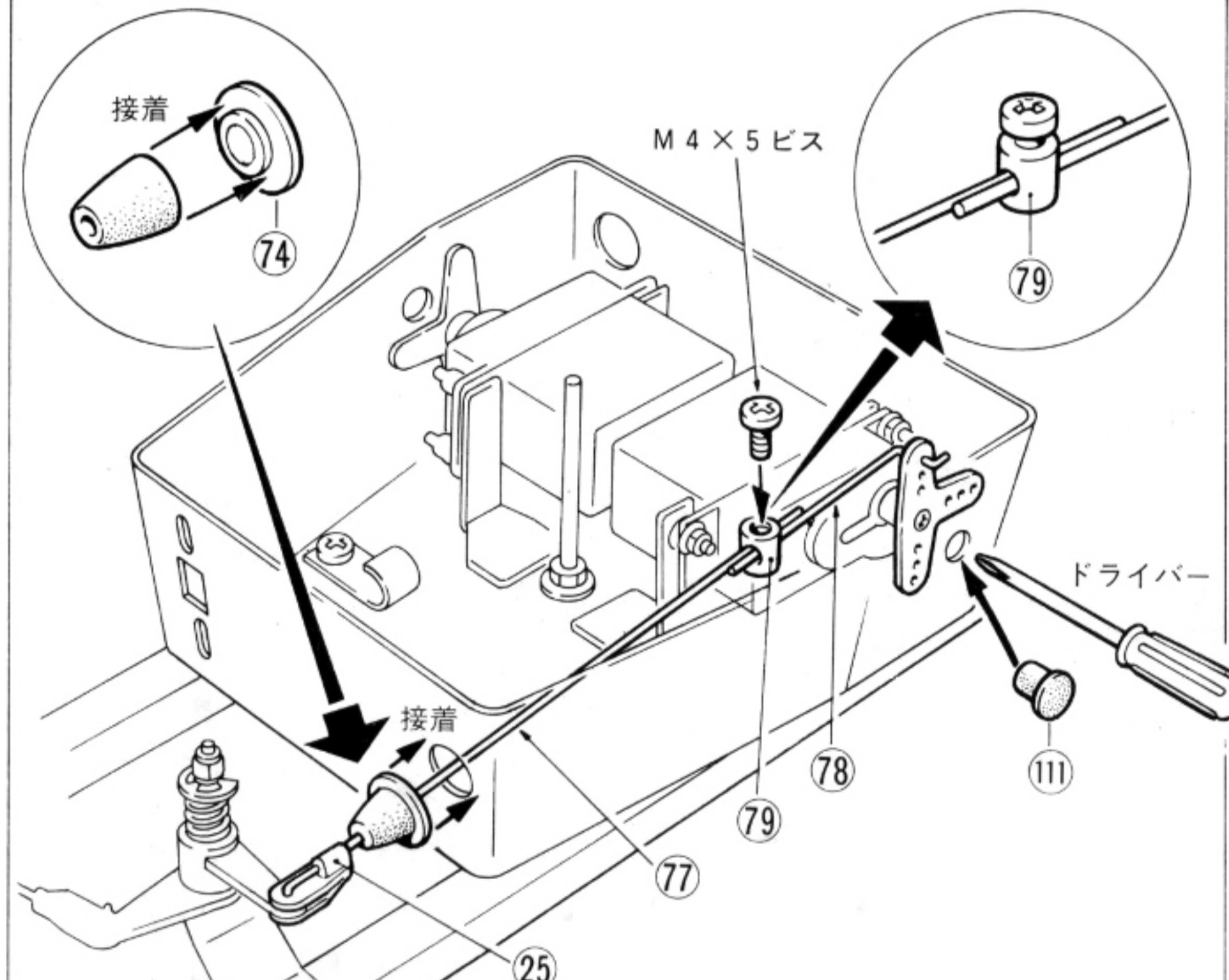
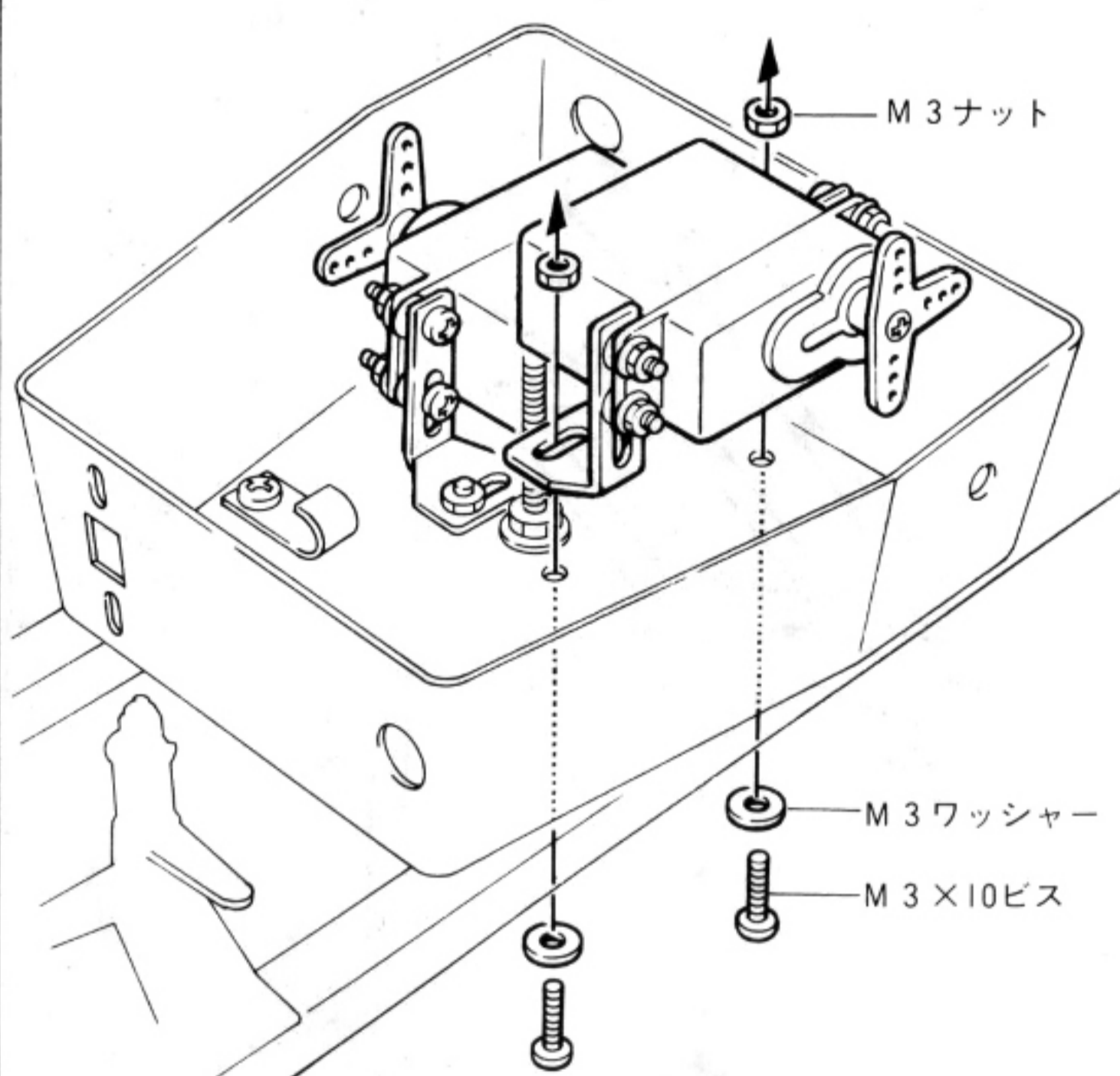
組立図33～38までの小物パーツはリンケージ部のパーツ袋に入っています。



32 エアフィルター⑧9を図のようにゴム系接着剤で接着、組立てます。

33 バッテリー押え金具⑦5といっしょにメカボックス⑦2をフレームに取付けます。

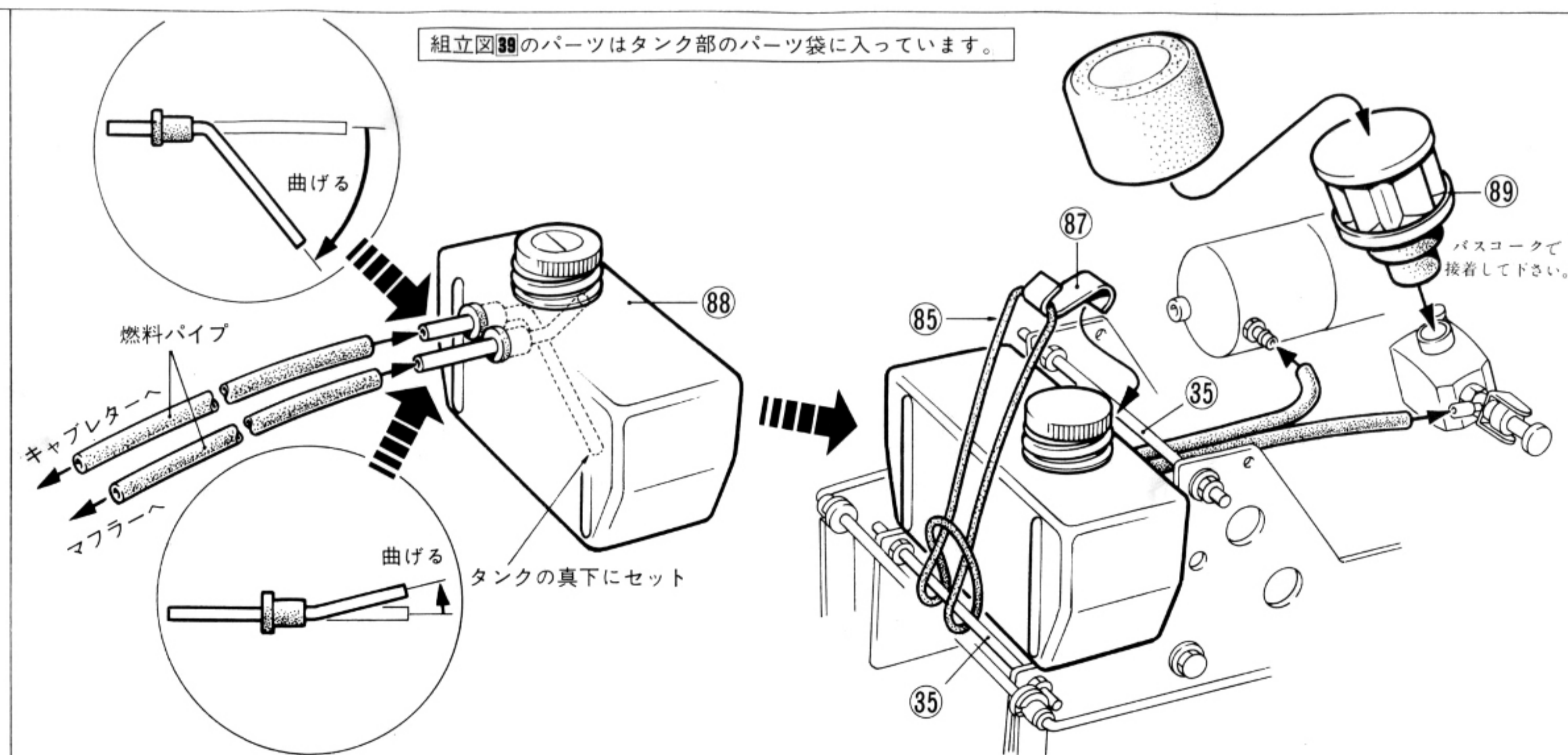
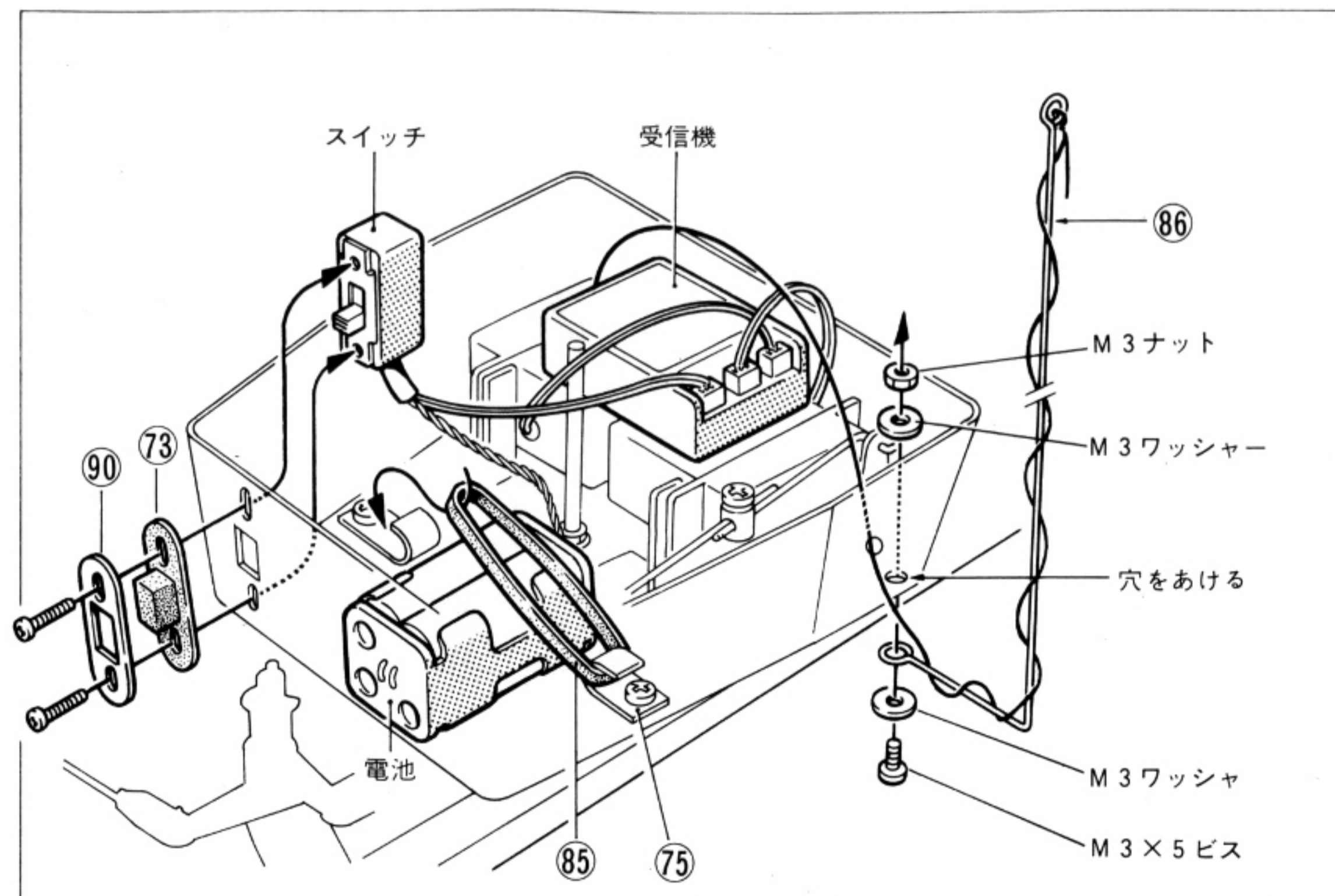
34 ステアリング及びエンコンサーボにサーボブラケット⑦6を取付けます。



35 メカボックス⑦2へサーボを取付けますが、取付穴が使用サーボに合わないときはキリ等で新たに穴をあけて下さい。

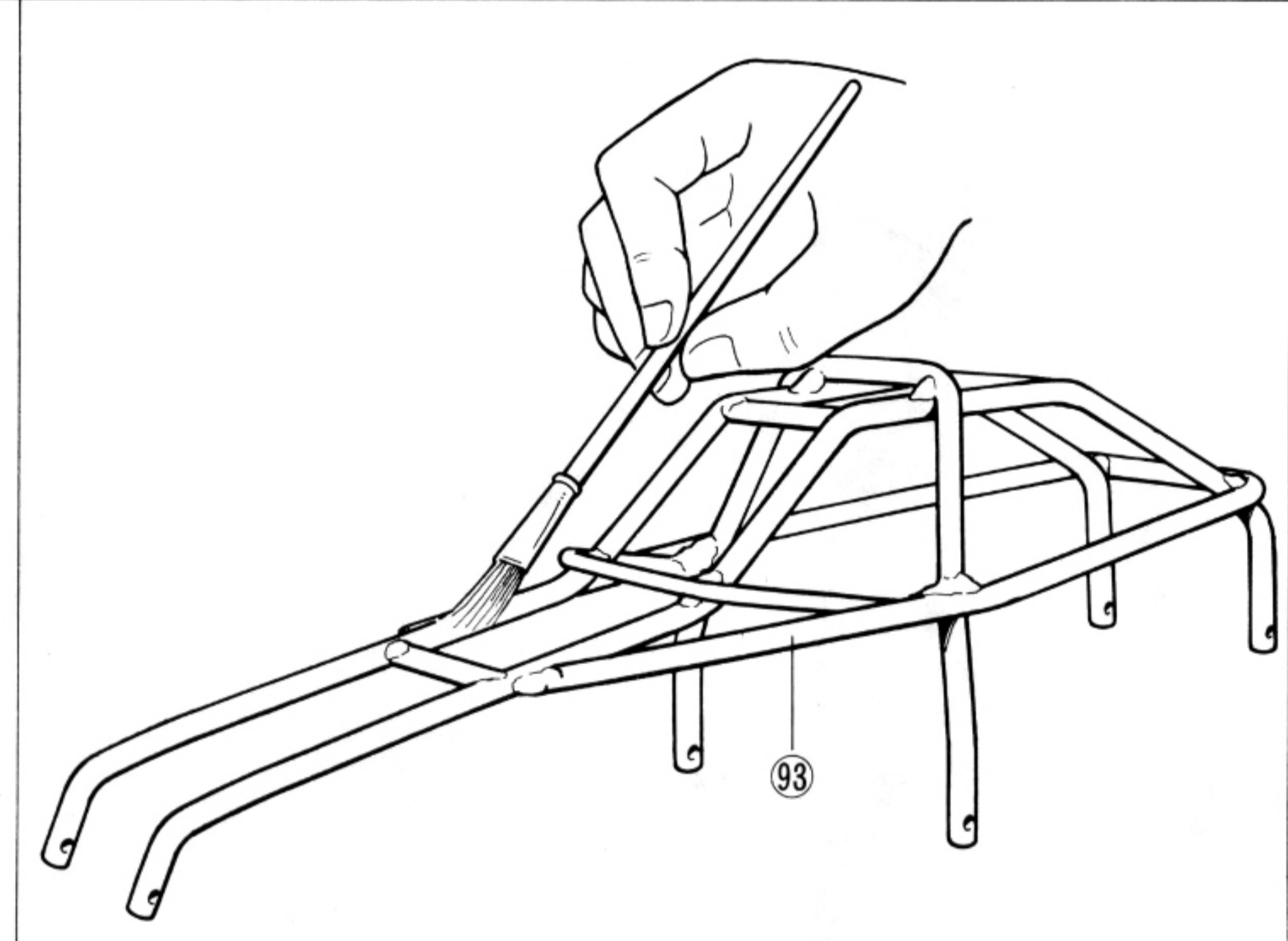
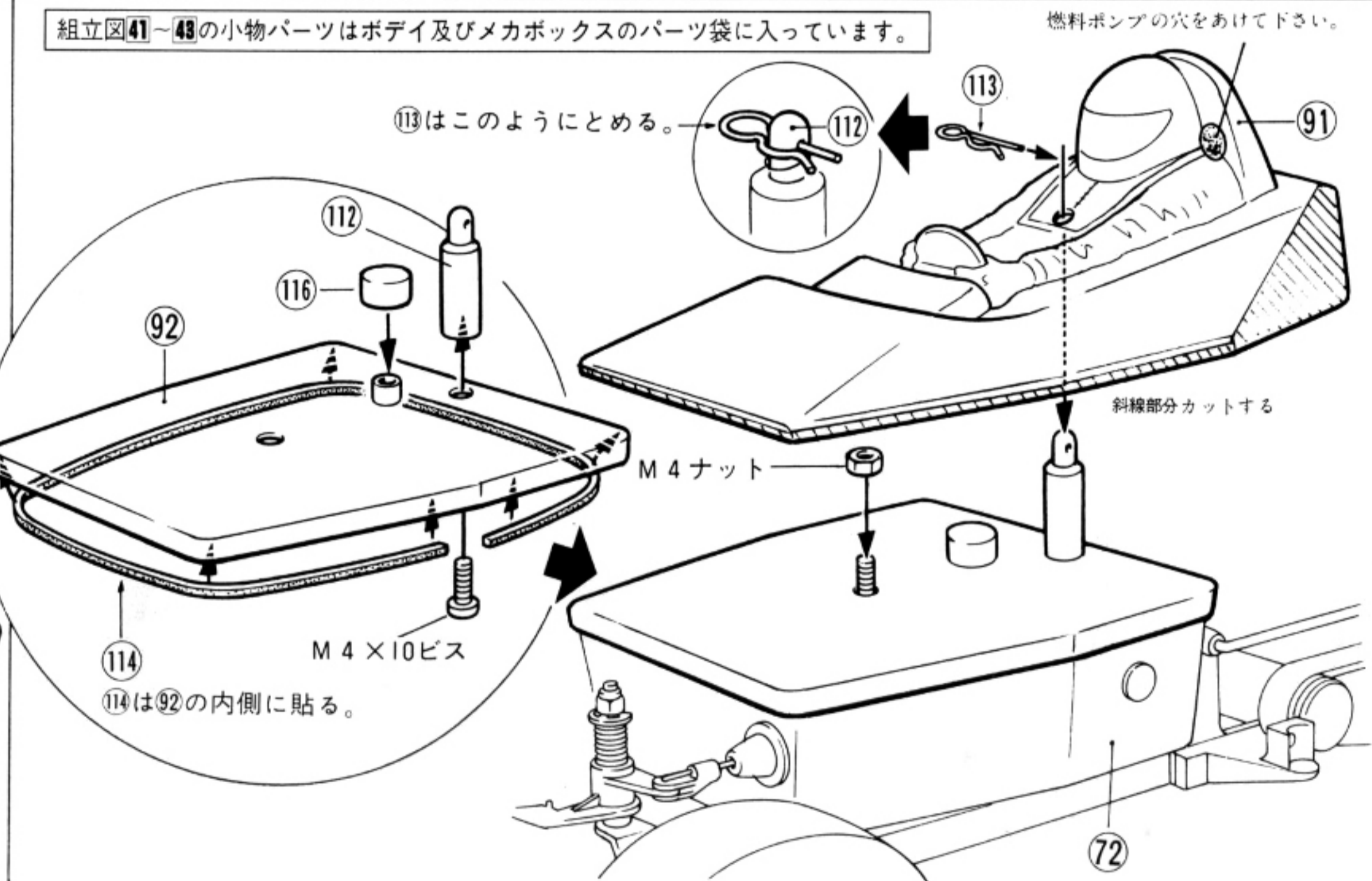
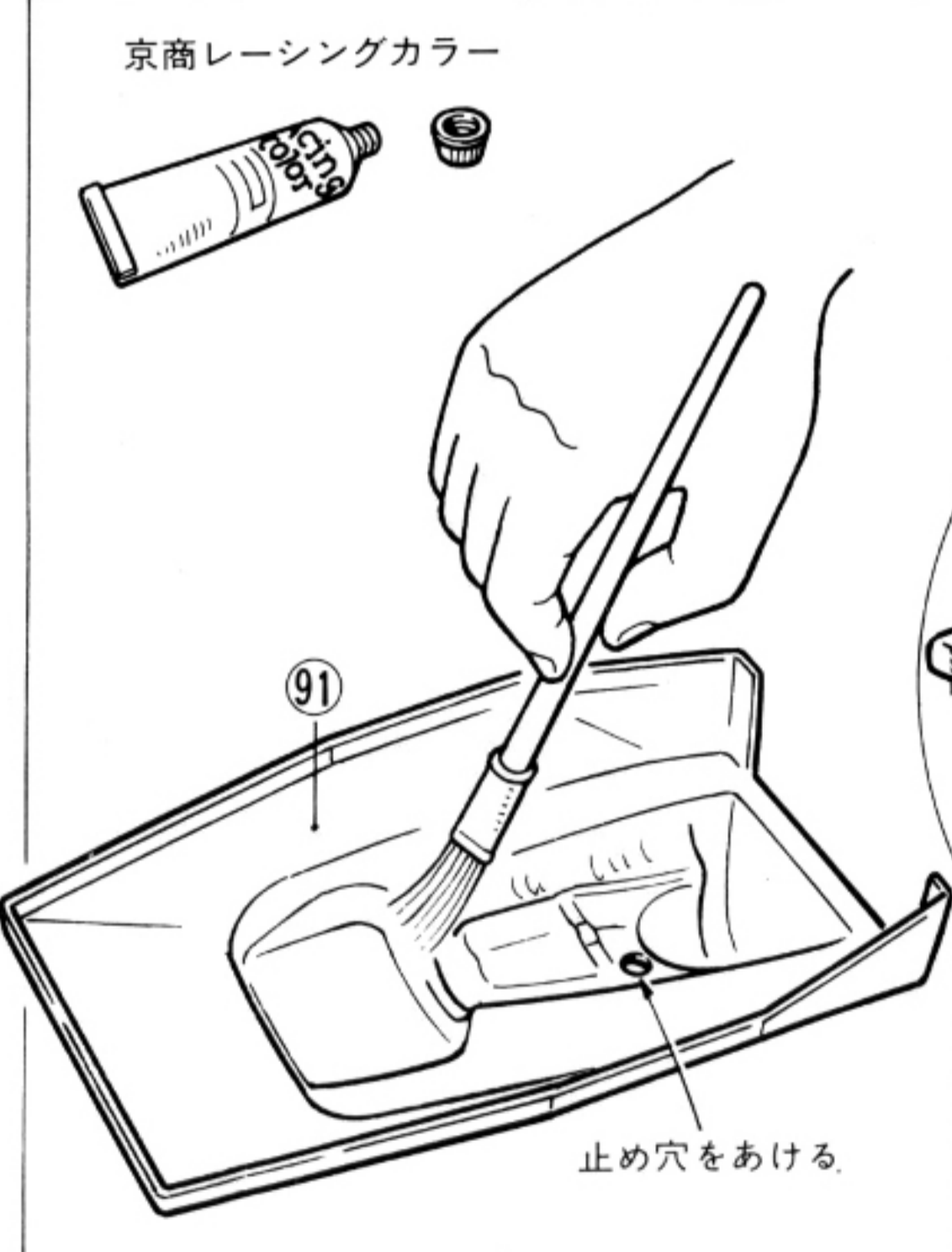
36 まずロッドゴムブーツ⑦4を接着し、ステアリングロッド⑦7に図のように通しておき、ステアリングロッド⑦7をキーパー②5でサーボサーボに取付け、リンケージロッド⑦8をサーボホーンに入れ、⑦7と⑦8のロッドを⑦9リンケージストッパーで固定します。この際、フロントタイヤ及びサーボホーンを中立にして下さい。又、サーボホーンを脱着するときは、メカボックスの横にドライバーの入る穴があります。作業が終わったら⑪11のメカボックスゴムキャップを入れフタをして下さい。リンケージが済んだら⑦4のロッドゴムブーツをメカボックスに接着しますが⑦7のロッドがスムーズに動く所をみつけて接着して下さい。

37 まずロッドゴムブーツ⑦4を接着しておきます。つぎに⑧0のプレーキリンケージロッドのL型に曲った方に⑧2ナイロンカラーを入れ、つぎに④0Lクランクに図のように通し、⑧3エンコンロッドストッパーAを入れ⑧4エンコンロッドストッパーBで⑧0のロッドを固定します。つぎに⑧1エンコンロッドのクランクに曲った方をスロットレバーに入れ、もう一方を⑧3エンコンロッドストッパーAの上側の穴に入れ、M3x5ビスで⑧1エンコンロッドを固定します。次に⑦4ロッドゴムブーツをメカボックス内側から⑧0プレーキリンケージロッドに通しておき、⑦8リンケージロッドをサーボホーンに入れ、⑦8と⑧0のロッドをサーボのストロークに合わせながら⑦9リンケージストッパーでジョイントさせて下さい。最後に⑦4ロッドブーツをロッド関係がスムーズに動く所を捜し接着します。



38 図のようにスイッチを取付ける時、73スイッチゴムブーツ90スイッチプレートを使い、スイッチを固定して下さい。電池は75バッテリー押え金具に85ラバーバンドで固定、受信機はサーボの上におきます。86アンテナガイドは図のようにメカボックスに取付けて下さい。

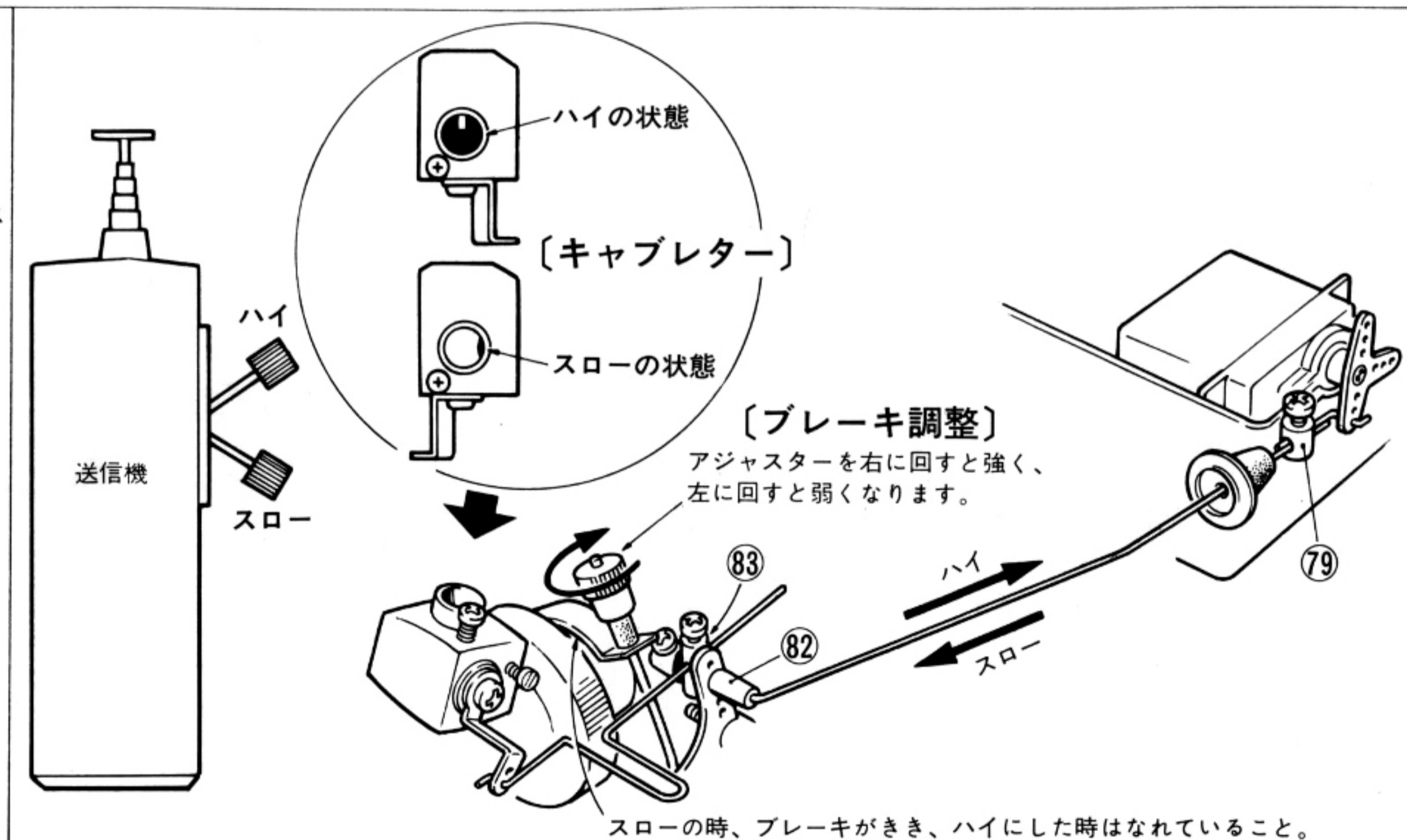
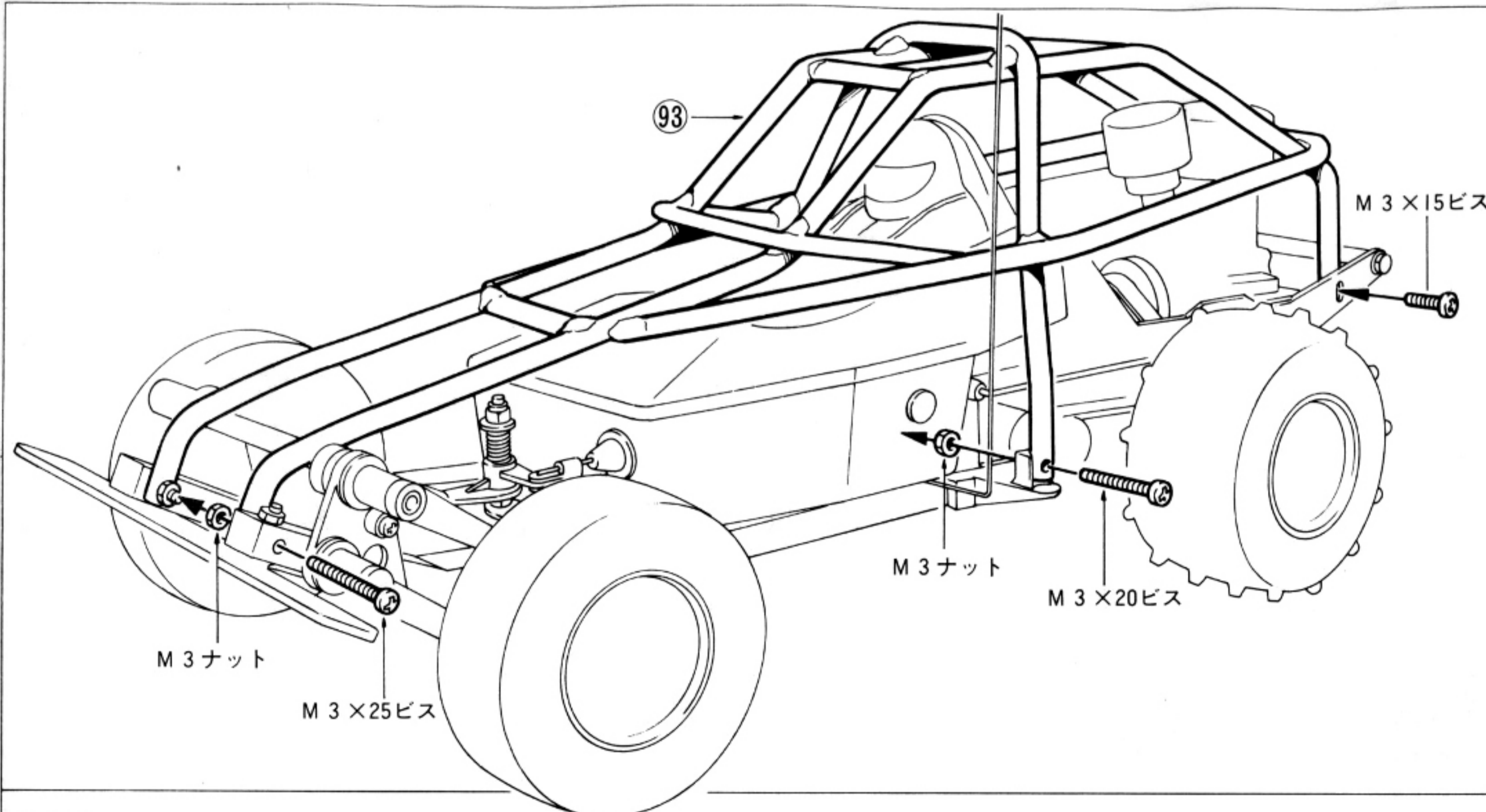
39 図のように燃料タンクを組立て、取付けは35スタッドボルトに85ラバーバンドをひっかけ、87タンク取付金具を上35スタッドボルトにひっかけ固定します。組立図32で組立てた89エアフィルターをキャブレターに取付けて下さい。



40 塗装前に中性洗剤で洗って下さい。洗浄が済んで、よく乾燥したら人形の内側へ塗装しますが、マスキングテープ等を使い塗り分けラインなど入れ最後に全体を塗り上げます。京商のレーシングカラーはポリカーボ専用の水性アクリル塗料で塗りやすく乾けば、耐水、耐油性に富むポリカーボ専用塗料です。

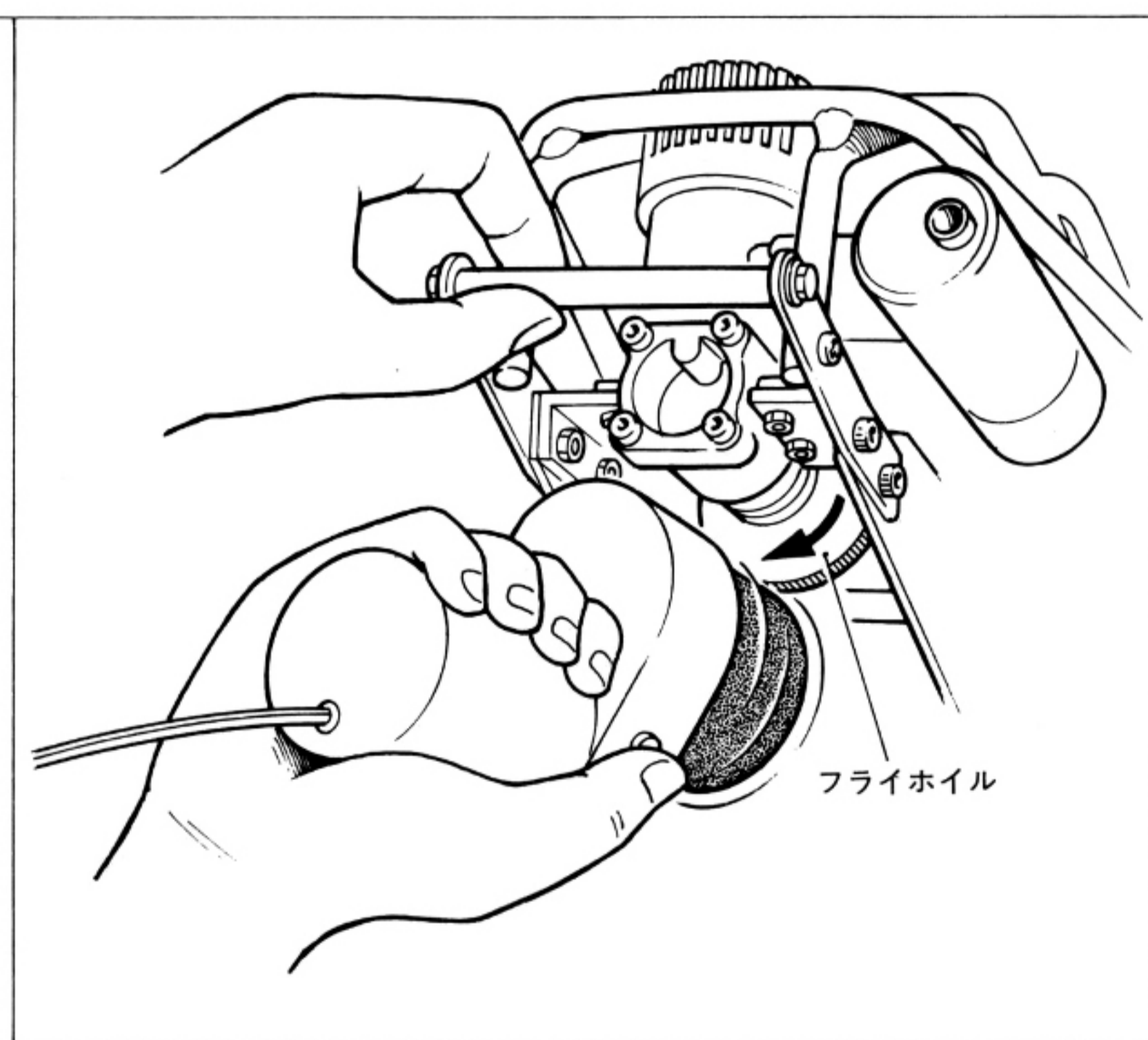
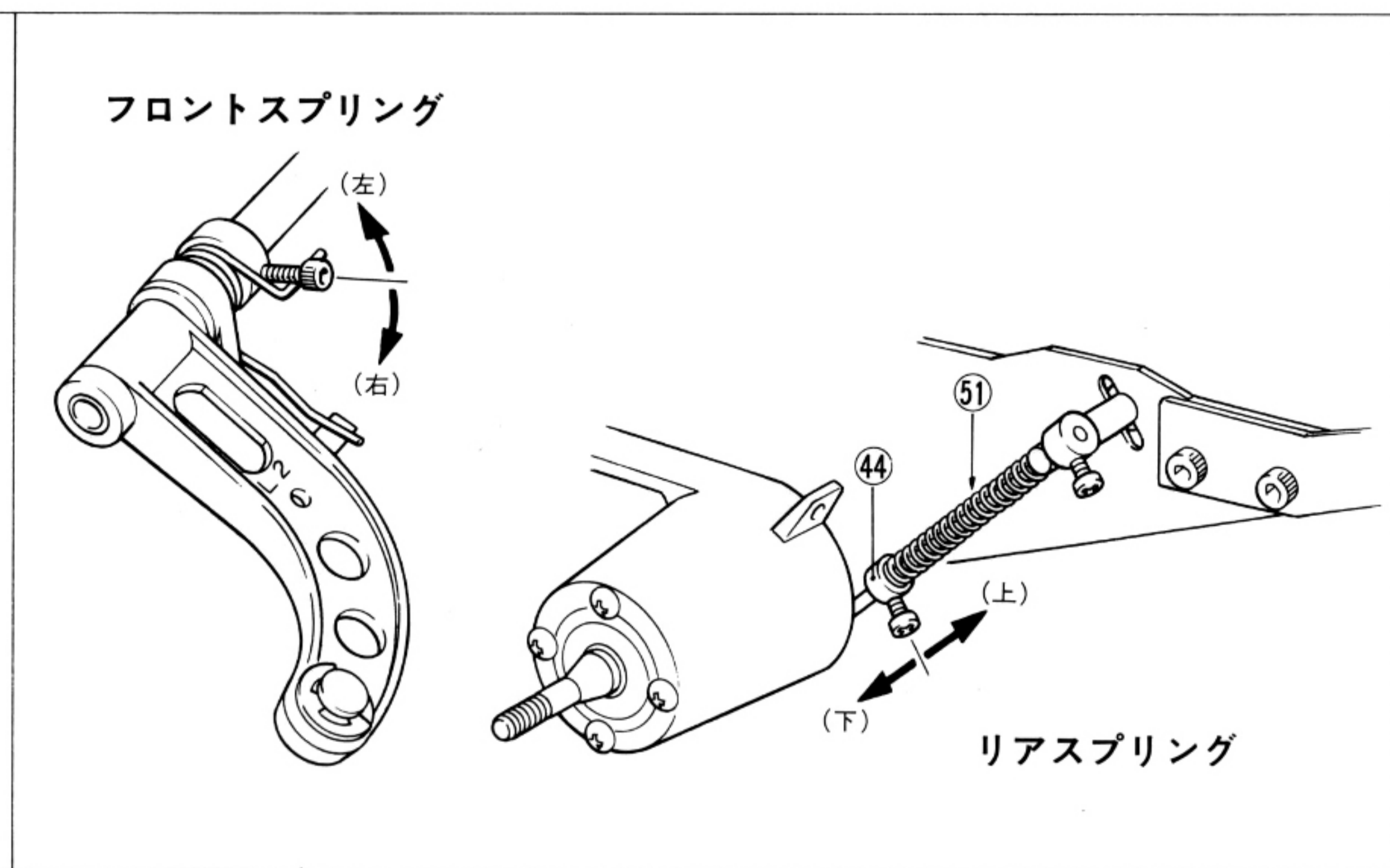
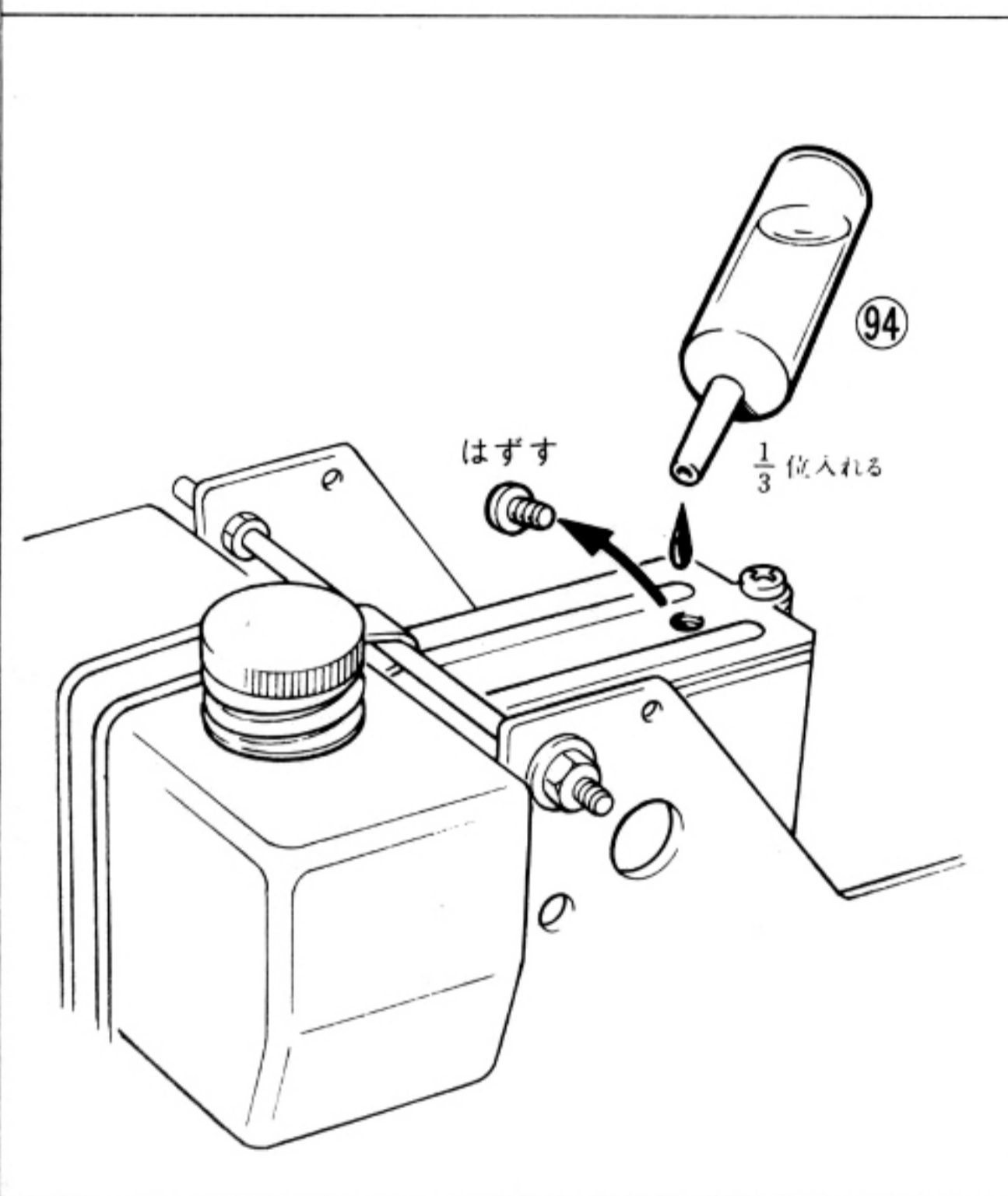
41 メカボックスフタ92に人形止めフック112を取付け、メカボックスフタキャップ116、メカボックスシール114をゴム系接着剤で接着して下さい。人形91は止めフック112に113のピンで取付けます。

42 ボデー93を塗装しますが、塗装のまえに、シャーシーの取付穴とボデーの取付穴が合っているかを確認し、ズレている場合は、ペンチ等を使い、修正して下さい。また塗装の前によごれ、油等を中性洗剤で洗い、きれいにします。塗料は燃料に犯されないエンビ系の塗料(エンジンカラー等)を使用して下さい。



43 ボデー⑨③をシャーシーに図のように取付けます。

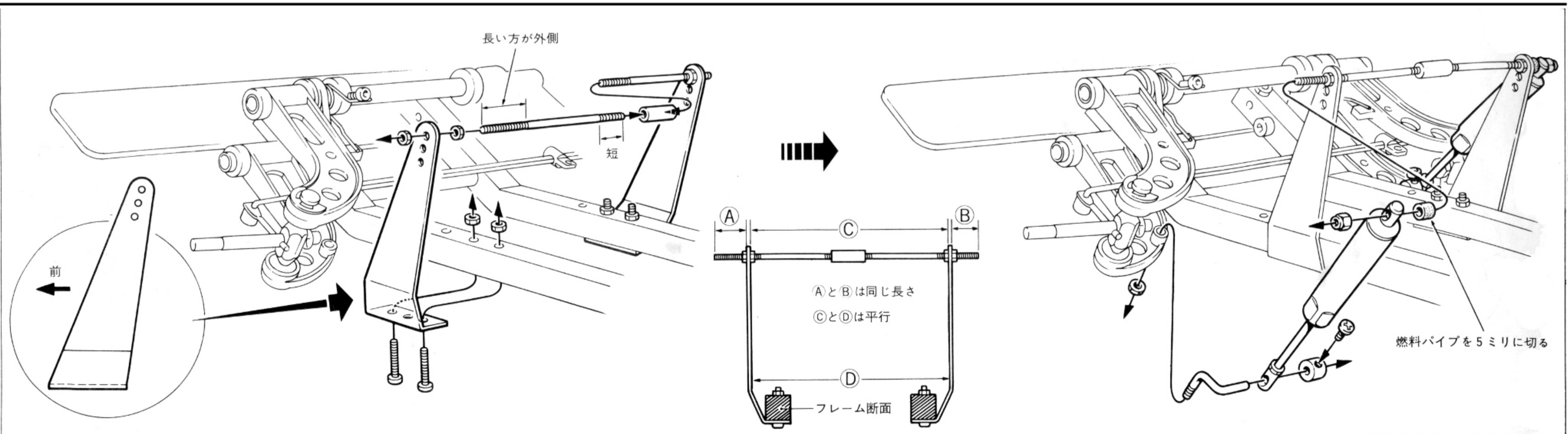
44 走行の前にプロポの動作テスト及びブレーキ、エンコン等の調整をしておきます。まず送信機のエンコンステックをスローにしたときブレーキがきき、キャブレターが最スローになるよう⑦⑨及び⑧③のストッパーをゆるめ、ロッドを動かして調整して下さい。また最スローにしたときに⑧②のナイロンカラーがリアフレームに当たらないよう注意して下さい。つぎにステアリングステックを動かしてみてフロントタイヤが軽く曲がるように調整しておきます。



45 ギヤボックスのフタについているM4ネジを脱してその穴からキットに入っている油⑨④を5cc入れて下さい。

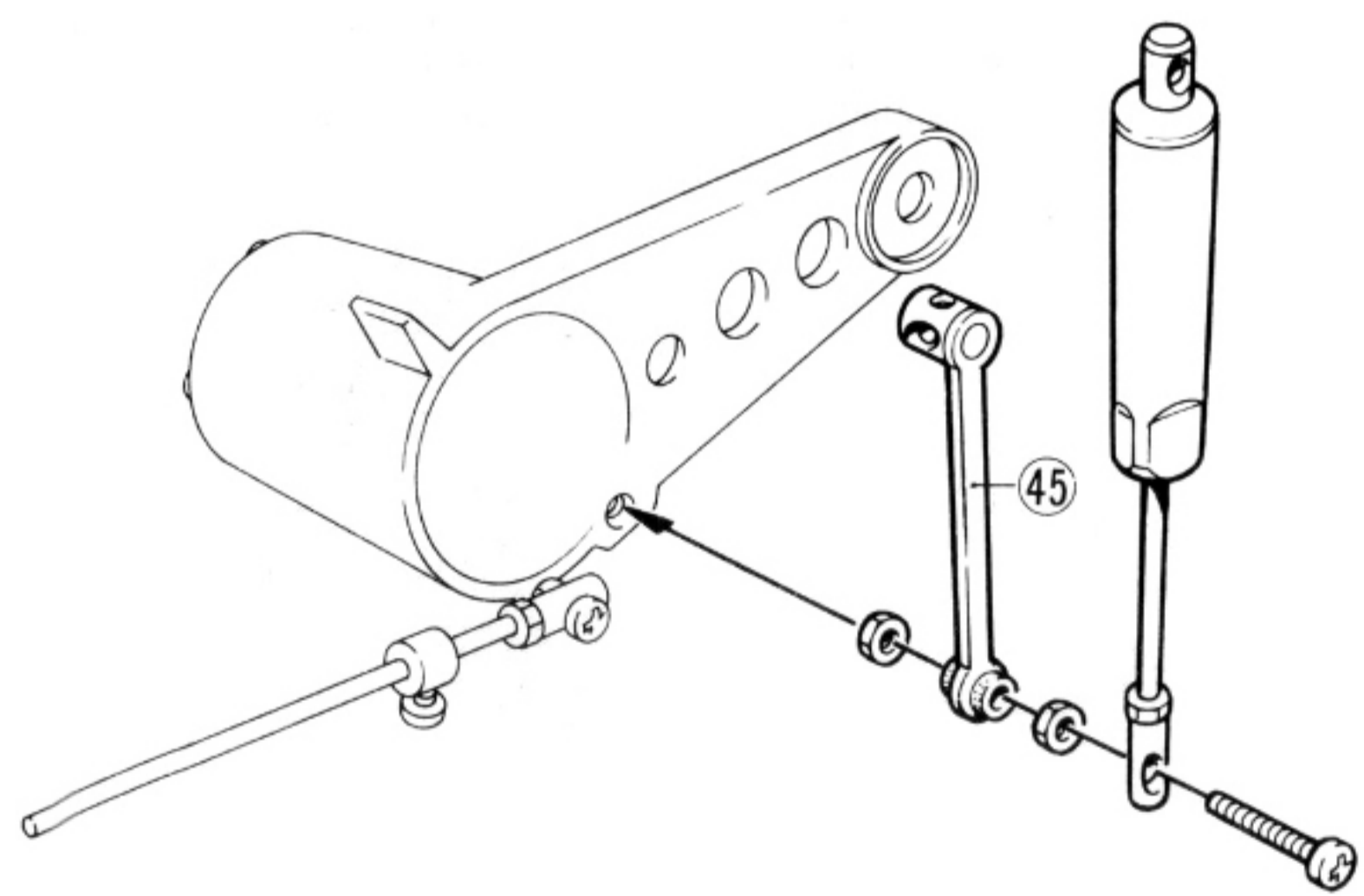
46 リアスプリング⑤①の調整は④④の3φストッパーを下に動かすと弱く、上に動かすとリアサスペンションが強くなります。フロントは右が弱く左が強くなります。

47 エンジンの始動方法は電動スターターを図のようにシャーシー下側からスターターをフライホイールにあてて回転させます。スターターの回転方向は左回転。

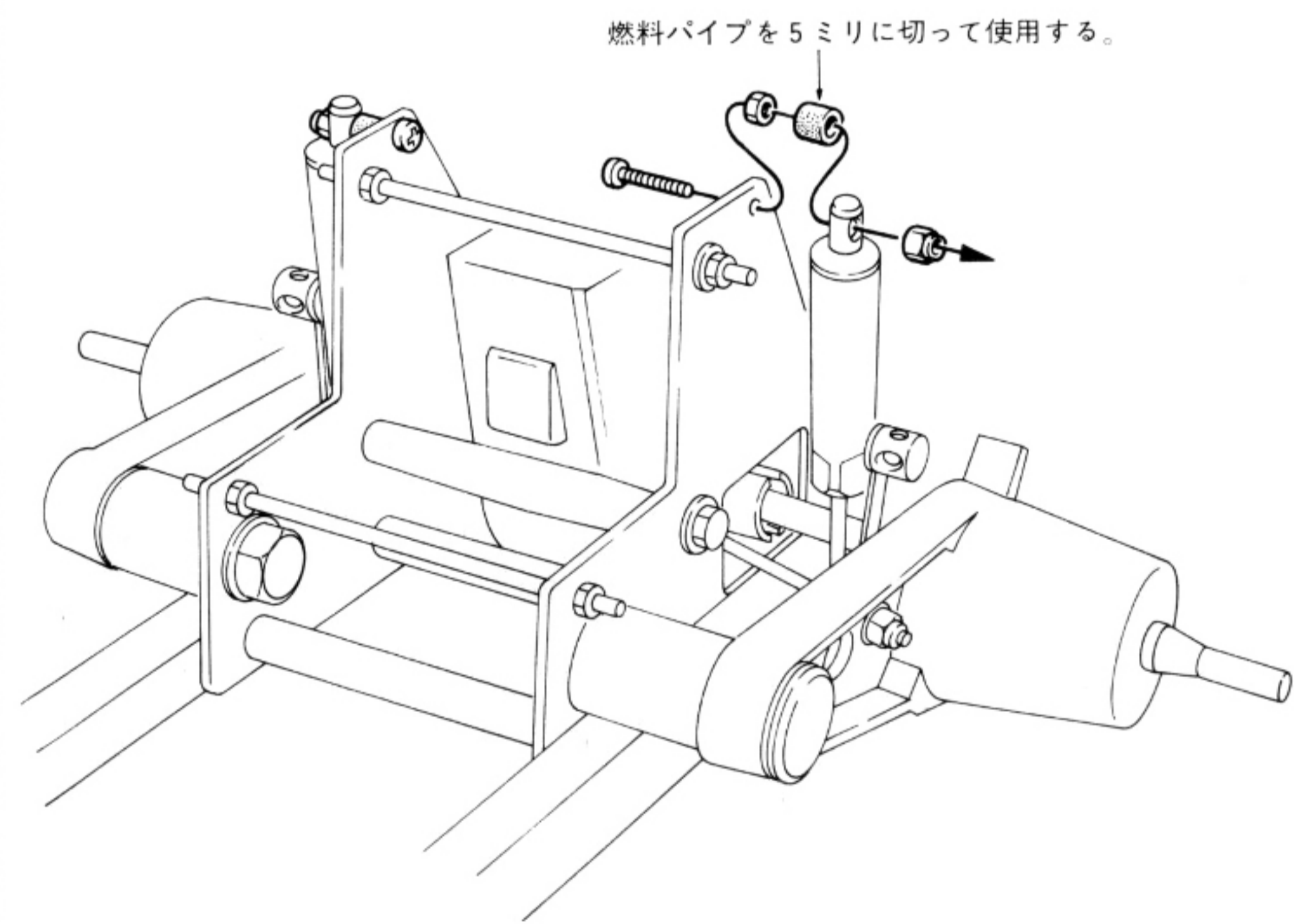


48 オプションのフロントダンパー(CB-88)の取付け方です。取付金具等はオイルダンパーの中に入っています。

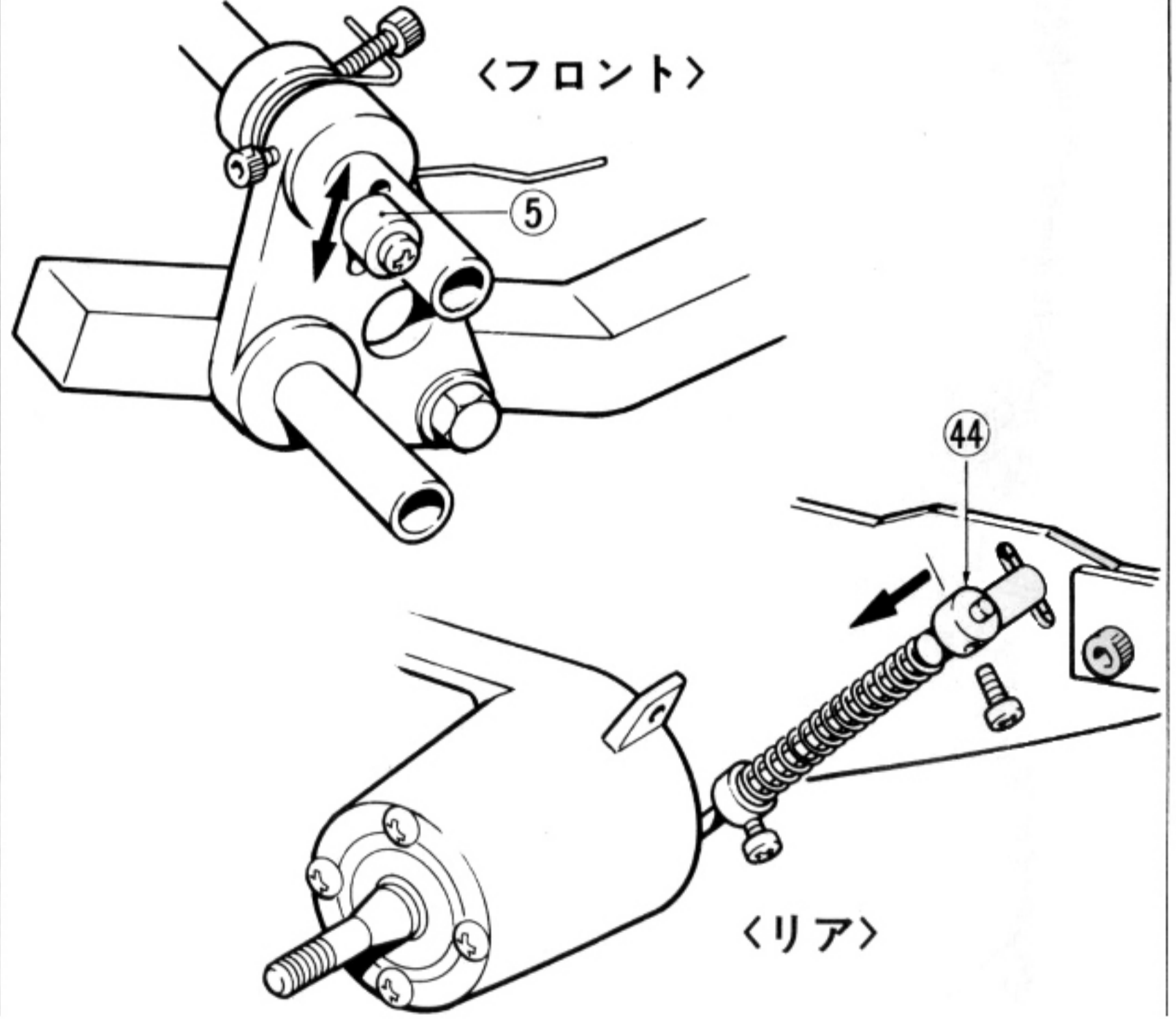
左 右も同じように組みます



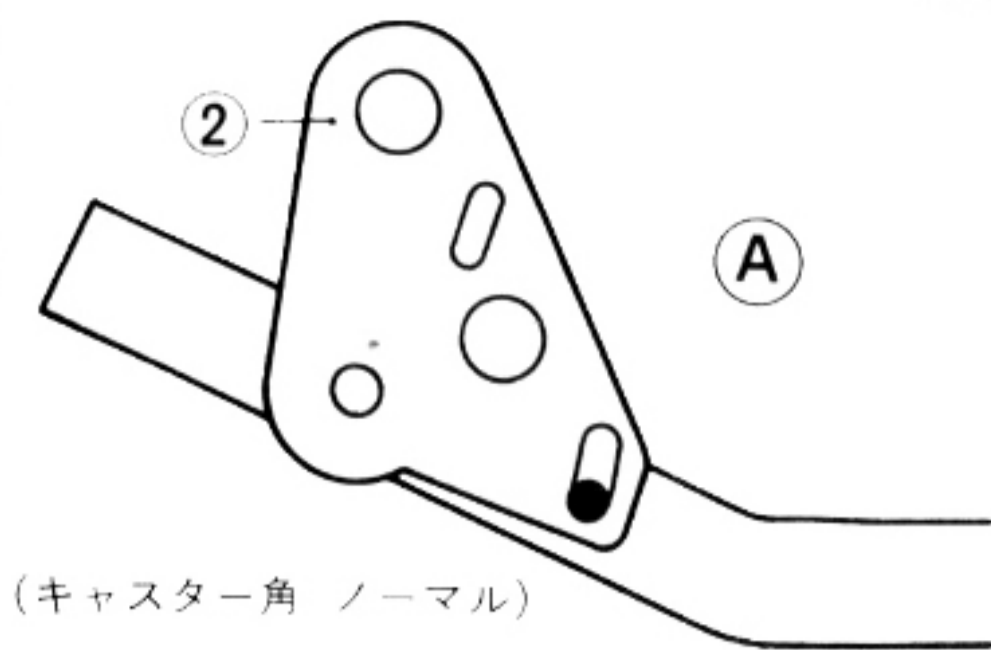
49 オプションのリアダンパー(CB-99)の取付け方です。まず④のスタビリンクをいったん脱し、ダンパーといっしょに再度組立てて下さい。



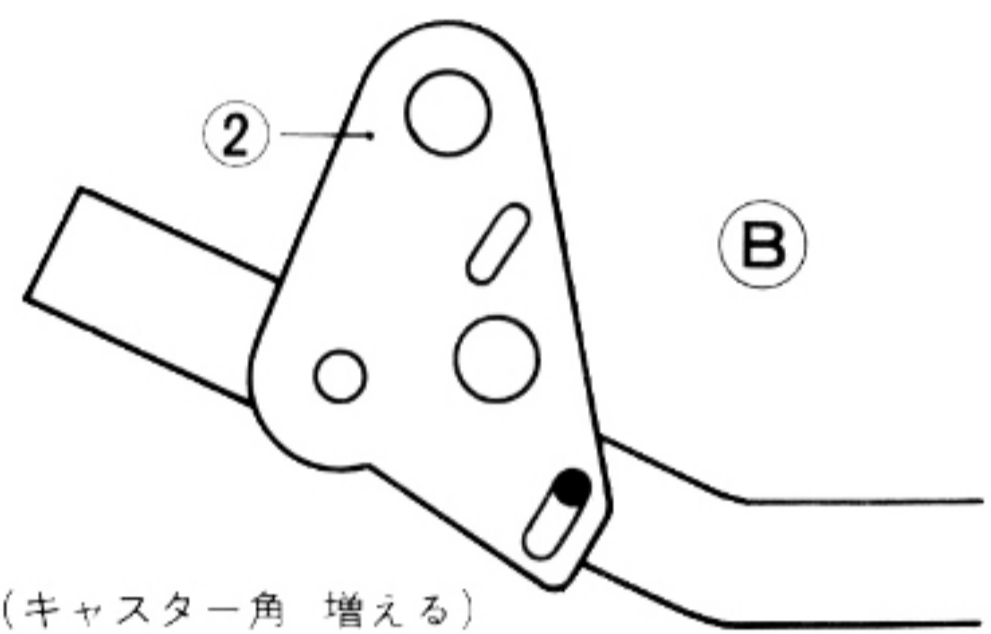
50 リアダンパーの上部取付け方です。リアフレームに直接図のように取付けて下さい。



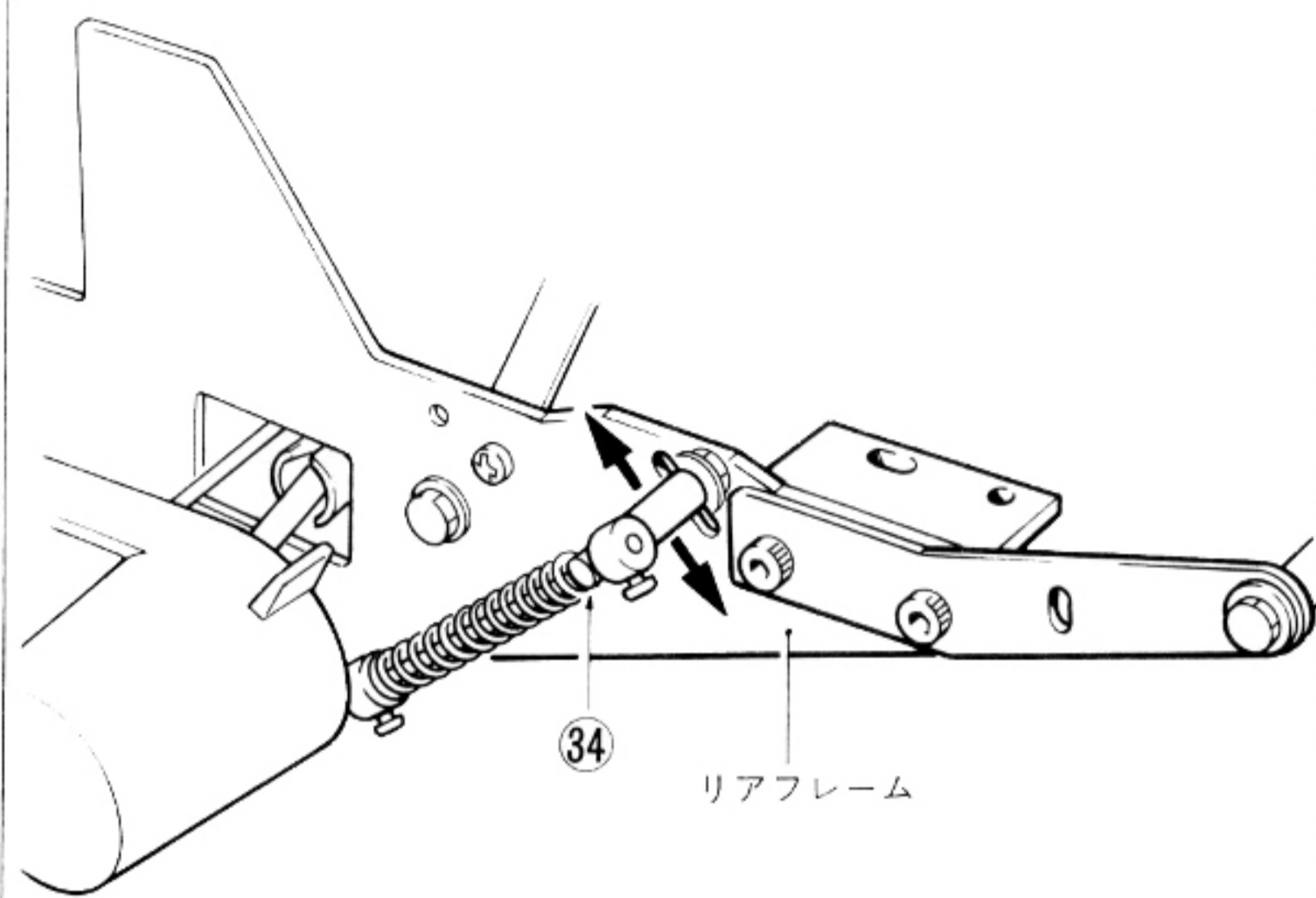
51 車高の調整は、フロントが⑤のサスストッパーを矢印の上に移動させれば低く、逆は高くなります。リアは④の3φストッパーを下に移動させると低くなり、逆は高くなります。路面の凸凹状態に合わせ、セッティングして下さい。



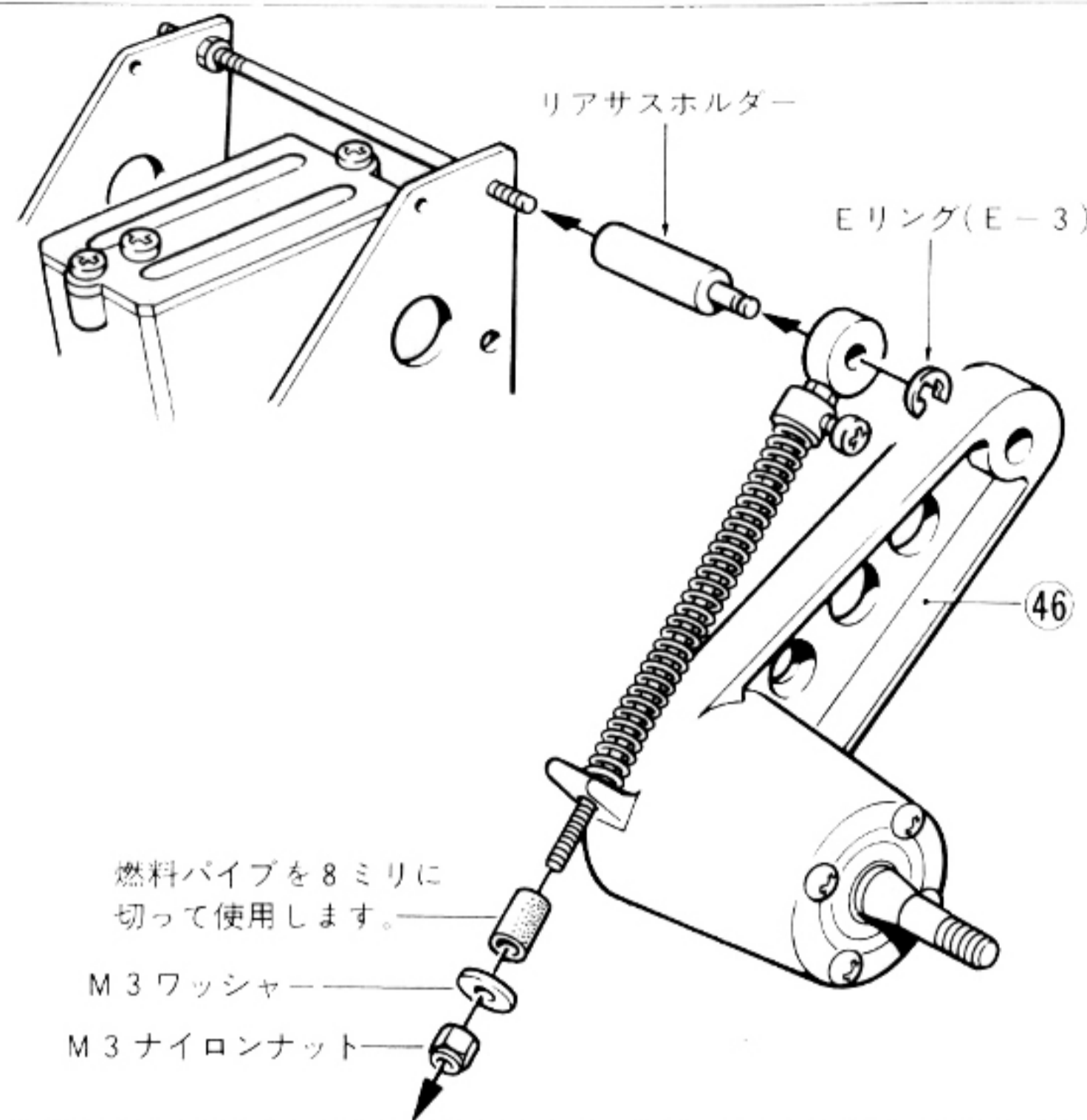
(キャスト角 ノーマル)



(キャスト角 増える)



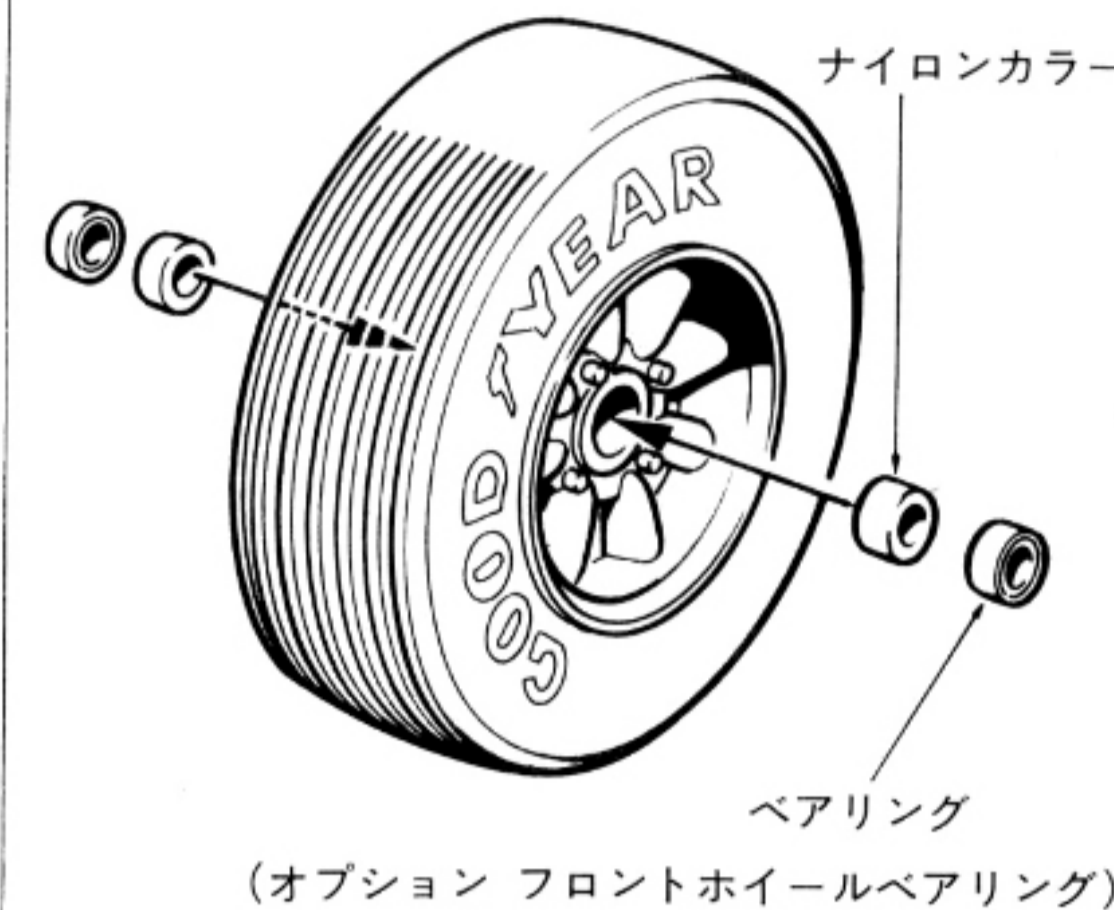
リアフレーム



燃料パイプを8ミリに切って使用します。

M3ワッシャー

M3ナイロンナット



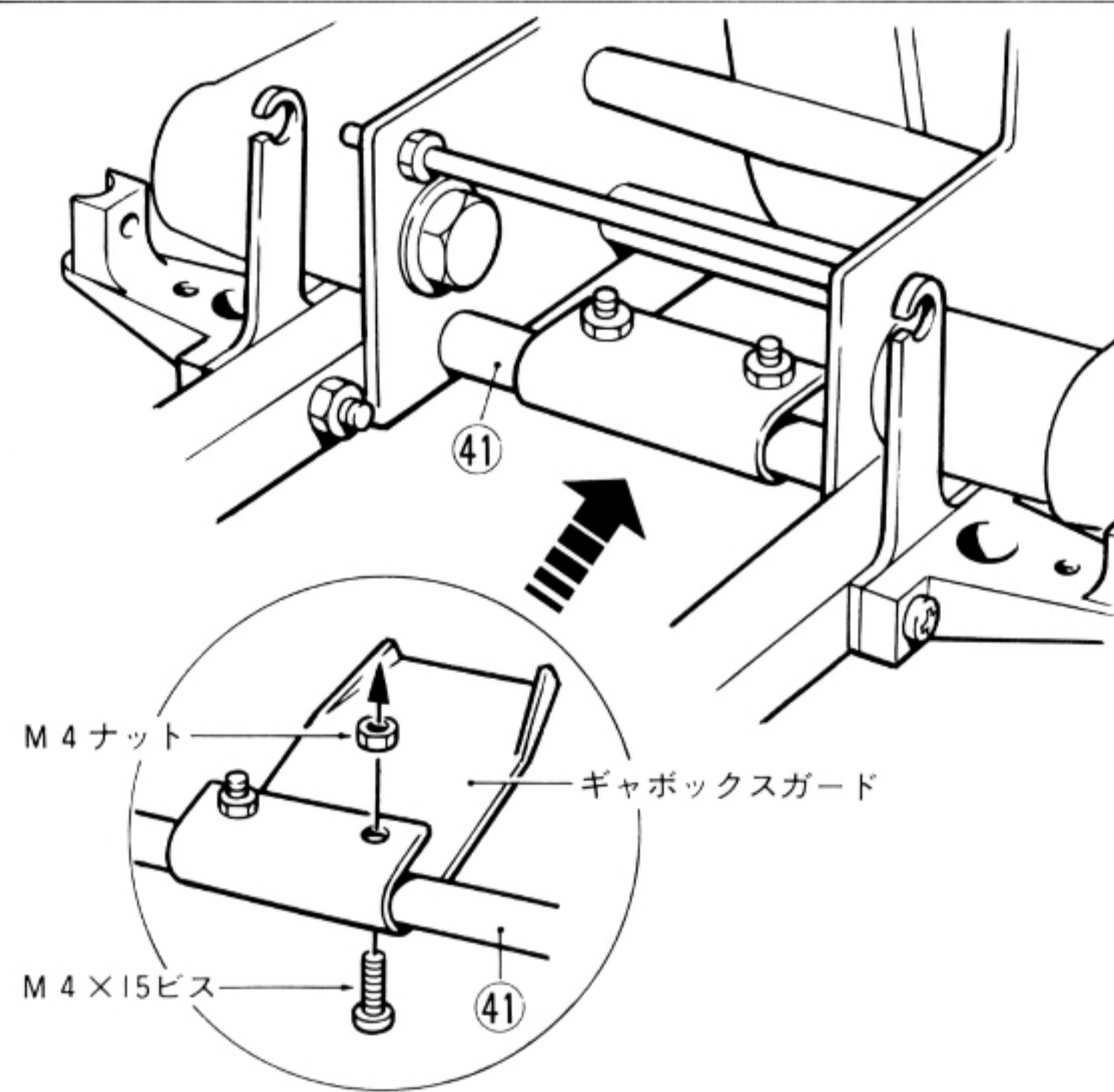
(オプション フロントホイールベアリング)

52 本車の2のアームホルダー後部取付穴が長穴になっています。図Aの状態にセットしたときは、キャスト角がノーマルで、ステアリング反応はクイック。図Bの状態はキャスト角が増え、直進性が良くなりますが、反応が多少にぶくなります。

53 ③4のリアスプリングステー取付穴が長穴になっています。③4を上・下に移動させながらサスのスプリング強さが均一に利くようセッティングして下さい。

54 セッティングの一つの方法として、リアスプリングを図のように前方に移して路面に合せることもできます。この場合、必要なパーツは、リアサスホルダー(CB-17)とスプリングセット(CB-12)を購入して下さい。

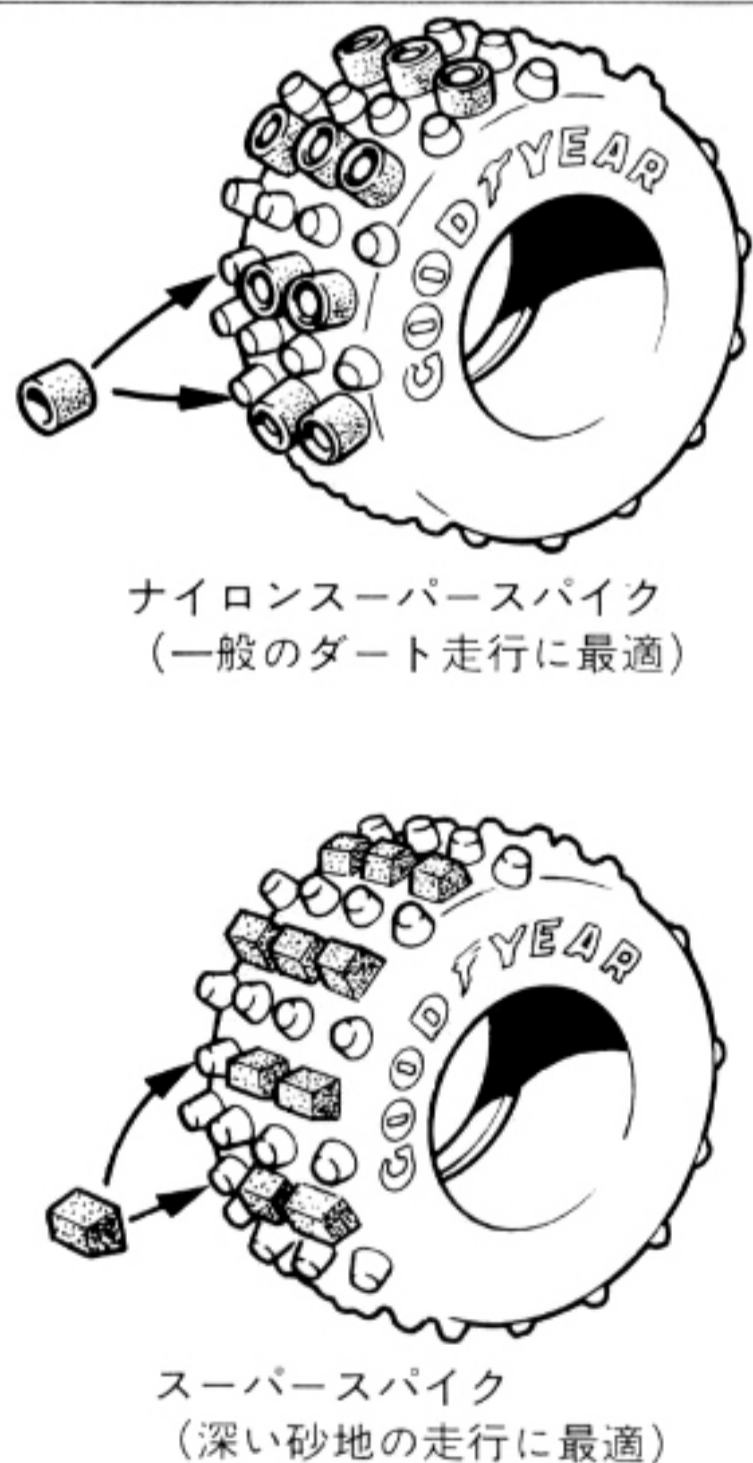
55 本キットのフロントホイールにはメタルがセットされていますが、オプションでボールベアリング(CB-101)が組み込めます。



M4ナット

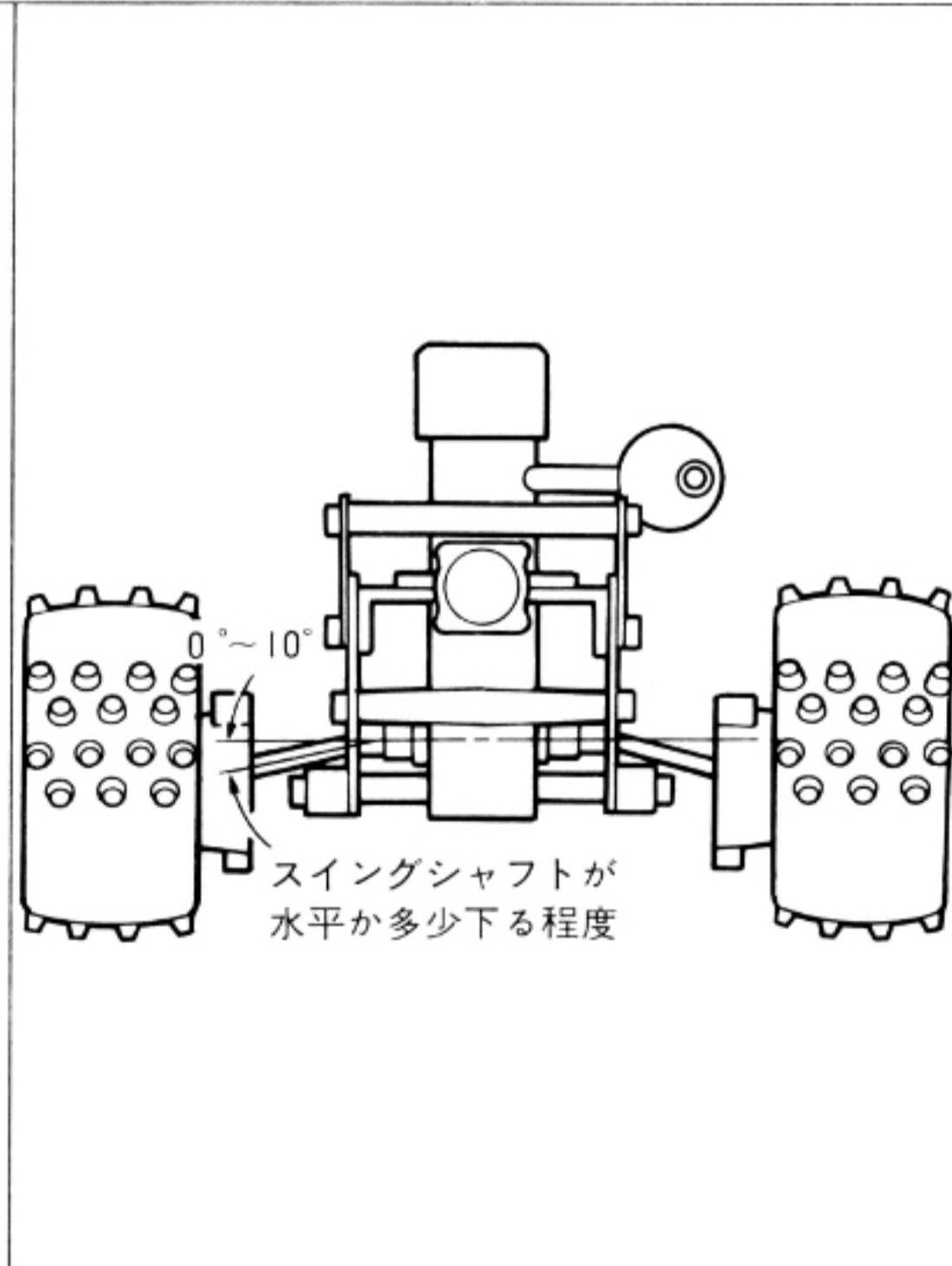
ギヤボックスガード

M4x15ビス

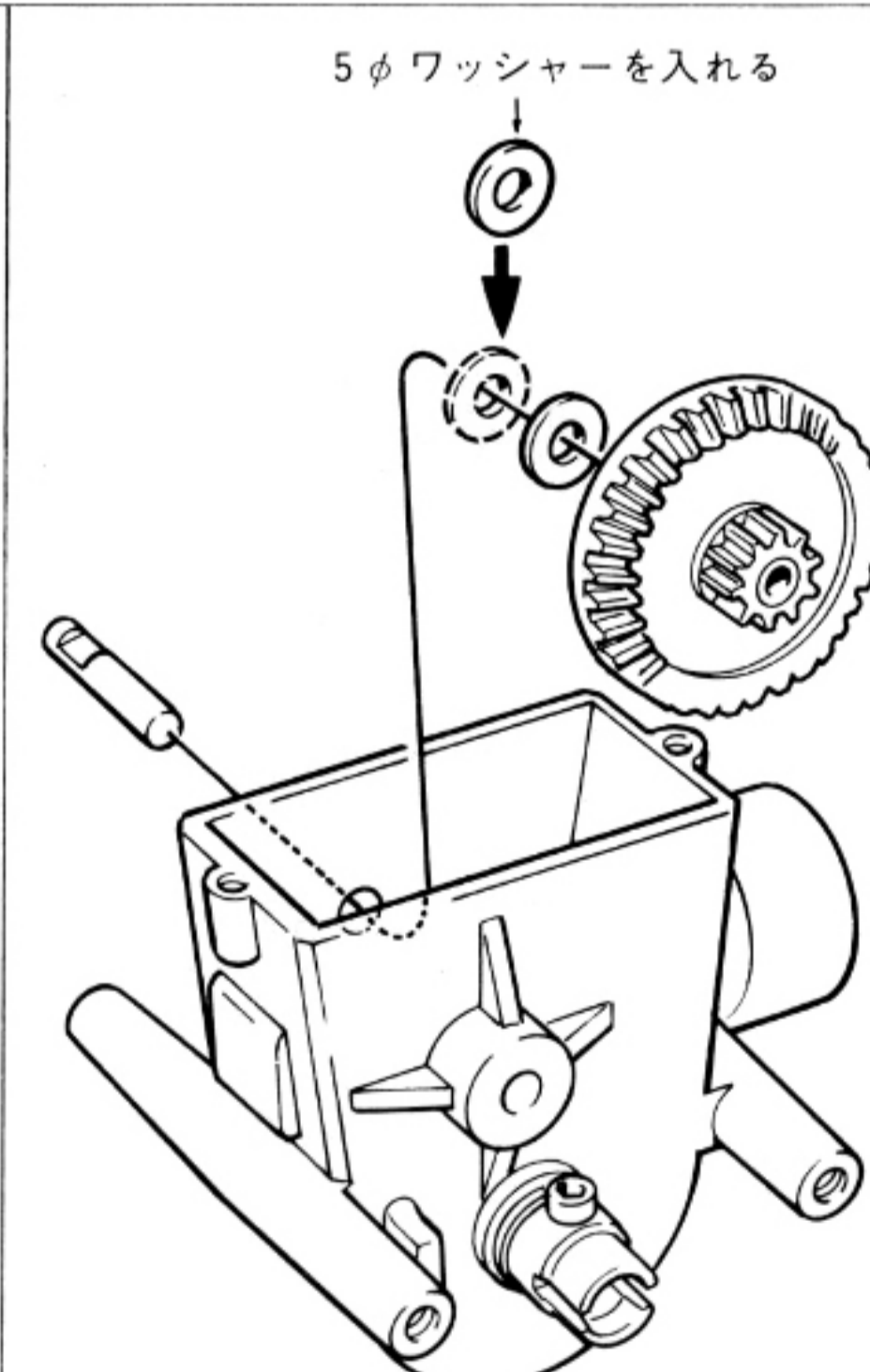


ナイロンスーパースパイク
(一般のダート走行に最適)

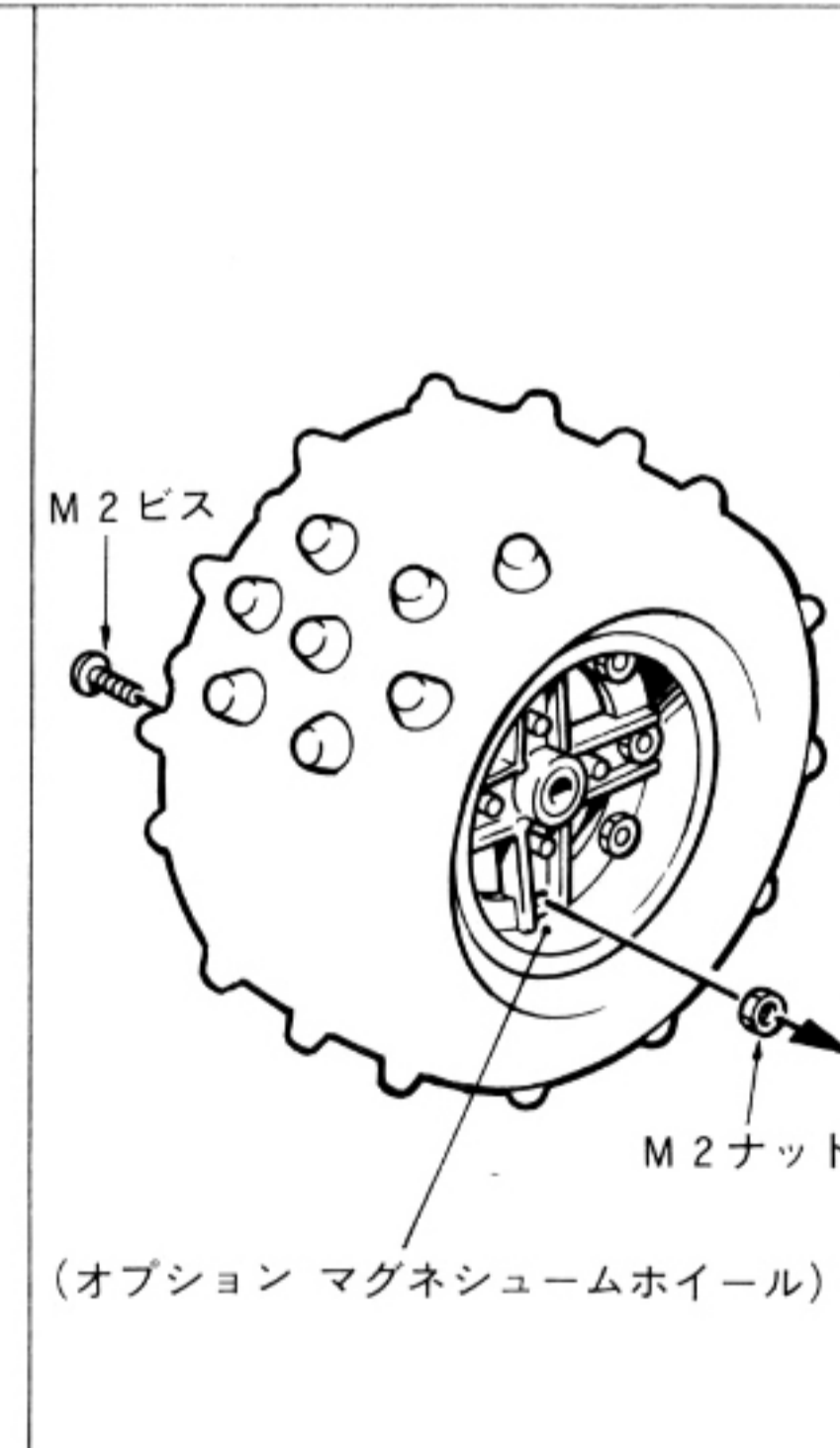
スーパースパイク
(深い砂地の走行に最適)



スイングシャフトが水平が多少下る程度



5φワッシャーを入れる



M2ビス

M2ナット

(オプション マグネシウムホイール)

56 走行させる路面に小石等が多い所で走行させる場合は、別売のギヤボックスガード(CB-64)を図のように取付けて下さい。路面状態が良い所では必要ありません。

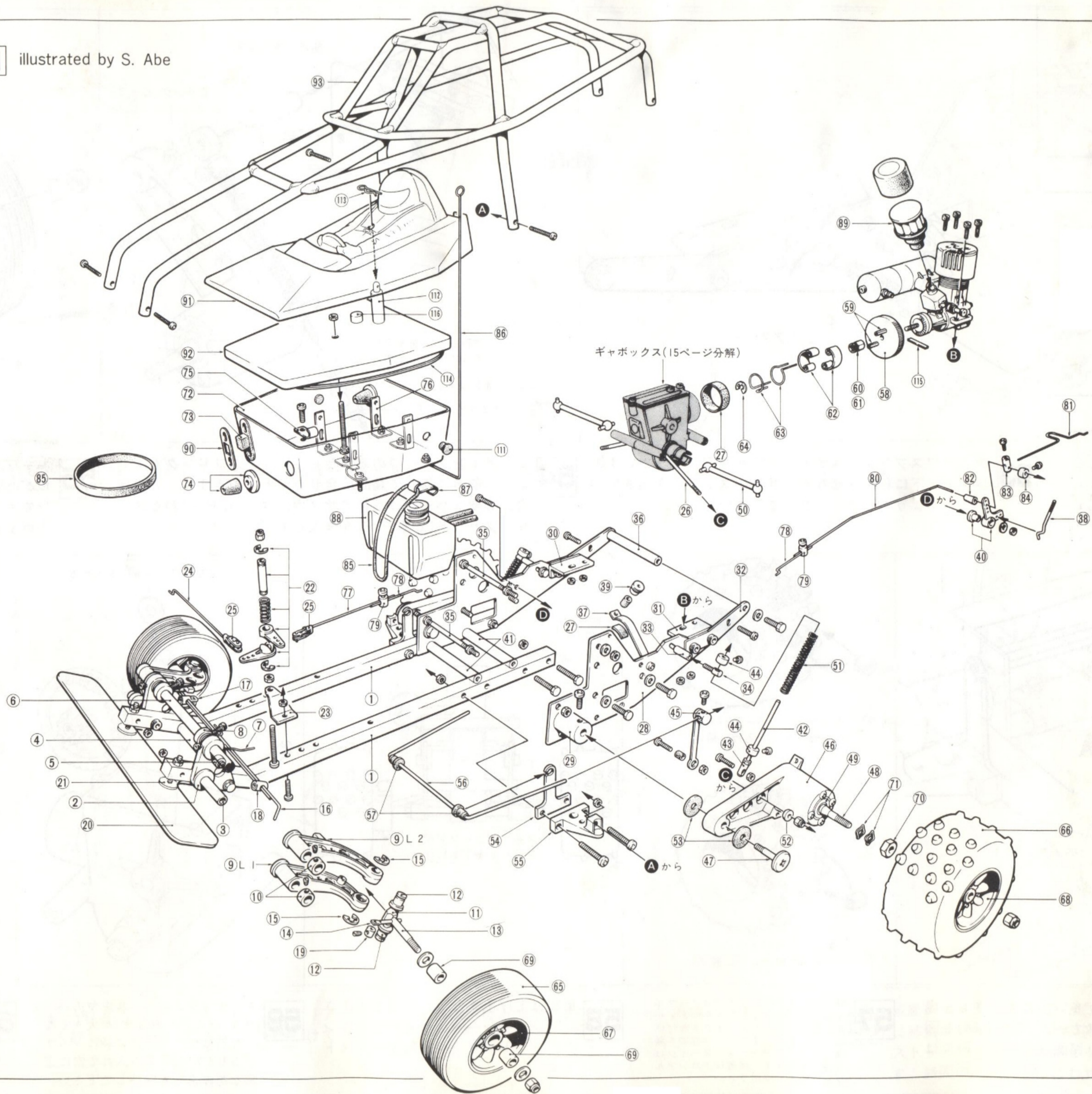
57 サークットのリアタイヤはノーマルでも十分にグリップ力がありますが、走行場所に合ったスパイクを取付けることにより、より以上の性能を発揮します。オプションのスパイクは2種類あります。接着はアロンアルファ等をご使用下さい。

58 車高は上げすぎないようにして下さい。シャーシーを後から見てスイングシャフトが0°~10°程度がベストです。

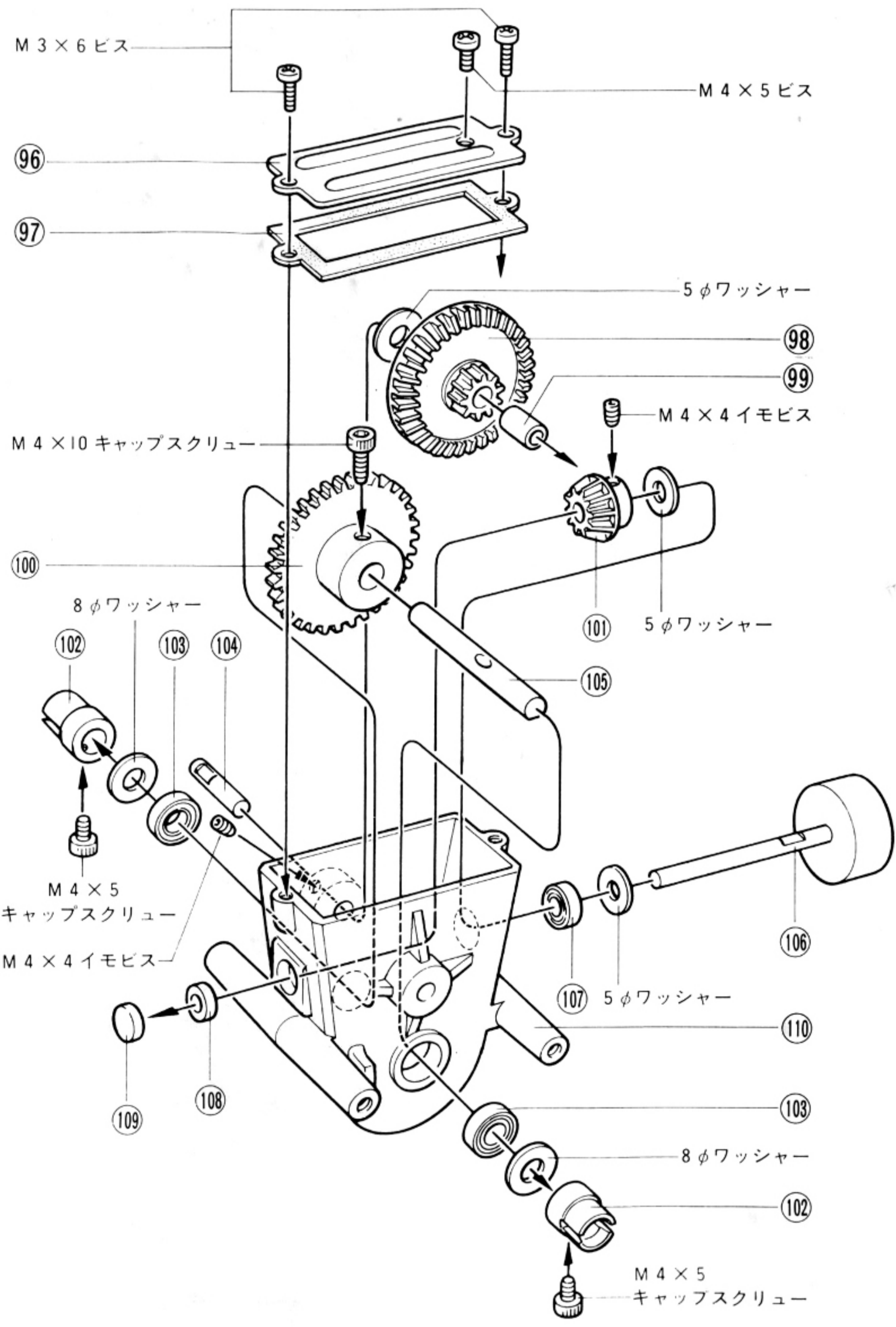
59 ギヤボックスのベベルギヤのバックラッシュ(かみ合せ)が大きくなった時はスペアビスの袋に入っている5φワッシャーを入れて常に正常なかみ合せを保持して下さい。

60 フロント及びリアホイールにオプションで丈夫で軽いマグネシウムホイールがあります。フロント(CB-102)リア(CB-103)。

部分分解図 illustrated by S. Abe



ギヤボックス分解図



パ ー ツ リ ス ト

キーNo.	部 品 名 称	個 数	キーNo.	部 品 名 称	個 数
①	メインフレーム	2	60	パイロットナット(インチ)	1
②	アームホルダー(左・右)	1組	61	" (ミリ)	1
③	アーム軸 A	2	62	クラッチシュー	2
④	アームジョイント	1	63	クラッチスプリング	2
⑤	サスストッパー	2	64	" Eリング	1
⑥	アーム軸 B	1	65	フロントタイヤ	2
⑦	フロントスプリング(左・右)	1組	66	リアタイヤ	2
⑧	8 φ ストッパー	2	67	フロントホイール	2
⑨	フロントサスアーム(L-1, L-2, R-1, R-2)	1組	68	リアホイール	2
⑩	サスサイドストッパー	4	69	フロントホイールメタル	4
※⑪	アップライト	2	70	ドライブワッシャー	2
※⑫	ボールシート	4	71	ウェーブワッシャー	4
※⑬	フロントホイールシャフト	2	72	メカボックス	1
※⑭	ナックルアーム	2	73	スイッチゴムブーツ	1
⑮	Eリング(E-7)	4	74	ロッドゴムブーツ	2
⑯	タイロッド	2	75	バッテリー押え金具	2
⑰	タ ッ プ A	1	76	サーボブラケット	4
⑱	タ ッ プ B	1	77	ステアリングロッド	1
⑲	タイロッドストッパー	2	78	リンケージロッド	2
⑳	フロントバンパー	1	79	リンケージストッパー	2
㉑	B ワ ッ シ ャ ー	2	80	ブレーキリンケージロッド	1
㉒	サーボセーバーセット	1組	81	エンコンロッド	1
㉓	サーボセーバー取付金具	1	82	ナイロンカラー	1
㉔	ステアリングロッド	1	83	エンコンロッドストッパーA	1
㉕	キ ー パ ー	2	84	" B	1
㉖	テンションロッド	2	85	ラバークラッチ	2
㉗	ライニング	2	86	アンテナガイド	1
㉘	リアフレーム	2	87	タンク押え金具	1
㉙	リアサスピボット	2	88	タンクセット	1組
㉚	エンジンマウント(右)	1	89	エアフィルターセット	1組
㉛	" (左)	1	90	スイッチプレート	1
㉜	リアステー	2	91	人 形	1
㉝	リアスプリングステー取付金具	2	92	メカボックスカバー	1
㉞	リアスプリングステー	2	93	ボ デ ィ ー	1
㉟	スタッドボルト	2	94	ミッションオイル	1
㊱	リアステージョイント	1	95	シ ー ル	1
㊲	ブレーキシュー	1	※96	ギヤボックス蓋	1
㊳	ブレーキロッド	1	※97	" シール	1
㊴	ブレーキアジャスター	1	※98	ベベルギヤ(大)	1
㊵	L ク ラ ン ク	1組	※99	ベベルギヤブッシュ	1
㊶	ジョイントカラー	2	※100	ス パ ー ギ ヤ	1
㊷	スプリングガイド	2	※101	ベベルギヤ(小)	1
㊸	スプリングガイドエンド	2	※102	ジ ョ イ ン ト	2
㊹	3 φ ストッパー	4	※103	8 φ ベアリング	2
㊺	スタビリンク	2	※104	ベベルギヤシャフト	1
※㊻	リアサスアーム(左・右)	1組	※105	センターシャフト	1
㊼	リアサスシャフト	2	※106	クラッチベル(シャフト付)	1
㊽	リアホイールシャフト	2	※107	5 φ ベアリング	1
※㊾	リアホイールシャフトベアリング	2	※108	5 φ オイルレスメタル	1
㊿	スイングシャフト	2	※109	ギヤボックスメタル蓋	1
1	リアスプリング	2	※110	ギヤボックス本体	1
2	テンションロッド受け	2	111	メカボックスキャップ	2
3	ナイロンワッシャー	4	112	人形止メフック	1
4	スタビ取付金具	2	113	松 葉 ビ ン	1
5	サイドメンバー	2	114	メカボックスシール	1
6	スタビライザー	1	115	フライホイールシム	1
7	ゴムブッシュ	2	116	メカボックス蓋キャップ	1
8	フライホイール	1			
9	クラッチピン	2			

※印の部品は組み立て済みです。

